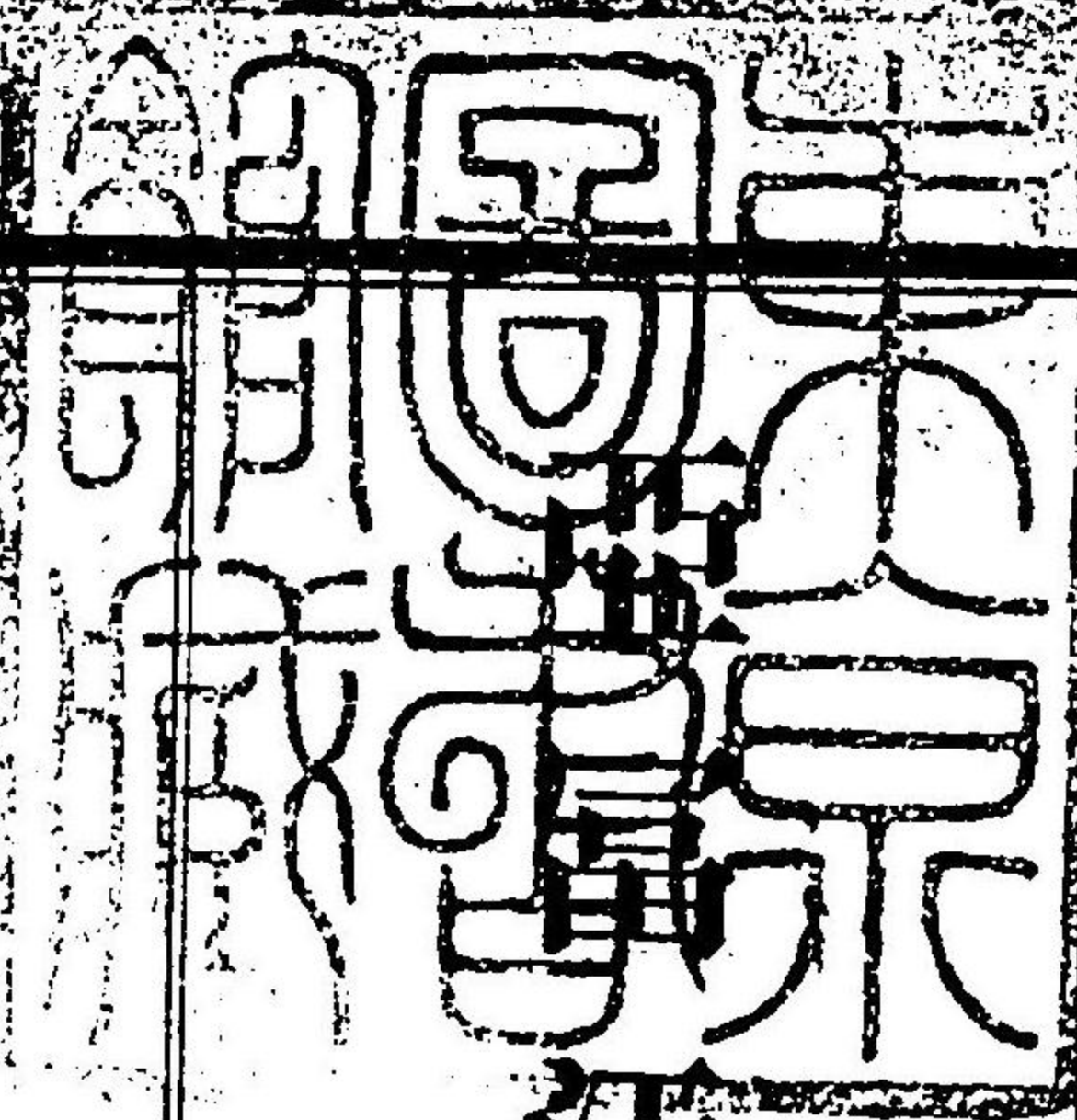


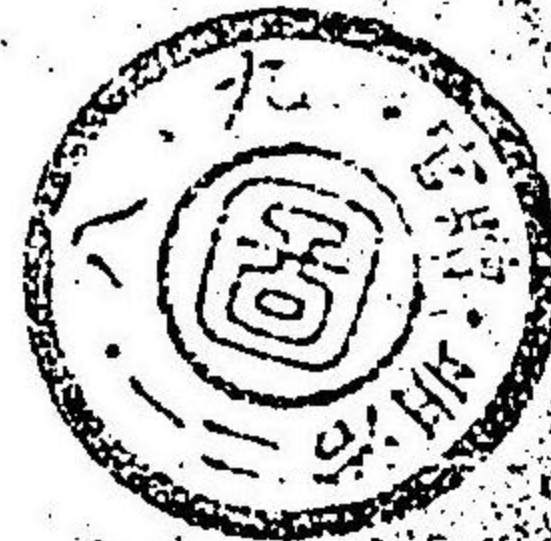
No. 11446



明治十八年八月出版

汗斯坦地誌

全



陸軍部

陸軍文庫

亞富汗斯坦地誌

緒言

近年地學大ニ開ケ幼童モ亦歐米二洲ノ大畧ヲ知ル然レモ亞非利加若クハ中央亞細亞ノ事ニ至テハ學者猶ホ未タ悉サ、ル者アリ蓋シ彼我國人ノ來往甲ニ繁クシテ乙ニ簡ナレハナリ亞富汗斯坦ハ中央亞細亞ノ一國ナリ紀元千八百七十八年我明治十一年魯英二國中央亞細亞ニ競爭セシヨリ亞富汗斯坦實ニ戰區ト爲レリ是ニ於テカ人皆意ヲ亞富汗斯坦ノ事ニ注ク然レモ未タ其國情ヲ知ラサルヲ以テ戰報中一府一州ノ名ヲ見ルモ其何者タルヲ解セサルアリ豈ニ憾事ナラスヤ今茲余命ヲ受クル所アリ亞富汗斯坦地誌ヲ編シ併セテ其風土人情及ヒ政體沿革君主繼續ノ大畧ヲ記ス屢々タル一小冊子豈敢テ其事情ヲ悉スト謂ハンヤ特以テ窺豹一斑ノ用ニ供スルノミ

明治十四年十月

編者 誠

亞富汗斯坦地誌

凡例

一 亞富汗斯坦ノ地理ハ是ヨリ先キ之ヲ講究スル者甚タ少ナシ歐洲人
或ハ其國ニ遊ヒ記述スル所ナキニ非ス然レモ概子一邊ニ過キス全
國ノ事ニ至テハ未タ嘗テ之ヲ見ス故ニ本誌中或ハ此ニ密ニシテ彼
ニ疎ナル者アルハ獨リ編者ノ責ノミニアラサルナリ
一本誌ニ引用スル所ノ書ハ左ノ如シ

魯敏曾亞富汗斯坦事情

英國地學協會月報

佛國地學協會月報

佛國地學雜誌

孔坦伯亞細亞洲誌

露境警備畧

二
愚路的孔夫土耳其斯坦紀行

愚禮德馬汀亞富汗斯坦紀行

波斯沿革誌

房永地理字典

羅沙德萬學字典

英國地學協會亞富汗斯坦切圖

孔坦伯萬國地圖

遵子頓萬國地圖

遇遵萬國地圖

一經度里程及ヒ尺寸ハ皆英國ノ算ニ從フ寒温ハ則チ華氏ニ依ル

一凡ソ人名ヲ舉クルニ或ハ姓名ヲ記シ或ハ官名ヲ以テスル者アリ是レ其未タ詳カナラサル者アルヲ以テナリ敢テ輕重スル所アルニ非ス

一凡ソ人名地稱或ハ正字ヲ用ヒ或ハ假字ヲ用フ是レ其譯字ノ既ニ世

ニ慣用セル者ト否トニ由ル亦特例アルニ非ス

明治十四年十月

編者識

亞富汗斯坦地誌

目次

第一篇

總論

天然部

幅員

境界

山嶽

河川

附湖沼

第二篇

國體部

第一門

カブリス^カタ^ブリ^リス^タン^タ又亞富汗斯坦本部
又客布爾

其一 客布爾州

其二 濟斯尼州

其三 干達哈爾州

其四 國道

第二門

西斯丹

其一 西斯丹州

其二 華拉州

其三 國道

第三門

哥拉森

其一 希拉的州

其二 佛薩拉州

其三 國道

第四門

屬部

其一 亞領土耳其機斯坦

其二 國道

第三篇

史記

第四篇

雜記

其一 政體

其二 兵制

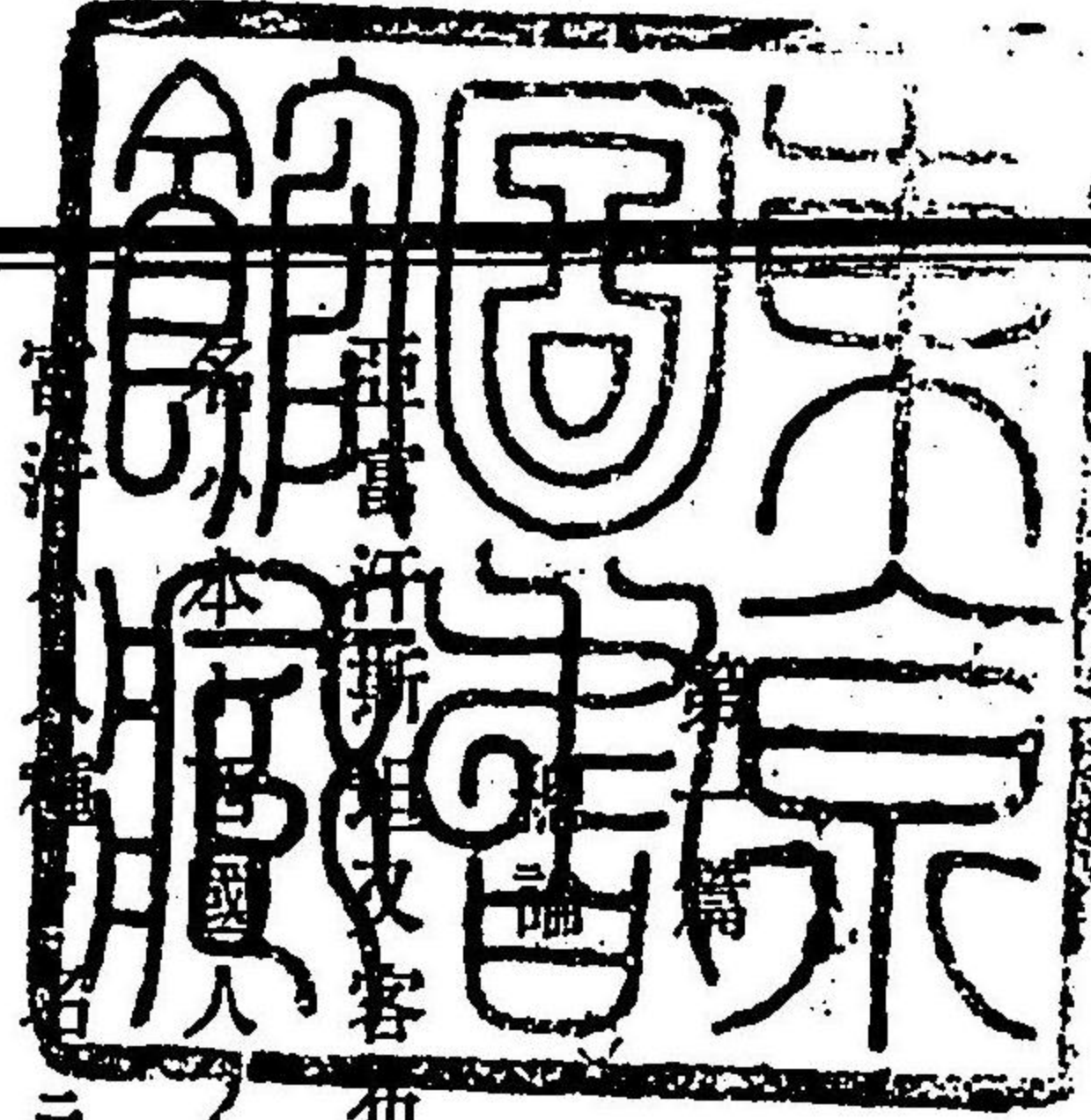
其三 人種

其四 風俗

其五 宗教
 其六 氣候
 其七 國產
 以上

亞富汗斯坦地誌

引 田 利 章 編



亞富汗斯坦又客布爾王國ト稱ス中央亞細亞ノ大國ナリ亞富汗斯坦ノ
 名クル所ニシテ其意亞富汗ノ居地ト云フカ如シ亞
 テ「ウキヤット」ト曰フ「ウキヤット」ハ本國ノ意ナリ其之ヲ客布爾王
 國ト稱スルハ蓋シ其都府州名ヲ以テ全國ヲ總稱スル者ナリ
 古昔亞富汗斯坦ハ一大強國ニシテ其封境東ハ印度ノ本若ヲ併セ以テ
 恒施斯河ニ至リ西ハ今日波斯ノ哥拉森ヲ有シ以テ裏海ニ臨ミ南ハ印
 度海ニ瀕シ北ハ荷薩河（荷薩河一名阿母陀利河ト曰フ）ニ至リ俾路芝士坦、曠斯美爾、信

德等ノ諸州皆之ヲ併領セリ當時ノ人口一千四百萬ニ過ク是ノ時ニ當
テ其富強蓋シ他ノ亞細亞諸國ノ敢テ齒ヒスル所ニ非スト云フ
其後千經年ノ久シキ王家屢興廢シ沿革固ヨリ一ナラス其間ニ信德俾
路芝斯坦、噶斯美爾、本若、若クハ波斯ノ哥拉森等皆或ハ自立シ或ハ分離
セリ是ニ於テ亞富汗斯坦ノ封境大ニ蹙リ其人口僅ニ六百乃至七百萬
ニ過キサルニ至ル千八百四十二年英國侵入ノ日國亂亦少ナラス客
布爾政府又興廢シ全國因テ以テ大ニ窮乏シ衰頹復タ爲スヘキナク遂
ニ今日ノ小弱ヲ致セリ今將ニ其今日ノ形狀ヲ記セントシ之ヲ天然部
ヨリ始ム

天然部

幅員

亞富汗斯坦ハ北緯二十九度十六分ヨリ三十七度二十二分ニ至リ東經
六十度五十分ヨリ七十二度ニ至リ北ハ獨立韃靼ニ接シ東ハ印度ノ本

若ニ隣リシ南ハ俾路芝斯坦ニ接シ西ハ波斯ニ抵ル東西五百八十里南
北五百里幅員大約二十九萬七百五十七方里ナリ

境界

其四面ノ境界ハ北境ヲ荷薩河ト爲シ河上ノ「コシヤサレ」府ヨリ西向
直ニ「ソルシヤ」村ニ至リ南折シテ「哥拉森」ノ「グリヤン」府ニ沿ヒ直南西
丹湖ニ至リ又東南ニ轉行シ「ナダリ」府ニ接シ西南ニ向ヒ「亞慕」ノ大澤
ニ臨ノリ南境ハ「亞慕澤」ヨリ東方ニ縈紆シ俾路芝斯坦「幾佗」府ノ北鄙「ク
」スラツク「府」ニ接シ其同名河「ヲ」渡リ東南ニ縈紆シ「布蘭」峽路ニ沿ヒ「タ
」リ「部落」ノ「マリ」河上流ニ至リ又東北ニ溯リ「タカチユ」山脈ニ沿ヒ
東向シテ東索利曼山ヲ踰エ「ラガリ」部落ニ至リ又北向シテ「護摩爾」哥
爾摩ノ二河ヲ渡リ「ボンヌ」達爾「コハット」ノ三府ヲ經テ客布爾河ヲ涉
リ「カヒリス」タン「境上」クナール「府」ヲ過キ遂ニ興都哥士山ニ達ス是レ其
四境ノ大畧ナリ其内部ハ則チ之ヲ大別シテ四部ト爲ス曰ク客布利斯

坦日ク西斯丹日ク哥拉森日ク亞領土耳其機斯坦

山嶽

亞富汗斯坦全國皆大小山脈ノ縱橫綿亘スル所ト爲リ高峯嵯峨タル者甚タ多ク地勢極メテ峻峻ナリ其尤モ山地ト稱スル者北緯三十度ヨリ三十四度ニ至リ東經六十六度ヨリ六十八度ニ至ル概スルニ全國皆高陵ノ上ニ位シ西斯丹地方ノ如キ沙漠淤洳ノ地アリト雖モ其海面ヨリ高キ亦殆ト二千尺其高山興都哥士ノ如キハ山勢突兀巍々雲際ニ達ヘ其高サ一萬八千尺至乃二萬四千尺頂上或ハ太古ノ冰雪ヲ存ス蓋シ喜馬拉亞山ニ亞イテ亞細亞全洲ノ標目タリ古來印度ヲ侵畧セシ者因テ以テ其方向ヲ定メシト云フ今ニ至テ山中曾テ人跡ヲ絶タス是ノ山喜馬拉亞山ノ連脈ニシテ印度ノ西北境チトラールノ北方ヨリ亞富汗斯坦ノ西鄙ニ至リ東經六十二度三十分ヨリ七十四度三十分ニ至リ東西殆ト七百八十里ニ連亘シ印度河荷薩河ノ中間ニ屹立シ印度亞富汗斯

坦地方北境ノ堡塞ノ如シ古ハ之ヲ巴歐巴美西山ト稱セリ然レモ經年ノ久シキ巴羅巴美西ノ名ハ下ツテ山麓ノ部落ニ移リ山ハ則チ興都哥士バタマン「コーヒバ」等ノ名ヲ得タリ當時巴羅巴美西ハ今日ノ容布爾希拉的等ノ諸州ナリ而シテ今日巴羅巴美西ノ名僅ニ希拉的州中ニ存スルノミ或ハ又傳フルアリ古昔印度中巨人アリ興都哥士山中ニ伏在シ近傍土人ノ峽路ヲ過クル者アレハ悉ク皆之ヲ殺セリ蓋シ以テ其食ニ充ツルナリ時ニ土語殺ヲ「ケーシユ」ト謂フ是ノ地乃チ其印度人ヲ殺スノ所ナルヲ以テ之ヲ「インドケーシユ」ト名ケ後チ遂ニ「インドークーシユ」ト爲シ興都哥士ノ名乃チ此ニ權輿セリト夫レ興都哥士山ハ國中ノ最大山脈タリ之ニ亞テ著大ナル者又五アリ日ク「コーヒバ」「日ク「バクマン」「日ク「東サヒコー」「日ク「東索利曼日ク「西索利曼是レナリ然レモ是レ皆興都哥士山ノ支脈ニ過キス其「コーヒバ」「連山ハ希拉的、西斯丹ノ二州ヲ分界シ「バクマン」連山ハ西斯丹、干達哈爾

ノ二州ヲ分界シ東サヒコー^一連山ハ客布爾^カ濟斯尼^スノ二州ヲ分界シ東索利曼連山ハ印度境上ニ在リ其西索利曼連山ハバグマン^一連山及ヒ東索利曼連山ノ中間ニ並聳南進スル者ナリ今乃チ其各山ノ脈線ヲ尋子ント欲スルニ興都哥士山ノ脈尾^一コーヒスタン^一ノ西ニ至リ分レテ二岐ト爲リ其西ナル者ヲ^一ハジガク山ト曰ヒ其東南ナル者ハ則チバグマン^一連山ナリバグマン^一山ハ其高サ一萬千三百二十尺南北殆ト二百五十里ニ連亘シ客布爾州ノ西北ヨリ南進直ニ干達哈爾府ノ北方ニ至テ盡ク「バグマン^一山中濟斯尼府ノ北方ニ於テ東ニ分歧セル山脈ニアリーハ則チ東サヒコー^一連山ニシテ其一ヲ^一グール^一連山ト云フ^一グール^一連山ハ東サヒコー^一山ニ濟斯尼府ノ北方ニ於テ分歧シタルナツク^一河ノ西岸ニ沿ヒ「アルガンダーブ^一及ヒタルナツク^一ノ二溪谷ヲ分界シ南方ニ百里ニ至リ干達哈爾府ノ西ニ至テ盡ク其高一萬三千尺山腹以下ハ稍樹木ヲ生シ春夏ノ候ハ野草概子花ヲ着ケ其觀甚タ美ナリ而シテ山巔ハ則チ獨リ

巖石ノミ復タ草木アルナシ

東サヒコー^一山ハ之ヲ^一バグマン^一山ノ支脈ト謂フト雖^一是レ^一寧^一口^一グール^一連山ト共ニアルガンダーブ^一河上流ノ高原ヨリ突起スル者ナリ之ニ加フルニ其^一グール^一連山分歧ノ處ヨリ^一カルカチヤ^一接合ノ處ニ至ルマテハ山脈猶未ダ^一サヒコー^一ノ名ヲ負ハス他ノ二名アリ蓋シ^一グール^一連山ニ分レシヨリ東方殆ト三十里間ヲ^一シルダナ^一山ト曰ヒ濟斯尼府ノ北方ヲ圍ミ以テ^一コツタケール^一府ニ至リ其後チ東北ニ縈紆シ哥爾摩河及ヒ^一ロガール^一河ノ中間ヲ經過セリ是ノ地ヲ^一ガリコー^一ミツセルガ^一ガリコー^一ミツセルガ^一亦^一サヒコー^一山ノ一部分ニ過キト名ケ^一シユタルガ^一ダン^一ニ至リ左右ニ大山脈ヲ分歧シ然ル後チ始メテ^一サヒコー^一山ノ名ヲ負ヒ客布爾州ノ南方^一ジャ^一ジー^一及ヒ^一アフリジ^一ノ二部落ノ北邊ニ沿ヒ北緯三十四度ノ緯線上ヲ東走シ印度河上亞^一的克府^一ニ至テ止ム是ノ山脈ノ最高部ヲ^一シカラム^一山ト曰ヒ^一ピエワール^一支脈接合ノ處ニ在リ其高サ一萬五千六百二十二尺

其他亦皆一萬二千五百尺ニ下ラス之ヲ概スルニ一線皆甚ダシキ高低アルヲナシ

東サヒコー山ハ阿富汗斯坦ノ東南門達爾府ヨリ京城客布爾ニ至ルノ公路ニ横ハリ其道路亦甚タ峻艱左右皆巖巖絕壁屏障ヲ連ヌルカ如シ之ニ加フルニ山中東方ニキーベル峽路アリ其地亦峻峻固ヨリ尋常ノ峽路ニ非ス若シ國中一朝事アリテ遂ニ干戈ニ及ハ、サヒコー山乃チ内外ノ要害ナリ

東サヒコー山中シユタルガルダンニ於テ左右ニ分岐スル山脈ハ其南ナル者ヲ西索利曼連山ト爲シ其北ナル者ヲカルカチヤ山ト曰フカルカチヤ山ハ其最高部ヲ八千餘尺ト爲ス是ノ山サヒコー山ニ分レ客布爾日拉刺巴德ヲ分界シ客布爾河ニ至テ河ノ横斷スル所ト爲リ河ヲ過キ又突起シテカヒリスタンノ境界ニ至リクナール河ノ上流カタール河ニ沿ヒ終ニ喜馬拉亞山ニ連續セリ

索利曼連山ハ東中西ノ三脈アリ其西脈ハ即チ西索利曼ニシテサヒコー山脈ヨリシユタルガルダンニ於テ南方ニ分岐スル者ナリ山ハ濟斯尼干達哈爾ノ二州ヲ中分シ南進シテ俾路芝斯坦ノ境上ニ至リタカチユ一連山ニ合シ南北三百餘里ニ連亘セリ哥爾摩護摩爾ノ二河ヨリシテ南方ノサンガ河其他無數ノ河流印度河ニ注入スル者皆是ノ西索利曼山ニ發源スル者ナリ是ノ山脈中ニジャドランコナカントバノ四嶽アリジャトラン山ハ今日之ヲ西索利曼中ノ突起嶺ナリト云フト雖モ本ト西索利曼全脈ノ本名ナリ然レモ全脈大ニ東索利曼山ト其形狀ヲ同フスルヲ以テ後チ遂ニ西索利曼ノ名ヲ附セリ而シテジャトランノ名僅ニ其突起部ニ存セリ

西索利曼山ノ支脈ニタクリーカタサンノ二連山アリ皆阿比斯他陀湖ノ北方ニ在リ殆ト突起スル者ノ如シ其脈線ハ則チ東サヒコー山中ノガリコーミツセルガ山ノ支脈ニ過キス

東索利曼山ハ亞富汗斯坦印度ノ境上ニ在ル者ニシテ哥爾摩護摩爾無
 數河流ノ横斷スル所ト爲ルヲ以テ他ヨリ之ヲ望メハ鬱乎タル連山ノ
 如キモ其實ハ許多ノ突起山相櫛比スル者ナリ其最高部ヲ「マツスード
 ワヂリスタン」ノ「サハイダール」及ヒ「グール」ノ二嶽シラニ「族部落」ノ「ダ
 ケチシユリマン」及ヒ「ドラバン」ノ二嶽トス其「サハイダール」山ハ一萬九
 百三十六尺「グール」山ハ一萬千百五十八尺「タケチシユリマン」山ハ一
 萬千七十尺「ドラバン」山ハ一萬千三百尺アリ
 中央索利曼山ハ則チ東西兩脈ヲ彌縫スル者ニシテ或ハ山嶽或ハ高原
 各所ニ斷續シ曾テ一線延長ノ山脈アルニ非ス其高低亦齊シカラス其
 最高部ヲ「プスチユ」ノ「クエンダ」ノ「ピエワール」ノ四脈ト爲ス「ピエ
 ワール」ハ東「サヒコー」山ニ接スル所ノ一大山脈ニシテ「シカラーム」山ヨ
 リ南ニ分岐ス「マンデハ」山ハ「ピエワール」山ノ南部ヲ謂ヒ「プスチユ」ノ「ク
 エンダ」ノ二山ハ皆「コスト」部落ノ南方ニ在リ

「グール」連山ノ東南又數條ノ支脈各所ニ分岐シ遂ニ「ギルサイ」地方ヲ以
 テ國中最峻ノ地ト爲スニ至ル支脈ノ著大ナル者ヲ「コンダン」ノ「ガンチ」シ
 ユルコー「ガルガニ」ノ四連山ト爲ス「コンダン」山ハ阿比斯他陀湖上ヨ
 リ「アルガサン」ノ上流「ケワ」河ノ流右ニ至ル「ガンチ」山ハ「アルガサン」ノ「クダ
 ニ」兩河ノ中間ニ在リ「コンダン」ノ南方ニ並行シ北緯三十二度ヨリ「メ
 ルマンダー」府ノ南ニ至ル「シユルコー」山ハ北緯三十二度三十分ヨリ直
 南干達哈爾ノ南東ニ至ル「カルガニ」ハ「シユルコー」ノ連脈ニシテ其北方
 ニ接シ然ル後チ北方「シヤムロード」府ニ達ス四山共ニ數十里ニ連亘ス
 「ガンチ」山ノ南方「クダニ」河ヲ隔テ、又「ガンチ」山ト並行スル二大連山
 アリ是ヲ「トバ」及ヒ「コジヤムラン」ノ二山ト爲ス二山皆一線脈ニシテ
 東西相接スル者ナリ共ニ西索利曼ノ支脈ニ過キス其「トバ」連山ハ西索
 利曼中ノ「カン」及ヒ「トバ」嶽ニ始マリ西走「コジヤムラン」ニ接ス又「コジ
 ヤムラン」ハ「トバ」山ヨリ西南數十里ニ亘リ「ソラワツク」ノ沙漠ニ至テ

「ハジガク山ハ南北十里ニ彌リ客布爾及ヒ「バミアン」地方ヲ分界スル者ナリ其南端一峽路アリ」ハジガク」峽ト曰フ客布爾「バミアン」二府間ノ本道ニシテ京城西門ノ鎖鑰ト爲ス峽路ノ西ニ至リ其脈線ヲ「コーヒバ」山ト名ク頗ル峻嶺ナリ其最高部ハ一萬八千餘尺アリ英國ノ地學士嘗テ之ニ登リ一萬三千五百尺ノ處ニ至ルヲ得タリ其言ニ曰ク山上兀トシテ草木ヲ見ス唯巖巖ノミト

「コーヒバ」山ハ東西百餘里ニ延亘シ然ル後チ分レテ三山ト爲ル其右ニ岐ル、者ヲ「トリバント」山ト曰ヒ左ナル者ヲ「シアコー」山ト呼ヒ中央ヲ「西」サヒ「コー」山ト名ク「シアコー」又之ヲ黒山ト謂ヒ「西」サヒ「コー」之ヲ白山ト稱ス「トリバント」ハ哥拉森ノ北邊ヲ經テ「ムルガ」河ヲ渡リ「土耳其」曼部落ヲ過キ遂ニ波斯ノ北鄙ニ達ス「西」サヒ「コー」山ハ「ヘリル」河ニ沿ヒ希拉的府ノ北鄙ヲ過キ「カイ」チ「ユ」運山ニ接ス「カイ」チ「ユ」運山又之

チ「巴羅巴美西」山ト謂フ蓋シ古ノ「巴羅巴美西」ノ名僅ニ是ノ山ニ存スルナリ是ノ山ハ「西」サヒ「コー」ノ脈尾ニシテ希拉的府ノ北方ニ在リ亦東西十餘里ニ彌ル

「シアコー」山ハ東西數十里ニ亘リ「西斯丹」哥拉森ノ境界ヲ爲ス其高サ七千餘尺ナリ

「シアコー」山ノ支脈南方ニ延亘シ「西斯丹」中ニ蜿蜒スル者其數ヲ知ラス今枚擧スヘカラス之ヲ要スルニ皆著大ノ高嶺ナラス獨リ「コジヤナク」ン「パンジュアン」ジュスト「コー」ユアン「コー」カキサヒド「コーヒ」ビ「バラ」ン「コーヒ」サヒド「ア」ニ「ラン」コー「ア」ドラス「ブ」カンノ諸山ノミ記スルニ足ル「コジヤナク」ン山ハ「シヤ」コー「山」中東經六十五度ニ分岐シ直南「グリ」スク」府ニ至テ止ミ「パンジュアン」ヂユス「コー」山ハ「コジヤナク」ン山ノ西三十里ニ「シアコー」山ニ分岐シ西南ニ縈紆シ「クス」パスルト「ド」河ノ上流ニ至リ二分シ其南ナル者ヲ本脈ト爲シ其西ナル者ヲ「ユアン」コート

爲ス華拉^{アラ}府ニ至テ盡クカキサヒード山ハシアコー山ニ分岐スルノ後
 チパンヂユアンヂユストコー山ニ並行シ、フアルード河上ソウーズ部
 落ニ至テ三分シ南チコーヒビフバラン山ト曰ヒ中央チコーヒサヒー
 ド山ト曰ヒ西北チアニーランコー山ト名ク
 「コーヒサヒード山ノ支脈ニアドラスブカン山ト云フ者アリサブサワ
 ール及ヒタイムニーノ二部落ヲ分界ス
 又南方俾路芝斯坦境上ニ一大連山アリタカチユー山ト曰フ東經六十
 六度ヨリ常ニ境上ニ沿ヒ幾^{ケツ}佗府ノ北方クイスラツク河ヲ涉リ直東シ
 テタリン部落ヲ過キ西索利曼ニ合シ然ル後チ達爾^{タル}ノ北方ニ沿ヒ終ニ
 東索利曼ニ合ス
 其他國中山嶽ノ孤立シ若クハ脈線著名ナラサル者勝ケテ數フ可カラ
 ス今其一ニチ揭ケンニ東サヒコー山ニタルタラー山アリキーベル
 路東方ノ孤峯ニシテ又著大ノ高嶽ナリ高サ六千八百尺又タカチユー

連山中シヤペール^ルタカチユーノ二突起山アリタカチユーハ近隣諸部
 落ノ最高山ニシテ其高サ一萬千尺西サヒコー山ノ脈尾中又孤峯ノ屹
 立スル者アリサラバントト曰フサヒコーカイチユ三連山接合ノ處ニ
 在リ河領土耳機斯坦ノ諸部落ハ波達克^{バダク}山地方ヲ除ノ外概ス皆曠原平
 野ニシテ山嶽甚タ稀ナリ或ハ之アリト雖^レ皆亞富汗斯坦本部中ノ高
 嶽峻峰ノ如クナラス其著名ナル者僅ニカラコー連山ノミト爲スカラ
 コー山ハコーヒバ、花方ノ支脈ニシテバミアン府ノ西方ニ在リ南北
 五十里ニ延亘ス其最高部ハ一萬五百尺ナリト云フ波達克山中ノ高山
 ハ其最大脈チコジヤマムードト曰ヒ其次チコーヒカクガン及ヒコジ
 ヤジランノ二山ト爲ス三連山皆興都哥士山ノ支脈ナリコジヤマムー
 ドハ興都哥士山ニアンジュマン^ン峽路ノ傍ニ分岐シ北進波達克^{バダク}山ノフエ
 イザバード府ニ至テ盡キコーヒカクガン亦アンジュマン^ン峽傍ヨリ起
 リ直西クンツーズ河ニ至テ止ミ其コジヤジラン亦同所ニ發シ西北ク

ンツーズ府ニ至テ盡ク

河川

亞富汗斯坦ノ河流ハ其方向ヲ以テ大別シ五區ト爲ス左ノ如シ

第一 印度河水經

第二 亞慕湖水經

第三 裏海水經

第四 亞拉兒海水經

第五 阿比斯他佗湖水經

○印度河水經ハ北ノ方「カヒリスタン」及ヒ興都哥士山ニ接シ西ハ西索利曼連山及ヒ「ビシン」部落ニ至リ南ハ俾路芝斯坦ニ隣リシ東ハ印度ノ本若ニ接ス是ノ地客布爾哥爾摩護摩爾「サンガ」四河ノ灌溉スル所タリ今乃チ悉ク其河孟ヲ論セン

客布爾河孟ハ北方興都哥士山ニ接シ西ハ「ハジガク」「バグマン」ノ二山ニ

抵リ南ハ東「サヒコー」山ニ接ス是ノ地群山四周水流ノ他ニ發出スヘキノ地ナシ因テ無數ノ小流皆客布爾河ニ注入シ河ヲシテ國中第二ノ巨流タラシメタリ河ハ「バグマン」山ノ「ユナ」峽上「シルイキユシマ」ノ傍ニ發シ東「サヒコー」及ヒ「バグマン」ノ二山間ノ溪谷ヲ經過シ東北ニ流ル、六十里ニシテ客布爾府ニ達ス河源ヨリ是ノ地ニ至ルマテ各所皆徒涉スヘシ客布爾府ノ東北十里ニシテ「ロガール」河ニ合シ水勢大ニ加ハリ以テ東北三十餘里ニ至リ其右方ニ「テジン」河ヲ受ケ左方ハ「パンジシル」「タガオ」「アリンガール」「ソングルー」ノ四河ト合シ一大流ト爲リ又三十餘里ニシテ日拉刺巴德府ニ至リ「クナール」河ト合シラルブール府ヲ經テ白沙瓦爾府ノ東北ニ至リ「スワット」及ヒ「バラ」ノ二河ニ合シ本若ノ亞的克府ニ至テ印度河ニ注入ス其水流大約二百六十里

「パンジシル」河ハ興都哥士南麓「コーヒスタン」ノ「アンジュマン」部落「アンジュマン」峽路ノ傍ニ發源シ「パンジシル」部落ヲ灌溉シ「コーヒダマ

〔ノ〕チヤリカール府ニ至テ「ゴルバント」及ヒ「ニジラオ」河ニ合シ然ル後チ南流シテ客布爾河ニ注入ス

〔ゴルバント〕河ハ「ハジガク」峽路ノ東方ニ發源シ「コーヒスタシ」ノ「ゴルバント」谷ヲ灌溉シ無數ノ小流ニ合シチヤリカール府ニ至テ「パンジシール」河ニ合ス「ニジラオ」ハ「パンジシール」河ニ並流シ「ニジラオ」部落ヲ灌溉ク所ノ小流ナリ

〔ロガール〕ハ其源ヲ「バグマン」山ノ南端「濟斯尼」地方ニ發シ東北ニ迂流シ「シニース」川ヲ受ケ其水流百五十里ニシテ客布爾府ノ東北十里ニ至リ客布爾河ニ合ス全流常ニ徒涉スヘシト云フ

〔シニース〕ハ「コツタケール」府近傍ニ發源スル者ナリ
〔テジン〕河ハ東サヒコー山ノ支脈「カルカチヤ」山ニ發源シ北流「ラツタバ」峽路ノ下ヲ過キ客布爾河ニ合ス水流四十里許ナリ

〔タガオ〕河ハ興都哥士ニ發源シ「タガオ」部落ヲ灌溉シ南流「ラツタバ」峽

路ノ北ニ至リ「テジン」川ト同所ニ客布爾河ニ合ス

〔アリンガール〕河ハ「ランガン」ノ曠原ヲ灌溉スル者ニシテ其上流分レテ二岐ト爲ル一チ「アリシヤング」ト云ヒ一チ「カオ」ト云フ共ニ「カヒリス」タン地方ヨリ來ル者ナリ二川相合シ「アリンガール」河ト爲ルノ後チ十里ニシテ客布爾河ニ入ル

〔ソングル〕河ハ東サヒコー山「カルカチヤ」山接合ノ所ニ發源シ「グンダモツク」ノ東ニ至リ「ソルカブ」河ニ合シ「日拉刺巴德」ノ西ニ至リ亦客布爾河ニ注入ス「ソルカブ」ハ其源ヲ「レイキレイ」峽路ノ傍ニ發シ「グンダモツク」ヲ經テ「ソングル」河ニ合ス

〔クナール〕河ハ一名「チトラール」河ト云ヒ「斯瓦的」河ト共ニ「チトラール」ヨリ來リ客布爾河ニ注入スル者ナリ

〔ハラ〕河ハ東サヒコー山ノ東南麓ニ發源シ東流四十里「アフリヂー」部落ヲ灌溉シ「チラ」河ト合シ然ル後チ東北ニ折流シ「白沙瓦爾」ノ西二里許ニ

至テ客布爾河ニ入ル其チラ河ハ一名マスチユラ河ト云ヒ亦サヒコー山ニ發シアフリヂー部落ノ南邊ヲ遶ルノ一大流ナリ
 哥爾摩河孟ハ北ノ方東サヒコー山ニ接シ西ハ濟斯尼地方ニ振リ南ハサハイダール山ニ接シ東ハアフリジール部落ニ隣リス哥爾摩河ハ東サヒコー山ノ西端クーシー府ノ北方シルキークタルノ東南サラテガノ高崗ニ發源シ無數ノ小流ト相合シ哥爾摩府ヲ過キ南流達爾ボンヌーノ二府ヲ經テ印度河ニ注入ス其間小流ノ之ニ湊合スル者其數ヲ知ラス其尤モ著大ナル者ヲゴカゼーハザルラダットアリオーブゴウンゼーカルマンサミールマツタンジヤンバトムキラシクトアルクゴンベイラノ諸流ト爲ス哥爾摩河ハ甚タ激流ニシテ各處皆常ニ轟々湧カ如シ水中亦砂泥多ク甚タ汚穢ナリ其支流中或ハ清水ナキニ非サルモ其本流ニ近ツクニ至リ亦隨テ濁流ト爲レリ
 ゴカゼー河ハシルキークタルノ東北ニ發源シ東北ニ直流スルコト凡ソ

八里ニシテ西南ニ折流シゴカゼー村ヲ經テデリークートラ村ニ至リハサルラダット河ニ合ス

ハサルラダット河ハ之ヲ哥爾摩河ノ本流ト爲ス河ハシルキークタルノ東ナルサラテガノ高陵ニ發シデリークートラニ至リゴカゼー河ト合シ西南ニ直流シアリオーブ府ニ至テアリオーブ河ニ合ス

アリオーブハピエワール山中ニ發シラリダールアリサンジールカルチヤテル等ノ數小流ヲ引キアリオーブニ至リハザルラダットニ合シ西流スルコト凡ソ十二里ニシテダンチー村ニ至リ河幅漸ク盛少僅カニ五十尺ノミ奇巖怪石兩岸ニ對峙シ其觀甚タ美ナリダンチー村ヲ距ルコト遠カラスシテ一流又來リ合ス之ヲゴウンゼー河一名シルキークタルト名クシルキークタルノ傍ニ發源セリ二河既ニ合スルノ後ヲ始メテ哥爾摩河ノ名アリ

ラリダール河ハ其源ヲサヒコー山中ノレイキレイコタル峽路ノ傍ニ

發スル者ナリ

哥爾摩河既ニゴウンゼー河ニ合スルノ後チ南折シアルトケールヲ過キ又東折シラヂー及ヒキライヤノ二村ヲ經テ哥爾摩府ニ達ス其際來リ合スル所ノ小流甚タ多シ其左岸ヨリスル者ヲウームマンヂオルイスチーエスピングウエーサリユーサンノ五川ト爲シ其右岸ナル者ヲオーマラヂーガバラザイコルダルワザカイノ五川ト爲ス

哥爾摩府ヲ距ルヲ未タ幾クナラスシテ一河又タ來テ哥爾摩河ニ合ス是ヲカルマン河ト爲ス河ハ東サヒコー山ニ發源スル者ナリ

其後チ哥爾摩河漸ク東南ニ轉流シ達爾府ヲ過キカプアルニ至テサミール河ニ合シ然ル後チボンヌー府ニ達ス

サミール河ハマツタン及ヒシヤンバノ二流ト共ニコスト全部落ヲ灌漑スル者ナリ河ハ西索利曼中シヤドラン嶽ニ發源シ東流シテマツタン村ニ至リマツタン河ト合シ然ル後チ東南ニ縈紆シシヤンバ河ト合

シ猶下ルヲ四里ニシテ哥爾摩河ニ注入スマツタンシヤンバノ二流皆ガハルマンガル岡ニ發源ス

其後チ哥爾摩河ハボンヌー府ノ下ニ至リゴンベイラ河ノ來リ合スル所ト爲ルゴンベイラ河ノ上流分レテ數岐ト爲ル其最上流ヲトチ河ト云フトチ河ハシヤドラン山ノ東方ウールカン府ノ傍ニ發源シトチ峽下ニ至リクローソラ河ニ合シ然ル後チ始メテコンベイラノ稱目アリ其後チラツキ府ノ西ニ至リシクトアルク河ニ合シラツキ府ヲ經テ遂ニ哥爾摩河ニ注入スクローソラ河ハ東索利曼中ノサハイダール山ニ發源シシクトアルク亦東索利曼中カニグールム府ノ北方ニ發源スル者ナリ

哥爾摩河ノ南方ニ護摩爾河アリ其河孟西ハ西索利曼連山ト爲シ西北シヤドラン山ニ抵リ北ハサハイダール山ニ接シ南ハスピスタン部落ニ抵リ東ハ印度河ナリ護摩爾河ハシヤドラン山ニ發源シアピタルク

「コルール」ノ二府ヲ經テ「グートクーツ」峽路ノ傍ニ至リ左ニ「ザールワ」河右ニ「グーリンドール」河ノ二流ニ合シ「コトツク」府ノ東ニ至リ「ゾーブ」河ニ合シ「グキレイリー」「チユルコンダ」ノ二峽路ノ下ヲ過キ護摩爾府ヲ經テ東南ニ直流シ印度河ニ注入ス

「グーリンドール」河ハ西索利曼中「カン」山ニ發源シ「グーリンドール」府ヲ過キ「グートクーツ」峽路ノ傍ニ至リ護摩爾河ニ合ス「ゾーブ」河亦西索利曼中「トバ」山ニ發源シ東北ニ直流シ「コスガリー」府ヲ經テ來リ合ス

「サンガ」河々孟ハ千達哈爾州ノ「スピスタン」全部ニシテ南ハ俾路芝斯坦ヨリ來ル「ロンヂマニ」河上流ノ灌溉地ト爲シ西ハ西索利曼山ノ界スル所ト爲リ北ハ護摩爾河ノ灌溉地ニ至ル是ノ河ハ西索利曼中「トバ」嶽ニ發源シ「スピスタン」ノ不毛地ヲ直東シ東索利曼山中ノ「リュニコ」府ニ至リ「リュニコ」河ニ合シ然ル後チ東北ニ迂徊シ東索利曼山ノ「サンガ」峽傍ヲ經テ「マンゲロタ」府ヲ過キ印度河ニ注入ス

○亞慕湖水經ハ西方波斯ノ沙漠ニ抵リ北ハ「コーヒバ」及ヒ「シアコー」二連山ト爲シ東ハ西索利曼連山ト爲シ南ハ「コジヤアムラン」連山ニ接シ東西四百二十里南北最廣部ヲ二百五十里餘ト爲ス亞慕湖ハ亞富汗斯坦、波斯、俾路芝斯坦、三國境上ニ在リ南北二百里東西三十里ト爲ス古昔ノ亞里湖是レナリ夫レ亞慕湖之ヲ湖ト云フモ是レ寧ロ沼澤ニシテ降雨ノ候僅ニ其水ノ漲溢スルヲ見ル其南部ニ水稍深キ處アリ之ヲ「ジレ」湖ト謂ヒ又其北部ニ二潭アリ是ヲ西斯丹湖及ヒ「ドキチール」湖ト爲ス西斯丹湖其尤モ大ナル者ナリ其水面海水ヨリ高キ一千五百尺巨川ノ二湖ニ注入スル者四條アリ其「ドキチール」湖ニ入ル者ヲ「^{ヘルマンド}黒曼德」カスル「ド」ノ二流ト爲シ西斯丹湖ニ入ル者ヲ「^{フアルド}フアルド」「^{ハルド}ハルド」ノ二流ト爲ス乃チ各其河孟ヲ論セン

黒曼德河ハ亞富汗斯坦ノ最巨流ナリ其流下七百五十里河孟亦尤モ廣ク東ハ「^ガ濟斯尼府」「^ア阿比斯他陀湖」及ヒ「^{スピ}スピスタン」部落ニ至リ東北「^{バク}バクマ

ン山ニ接シ北ハシアコー山及ヒコーヒバ、山ニ至リ南ハコジヤアム
 ラン連山ニ接シ西ハ其隣流カスルード河ノ灌漑地部ト爲ス黒曼德河
 ハバクマン山中ノハジンダーズ村ニ發源スハジンダーズハ海面ヨリ
 一萬千五百尺ナリ下ツテ數里ニシテガルダンジワル村ニ至テ猶一萬
 百尺アリガルダンジワルハハジカク峽中ノ小村ナリ又下テウルト村
 ニ至リアビシア河ヲ受ケ然ル後チコーヒバ、山ノ南麓ナル溪谷ヲ流
 過スルト三十五里ニシテアビジラワル河及ヒチリン河ヲ受ケ又數十
 里ニシテザミンダワールノ曠野ニ入り以テ北緯三十二度ニ至リバク
 ラン河ト合スバクラン河ハシアコー山中ニ發シカスルード河ニ併流
 シザミンダワールヲ北ヨリ南ニ流過シ遂ニ來テ黒曼德河ニ會スル者
 ナリバクラン河會同ノ後チ黒曼德河又下ルト二十里ニシテ一大府ア
 リ是チグリスク府ト爲ス府ハザシンダワールノ南界ニ在リ黒曼德河
 岸ヲ距ル一里半許ト爲ス

夫レ黒曼德河ハ國中ノ最大河ト云フト雖モ其上流ハ兩岸皆峻巖併立
 シ河中亦許多ノ巖石出沒シ之ヲ槩スルニ河源ヨリ二百里許ニ至ルマ
 テハ皆激流ノ山溪ニ過キサルナリ其未タグリスク府ニ至ラサルヤ四
 十里ニシテ右傍所謂ルザシンダワールノ平原ニ沿フニ至リ河幅漸ク
 廣ク河底變シテ沙礫ト爲リ水流亦滔々始メテ巨流ノ狀ヲ爲ス其引テ
 田疇ニ漑クモ亦是ノ地方以南ノミ
 又下テグリスク府ノ近傍ニ至リ河幅遂ニ一里ト爲リ水量亦隨テ多ク
 涸落ノ時ト雖モ水面殆ト千尺ニ過キ深サ馬腹ヲ過ク是ニ於テカ或ハ
 徒涉スヘシト雖モ猶渡口ヲ定設スト云フ
 〔グリスク府〕下ルト四十五里ニシテアルガンターブ河來リ會シ然ル
 後チソラワツク沙漠ノ西端ニ沿ヒ又廻遶シテガルンシール部落ヲ過
 キ俾路芝斯坦ノ北境ヲドバル府ヲ經テ北方ニ曲折シフアラファツト府
 〔ナダリー〕府ヲ過キトキチール湖ニ注入ス

黒曼德河ハ毎歳一次河水必ス漲溢シ或ハ各處ニ氾濫シ平地モ亦舟行セサルヲ得サルカ如キヲアリ然レモ其灌溉スル所ノ地ハ則チ沙漠ト雖モ明年必ス豊饒ナリト云フ

黒曼德河ノ枝流甚タ多シ其尤モ大ナル者ヲアルガンダーブト爲スアルガンダーブハゲール山ノ北端濟斯尼府ノ北方ゲールバグマンニ連山接合ノ所ニ發源シ二連山ノ中間入呼テアルガンダーブ谷ト云フ者ヲ灌溉シ干達哈爾府ノ西南三十里カリフラバド府ニ至リドリ河ト合シ然ル後チ西流カラバス府ニ至リ黒曼德河ニ合ス

アルガンダーブハ其水清澄其勢迅激ナリ而シテ甚タ深カラス僅ニ馬腹ニ及フ河底ノ傾斜一里毎ニ二十八尺故ニ冬間水少ナキノ時ハ流勢極メテ激烈且ツ速カナリ下テ干達哈爾府ノ近傍ニ至レハ河幅漸ク廣ク殆ト四百尺ニ至リ水量亦少ナカラス然レモ七八月ノ間旱スル時ハ徒涉スヘシ

ドリ河亦許多ノ枝流アリ是ヲグダニーアルガサンタルナツクノ三條ト爲ス皆巨流ナリ共ニ西索利曼及ヒゲール連山中間ノ峡谷ヲ灌溉スル者ナリドリ河ハ源ヲピシン部落中コシヤアムラン山ノコシヤク峽傍ニ發シ北流シテグダニー河ニ合スグダニー河ノ上流分レテニ岐ト爲ル共ニ西索利曼山ニ發源スル者ナリ一ツハ其カン嶽ニ發源シ一ツハガリバイ峽傍ニ發源ス

ドリ河既ニグダニー河ニ合スルノ後チ北流シテダクダブール府ヲ過キ西方ニ回流スルヲ殆ト十里ニシテアルガサン河ニ合シ又北折シタルナツク河ニ會同ス河源ヨリ是ニ至ルマテ水程九十六里ト爲ス其後チドリ河又西流遂ニアルガンダーブト合スアルガサン河ノ上流分レテ二ト爲リ一ヲケワ河ト曰ヒ西索利曼中ワジカワ部落ノ東方ガリバイ峽路ノ傍ニ發源シ一ヲキサニー河ト曰フキサニー亦チヤタトルロラカラダグル三河ノ合流スル者ナリ三流共

ニ皆シユルコト山中ニ發ス三流相合スルノ後キザニ河ト爲リ南流
 二十里ニシテケワ河ニ合シ然ル後チ始メテアルガサン河ト爲リ西流
 殆ト三十里干達哈爾ノ東南七里ニ至リドリ河ニ入ル
 「タルナツク」ハ濟斯尼府ノ南方ジヤムロード府ノ北グール山中ノ一小
 澤海面ヨリ高キヲ七千四百尺ナル者ニ發源シ濟斯尼ヨリ干達哈爾ニ
 至ルノ本道ニ並行シ干達哈爾ノ南方八里ノ所ヲ經過シ又四十里ノ後
 チドリ河ニ合ス其水程二百里許ナリ
 黑曼德河ニ注入スル者アルガンダブ河ノ次ヲロラソラワツク河ト
 爲ス西索利曼中トバ嶽ニ發源シ其北麓ヲ遶リ其西端ニ至リ西索利曼
 中カン嶽ニ發源シトバ山ノ南麓ヲ繞ル所ノ一流ニ合シピシン峽ノヒ
 カルザイ府ノ西方ニ於テ幾陀^{ケタ}地方ヨリ來ル所ノグースラツク河ニ合
 シ又西流二十里ノ後チ幾拉^{ケラ}的府地方ヨリ來ル所ノ巨流ムースタン河
 ニ合シ然ル後チソラワツクノ沙漠中ニ入ル其沙漠中ノ水經今日之ヲ

審カニセス或ハ黑曼德河ニ注入スト曰ヒ或ハ俾路芝斯坦ノグーラム
 シト府ノ西方ナルハムーンロラ澤ニ入ルト曰フ

黑曼德河ノ右岸亦數條ノ巨流來テ注入スル者アリ之ヲクールド「キ
 ラムザ」マリヤールドノ諸川ト爲スクールド河ハ黒山ニ發源シ南方
 ニ直流シヤクタン府ニ至リケサイ河ニ合シ然ル後チ東流黑曼德ニ合
 ス

「キラムザ」河亦黒山ニ發源シコシヤナクン山ノ東麓ニ沿ヒ南流シ北緯
 三十二度ニ至リ黑曼德ニ注入スキラムザ河又タ之レヲバグラン河ト
 名ク其ノバグラン府ニ過クルヲ以テナリ府ハ河上北緯三十三度ニ在
 リ

「マリヤールド」ハコシヤナクン山支脈ノ西南ニ突出スル者ニ發源シザ
 ミンダワール高原ノ西端ニ沿ヒ廻遶ノ後チガルンシール部落ノ北端
 「ハザルジユフト」府ノ傍ニ至リ黑曼德河ニ合ス

以上ノ諸流其本流黑曼徳ヲ除クノ外ハ皆盛夏悉ク乾涸シ殆ト一滴ノ水ヲ餘サス

黑曼徳河ノ後チカスルード河ト爲スカスルード河ハシアゴー山ニコ
ジヤナクン及ヒパンジユアンデユストコー三山ノ分岐ノ中間ニ發源
シタリユダラ湖ニ沿ヒ西南ニ廻流シカス府及ヒチヤカンシユール府
ヲ經テドキチール湖ニ注入ス河幅ハ甚タ廣大ナレモ水量ハ多キナ
シ

カスルード河ノ西方ニソル、ード河ト云フ者アリ其上流チアブライ
ムジユイ河ト云ヒパンシユアンジユストコー山ニ發源シ南流六十餘
里ニシテチヤラー府ヨリ來ル所ノチヤラー河ニ合シバクワノ高臺ヲ
過キ一大澤ヲ成シ然ル後チ又盛小ニシテ河流ト爲リソルルード河ノ
名ヲ負ヒ遂ニカスルード河ニカス府ノ西方ニ合ス

ドキチール湖ニ注入スル所ノ河流尙二條アリ之チカルルード及ヒク

スバスルードノ二河ト爲スカルルードハソルルードノ沼澤ニ發シク
スバツスハパンヂユアンジユストコー山ニ發ス

其西斯丹湖ニ入ル者一チフアラルード河ト爲スシアゴー山ニ發源シ
古昔ノグール國ヲ經テ華拉府及ヒラツスジヨベンノ二府ヲ過キ湖中
ニ入ル者ナリ毎年一回流水乾涸ノ時アリ然レモ春季ハ河水多クシテ
且ツ深ク其大水ノ時ノ如キハ行旅ノ往返ヲ障止スルヲアリ水程二百
里ナリ其次チハルード一名サブサワール河ト名ケ其上流河源ヨリ五
十里許チアドラスブカン河ト曰フ亦シアゴー山中ニ發源シルヂーガ
ズ河ト會同シサブサワール部落中ニ廻流シサブサワール府ニ至リジ
ヤイヤ川ト合シ然ル後チ始メテハルードノ名ヲ負ヒ南流ジヤシヤ府
ヲ經テ少シク西南ニ折流シ波斯境ニ沿ヒ東南ニ曲折シクスルダツク
河ニ合シ遂ニ西斯丹湖ニ注入ス水程大約二百三十里ト爲ス其クスル
ダツクハコーヒサヒード山ニ發源シカキサヒード山ノ西麓ニ沿ヒ西

南ニ直流シ「ハルード」ニ入ル者ナリ

○裏海水經ハ亞富汗斯坦ニ在テハ甚タ狹小ナリ是レ所謂ル亞富汗哥拉森全部ナリ其地南ハ「シアコー」山ノ限ル所ト爲リ東ハ「カジヤク」峽路ニ止リ東北ハ「チルバント」山ト爲スニ巨流アリ其中ヲ灌溉ス一チ「ヘリルード」河一名希拉的河ト云ヒ一チ「ムルカーブ」河ト稱ス「ヘリルード」河孟ハ甚タ小ナラスト雖ヒ亞富汗斯坦中ニ在テハ僅ニ「シアコー」及ヒ西「サヒコー」三山ノ中間ノミ殆ト一溪谷ト云フモ亦可ナリ「ヘリルード」河ノ上流二分シ其南ナル者ヲ「チンガラーブ」河ト云ヒ北方ナル者ヲ「ジヤンガール」河ト名ク共ニ「コーヒバ」山ノ西端ニ發源シ「チャグダン」府ニ至テ二河相合シ「ヘリルード」河ト爲リ西方ニ直流シ希拉的府ノ南邊ヲ過キ直ニ波斯境ニ至リ其境上ヲ北流シ北緯二十六度ニ至リ又漸ク西ニ遶リ波斯ノ北境ヲ廻リ遂ニ土耳其機斯坦ノ沙漠中ニ消滅ス「ムルカーブ」河ハ西「サヒコー」山ノ東端ニ發源シ「チャルタク」府ニ至リ右

岸ニ「サルワシ」河ト合シ西北ニ直流シ「パンジヤーブ」峽路ノ南ニ至リ「バン」河ト合シ然ル後チ又北流「バラムルカーブ」府ヲ經テ「サラバンド」山ヨリ發スル所ノ一巨流ト合シ亞富汗斯坦北境ニ至リ又「グースク」河ト合シ遂ニ土耳其機斯坦ノ沙漠ニ入り北流スル「殆ト」二百里ノ後チ亦沙中ニ滅ス

夫レ是ノ如ク裏海水經ノ二河皆海ニ至ラスシテ沙中ニ滅ス然ラハ則チ之ヲ裏海水經ト云フハ其謂ナキ者ノ如シ蓋シ唯地形ヲ以テ之カ區分ヲ爲ス者ナリ夫レ大河巨流ノ海ニ達セス亦湖沼ニ入ラス沙中ニ消滅スル者中央亞細亞中特ニ土耳其機斯坦ヲ尤モ多シト爲ス獨リ「ヘリルード」「ムルカーブ」ノ二河ノミナラス荷薩河ノ左右概子皆是ノ如シ

○亞拉兒海水經ハ之ヲ阿領土耳其機斯坦全部ト爲ス南ハ「ハジガク」コーヒバ「テルバンド」三連山ノ界スル所ト爲リ東ハ「波達克山」ノ東境ニ至リ北ハ荷薩河ニ望ム是ノ地數條ノ大小河流アリ之ヲ「サンガラツク」サ

リブール「デハッス」クルム「ノンツーズ」コクチャノ六流ト爲ス皆荷薩河ノ枝流ナリ然レ其サンガラツク「サリブール」デハッス「クルム」ノ四流ハ皆一旦沙中ニ消滅ス人其荷薩河ト接合スル所ヲ審ニセス

「サンカラツク」及ヒ「サリブール」ノ二河ハ皆チルバンド山ニ發源シ「サンカラツク」ハ「メーマナ」府ヲ經テ「アンドクイ」府ニ至テ沙中ニ消滅シ「サリブール」ハ「サリブール」府ヲ經テ「シベルガン」府ノ北ニ至リ亦沙中ニ滅ス二河ノ水經今日未タ詳カナラス

「デハッス」河ハ又婆革河ト曰フ「コーヒバ」山ニ發シ西北ニ廻流シ「グースク」府ヲ過キ東北ニ曲折シ「カン」府ヲ經テ高陵ノ間ヲ過クル「凡ソ」二十里ニシテ婆革府ニ至テ亦消滅ス

「クルム」河ハ「カラコー」山ノ東端ニ發源シ「グーテーム」ノ溪谷ヲ過クル「三十里」ニシテ「クルム」府ニ至テ消滅ス

「クンツーズ」河一名「アスクライ」河ハ其上流ヲ「シユルカーブ」河ト云フ「シ

ユルカーブ」ノ上流又「バミアン」河ト曰フ「バミアン」府ノ南方ニ「コーヒバ」山ニ發源シ「バミアン」府ヲ經テ東流興都哥士ノ西麓ニ至リ左折シテ北流スル「凡ソ」三十里ニシテ「サイガン」府ヨリ來ル所ノ者ニ合シ然ル後チ始メテ「シユルカーブ」ノ名ヲ負ヒ直流四十里ニシテ右岸ニ「インダラ」河ニ合シ然ル後チ「クンツーズ」河ト爲リ又北流九十里許ニシテ「クンツーズ」府ニ達シ「バンキー」河ニ合シ又北流二十里ニシテ終ニ荷薩河ニ注入ス其「インダラ」河ハ其上流ヲ「シリアーブ」河ト曰ヒ興都哥士ノ「カワツク」峽路ニ發源シ西流「インダラ」府ヲ過キ「インタラ」部落ヲ經テ「クンツーズ」河ニ合ス其「バンギ」河亦興都哥士ノ「アンシユマン」峽路ノ北方ニ發源シ北流カナバード「府」ノ東方ニ至リ「フエイカール」河ニ合シ然ル後チ西北十里餘ニシテ「クンツーズ」河ニ合ス其「フエイカール」河ハ興都哥士ノ支脈「コジヤマムード」山ニ發源シ「フエイカール」部落ヲ經過スル者ナリ

「コクチヤ」河ハ其上流ヲ「コーラン」川ト曰ヒ興都哥士山中東經七十一度ニ發源シ直北八十里「ジラン」府ノ北方ニ至リ「バルダー」ジユ「サルギラン」
 「ザルドー」ノ三河ト合シ然ル後チ西流フ「イザバード」府ヲ經テ又九十里ノ後チ終ニ荷薩河ニ注入ス「バルダー」ジユ「サルギラン」
 「ザルドー」ノ三流皆波達克山東鄙ノ小流ナリ
 ○阿比斯他陀湖水經ハ南北百二十里東西六十里ニシテ群山四周ノ盤谷ナリ中央一小鹽湖アリ之ヲ阿比斯他陀湖ト爲ス濟斯尼府ヲ距ルテ六十五里ニ在リ湖ハ東西十五里南北十里許其深サ僅ニ十二尺ノミ然レ此地方ノ流水他ニ逸スヘキ處ナキカ故ニ四面諸山ノ河流皆湖中ニ湊合シ遂ニ是地ノ一小水經テ成セリ諸流中其著大ナル者は「濟斯尼」
 「バルチユ」
 「ジワカワ」ノ三流トス濟斯尼河ハ「シルダナ」山ニ發源シ濟斯尼府ノ南方ニ至リ「ジヤルマチユ」河ノ來リ會スル所ト爲リ又南流ニ十里ニシテ「シルグ」河ニ會シ然ル後チ「カルガニー」
 「カタサン」ニ連山ノ中

間ヲ經過シ湖中ニ注入ス濟斯尼河源ヲ一小澤ト爲ス水勢速力ハ一秒時間ニ五尺ト爲ス春季ハ則チ水量之ニ倍ス涸落ノ時ト雖此亦直徑二十尺深二尺ノ水ヲ餘セリ是ノ澤ハ昔シ「ガス子」ビト「麥蒙德帝」ノ築カシムル所ナリト云フ今日之ヲ帝澤ト謂フ其提防八百四十尺高二十尺乃至三十尺アリ秋季其水門ヲ閉塞スレハ澤ノ直徑千五百尺ニ至ル春季ニ至リ其水門ヲ開クヤ流水忽チ田野ニ灌漑シ其殘餘濟斯尼河ニ入り遂ニ阿比斯他陀湖ニ注入ス
 「バルチユ」河ハ西索利曼山中「シユルタン」峽路南方ニ發シ西南ニ直流シテ湖中ニ入ル其「ワジカワ」河亦西索利曼「インタイ」嶽ニ發シ「ワジカワ」部落ヲ灌漑シ然ル後チ湖中ニ入ル者ナリ
 以上舉クル所ノ者國中河流ノ大畧ナリ其著名ナラサル者ハ之ヲ畧ス

第二篇

國體部

區畫

亞富汗斯坦ハ古昔大別シテ四部ト爲セリ一ニ曰ク巴羅巴美西バロバミシ今日之
 チ客布爾州ト爲ス巴羅巴美西ハ興都哥士山ヒンドクイシュノ舊名ナリ人之チ擴充シ
 テ遂ニ山麓ノ部落ニ名ク然レモ今ハ其名僅ニ希拉的州中ニ存スルノ
 ミニニ曰ク亞里アリ即チ今日ノ哥拉森コラサンナリ三ニ曰ク亞刺哥支アラクシ之チ今日ノ
 干達哈爾ト爲ス四ニ曰ク德蘭ドラン燃今ノ西斯丹シスダン是ナリ其後チ區畫大ニ變
 シ客布爾カブル即チ亞富汗斯坦本部又單ニ客布爾ト云フ哥拉森コラサン西斯丹
 ト共ニ三部ト爲ス

第一門

客布爾斯坦

客布爾斯坦又單ニ客布爾ト曰フ即チ亞富汗斯坦本部ナリ今日客布利

斯坦ノ名號轉シテ其舊屬地チトラールノ西南ニ存シ人之チカヒリス
 タント云フ今日ノ客布利斯坦東ハチトラール及ヒ印度ノ本若ニ接シ
 北ハカヒリスタン及ヒ興都哥士山ノ界ヒスル所ト爲リ西ハ哥拉森及
 ヒ西斯丹ニ接シ南ハ俾路芝斯坦及ヒ印度ノ信德部落ニ至ル
 客布利斯坦分テ三區ト爲ス曰ク客布爾曰ク濟斯尼曰ク干達哈爾華ナ
 リ是地本ト七部ト爲セリ客布爾「ログマン」日拉刺巴德「シビー」干
 達哈爾「華拉」是ナリ然レモ今ハ則チ「ログマン」日拉刺巴德「シビー」三區
 僅ニ其名チ一府ニ存スルノミニシテ其部落ハ皆廢シ「ログマン」日拉刺
 巴德ハ客布爾ニ合シ「シビー」ハ干達哈爾ニ合ス其華拉ハ今日之チ西斯
 丹ノ一州ト爲ス

其一 客布爾州

客布爾州ハ北方興都哥士山ニ接シ東ハ本若ニ達シ西ハ哥拉森ニ抵リ
 南ハ濟斯尼州ニ隣ル其幅員東西二百里南北六十里ト爲ス全部皆客布

爾河及ヒ其支流ノ灌溉スル所ト爲リ土壤概チ膏腴砂糖樹綿花其他歐
 洲諸國ニ見ル所ノ果實草木皆悉ク繁茂セサルハナシ其山嶺深澗ノ地
 ハ豺狼虎豹甚タ多ク馬羊尤モ美ナリ之チ要スルニ山野ノ動植諸產備
 ハラサルハナシ每歲印度地方ニ輸ス所ノ馬數甚タ夥シク近年域内ニ
 牧場數所ヲ開キ許多ノ良馬ヲ畜養シ且ツ漸次其方法ヲ改良スルカ故
 ニ往々駿馬ヲ產出セリ

州中高原數所アリ其尤ナル者はチ客布爾日拉刺巴德「コーヒスタン」コ
 ーヒダマン「ランガン」哥爾摩及ヒ「アフリジ」族ノ部落等ト爲ス客布爾
 ノ高原即チ客布爾府地ナリ其地土壤大ニ開ケ植物繁茂シ客布爾府外
 ノ道路ハ往々所トシテ果園牧場ナラサルナシ又巧ニ河流ヲ疏引灌溉
 シ草木甚タ鬱茂セリ是地東西三十里南北僅ニ十里許ノ掌大平低地ナ
 リト雖モ其戸口稠密ハ蓋シ國中無比ナリトス原ノ中央ニ府市及ヒ城
 廓アリ之チ王居ト爲ス

是ノ地ノ天候之ヲ英都ニ比スレハ寒暑皆甚シ冬季ハ晝間羊皮若クハ毛布ノ外套ヲ着ケ夜間羊皮ノ衾ヲ掩フ盛夏ハ晝間粗布ヲ纏ヒ夜間戸外ノ樹陰ニ眠ル寒暑ノ差異是ノ如ク大ナリト雖凡其變換自ラ定期アリ故ニ他ノ變換定マラスノ大ニ人身ニ害アル者ノ如クナラス四季ハ各三ヶ月ニシテ十二月ヲ冬初ト爲ス冬季既ニ至レハ氷雪山野ヲ覆ヒ街路亦爲メニ極塞シ各所ノ商買客布爾府内ニ往返ノ便ヲ絶チ一府寥々タリ「日拉刺巴德」ノ平原ハ客布爾平原ノ東方ニ在リ其間「カルカチャ」山ノ分界スル所ト爲リ東ハ「キーベル」峽ニ至リ南ハ東サヒ「コー」山ニ達シ北ハ客布爾河ニ瀕シ西ハ則チ「カルカチャ」山ナリ東西七十里南北三十里ナリ全部無數小流ノ灌漑スル所ト爲ル皆客布爾河ノ支流ナリ「コーヒスタ」ハ「ホルバンド」及ヒ「パンジシール」ニ流ノ灌漑地ト爲ス興都哥士「バクマン」三山及ヒ「ランガン」高原ノ圍ム所ト爲リ東西延長ノ不毛地ナリ加フルニ又瓦礫碎石甚々多シ蓋シ冬季沍寒ノ烈シキカ爲ニ

山上ノ巖石摧碎シテ隕落スル者ナラン獨リ原ノ東邊「タガオ」ニシテ「オ」ニ流ノ灌漑地ノミ地形開濶風景壯麗許多ノ巨屋菓園各所ニ散處シ葡萄其他ノ果物ヲ産スルコト多シ居民ハ「サヒール」人即チ「カフール」人ノ洋教ニ入ル者ナリ

「コーヒダマン」ハ「バグマン」山下ノ高原ニシテ東ハ客布爾ノ高原ニ接シ北ハ客布爾河ノ界ヒスル所ト爲リ南北三十一里東西十里許ノミナリ其地東北部ハ其西南ヨリ低キコト大畧十四尺ナリ全部蓋「パンジシール」河ノ一支流ノ灌漑スル所ト爲リ土壤膏腴植物繁茂シ米粟綿花煙草麻菜蔬尤モ多シ居民ハ大半「タシク」人ニシテ舉措甚々躁暴ナリ原ノ西北部「バグラン」ト云フ東西八里南北四里風景甚々美ナリ

「ララガン」ノ高原ハ「タガオ」客布爾「クナール」三河ノ圍ム所ト爲リ其幅員ハ東西五十五里南北十五里ト爲ス是地亦豐饒田野大ニ開ケ植物繁茂セリ

哥爾摩高原ハ東西六十里南北三里乃至十里ノ一小原ナリ其中央哥爾摩ノ砦アリ以テ四方ヲ壓ス亦客布爾南方ノ一要地ナリ
 「アフリジ」部落ハ北ノ方「キーベル」峽路ニ接シ東北白沙瓦爾ニ至リ南方ハ「コハット」山脈及ヒ「コハット」ヨリ白沙瓦爾ニ達スルノ峽路ニ接ス
 縱横十二里ノ小高原ナリ中央一流水ノ横斷スル所ト爲ル之ヲ「バラ川」ト謂フ白沙瓦爾ニ至リ客布爾河ニ合ス是地分テ六區ト爲シ「アフリジ」族六部之ニ居レリ
 州中ノ市府

客布爾州ノ首府之ヲ王居客布爾府ト爲ス府ハ客布爾高原ノ中央ニ在リ北緯三十四度三十分東經六十九度四十三分ニ位シ海面ヲ出ツルト六千六百九十六尺ナリ市街ノ家屋ハ概子木造ニ係ルト雖モ甚々清美且ツ其便尤モ多シ府ノ周圍ハ大約十里之ヲ繞ラスニ粗造ノ堡壘ヲ以テシ四面各一門ヲ置ケリ其東門ヲ正門ト爲シ之ニ入レハ直ニ「サヒバ

サール」ノ市場ナリ「ア」リ之ヲ過クレハ操練場アリ其後ハ則チ王城ナリ之ヲ「バラビフサル」ト謂フ城壁聳立シ之ヲ望ムニ巍々然タリ其中ニ王宮官衙禁園及ヒ一小市街アリ市街ノ人口五千内外ナリ其全府ノ人口ハ大約六萬人

互市場ハ宏大美麗ナリト雖モ千八百四十二年英軍ノ破毀スル所ト爲レリ府内ヲ數區ニ分チ每區壘壁ヲ以テ之ヲ畫ス其東南隅ノ一區之ヲ波斯人ノ住居ト爲ス其數一萬乃至一萬二千人

府内ノ街路頗ル狹隘ニシテ二騎並行スル能ハス然レモ互市通商ハ則チ盛ンナリ魯西亞、支那、印度、韃靼ノ諸國ト貿易シ特ニ家畜穀物ノ出入ヲ以テ其最ナル者ト爲ス

府内ノ製造品ハ一モ記ス可キ者ナシ蓋シ土人概シ製造ヲ意ト爲サス其製スル所ノ者僅ニ府内彼此ノ需用ニ供スルノミ

客布爾ノ次チ「日拉刺巴德」白沙瓦爾「クナール」「ラルプール」「シヤムロード

「チヤリカール」イスタリフ「グーシート」アリーケール「シルタルガルテン
哥爾摩」ヒエワール「グルドカブール」アルカンヂー「メーダン」等ノ諸府ト
爲ス

曰拉刺巴德府ハ客布爾河ニ瀕シ客布爾クナール「二河接合地ノ西數里
ニ在リ其地海面ヲ出ツル」千五百六十尺客布爾府ヲ距ル」東方八十
里干達哈爾ヲ距ル」東北二百五十里ト爲ス府内ハ汚穢特ニ其家屋ノ
不潔見ルニ忍ヒサル者アリ然レモ是府ハ亞富汗斯坦東門要衝ノ一ニ
シテ其城壁ノ如キハ甚タ厚ナラス千八百四十二年英國將官「セール」寡
兵ヲ以テ城内ニ入り數月間亞富汗斯坦ノ大衆ヲ防拒スルヲ得タリ其
後チ英軍ノ去ルヤ皆其城郭ヲ毀テ府内大約二千ノ人戶英軍其千二百
ヲ破毀セリト云フ

白沙瓦爾府ハ印度ノ本若境上ノ一大府ナリ客布爾府ヲ距ル」百五十
里餘ニシテ「キーベル」峽路ノ東方二十四里ニ在リ亦客布爾河ニ瀕ス其

地海ヲ出ツル」千百六十五尺

府内ノ回教寺院互市場府令ノ邸宅及ヒ城塞皆著名ノ建築ナリ

是地通商貿易ノ便尤モ多シ然ルニ今日ハ則チ互市甚タ殷盛ナラス舊
時十二萬ノ人口今僅ニ四萬ニ過キス亦以テ府内貿易ノ衰替ヲ見ルベ
キナリ

「クナール」府ハ客布爾州ノ東北隅ニ在リ「カヒリスタン」境上ニ接ス「クナ
ール」河上ニ在リ之ヲ日拉刺巴德府ノ複郭ト云フ

「ラルプール」シヤムロード」ノ二府ハ之ヲ「キーベル」峽路ノ前後出入ノ二
門ト爲ス「シヤムロード」ハ峽南ニ在リ「ラルプール」ハ峽北ニ在リ是地海
面ヨリ高キ」千四百尺

「チヤリカール」府ハ「コーヒダマン」ノ首府ニシテ「バンジシール」河ニ枕ミ
「ゴルバンド」及ヒ「バンジシール」二河接合ノ處ニ在リ客布爾府ヲ距ル」
四十里ト爲ス府中營テ英ノ知州事ノ官衙及ヒ衛戍兵營等アリ千八百

四十二年英軍敗退ノ時土寇ノ圍ム所ト爲リ水利ヲ絶タレ守兵ノ飢渴且夕ニ迫リ遂ニ圍ヲ潰シ逃レ走レリ然レモ途上土寇ノ鑿殺スル所ト爲リ免カレシ者僅カニ一人ノミ

「イスタリーフ」府ハ「コーヒダマン」ノ中央「バンジシル」河ノ一支流上ニ在リ客布爾府ヲ距ル「北方二十五里」チヤリカール「府」ヲ距ル「南方十五里」亦近隣勝地ノ一ト爲ス

「グーシー」府ハ東「サヒコー」山ノ西端ニシテ北緯三十四度ニ在リテ客布爾府ト其經度ヲ同フセリ是地哥爾摩ヨリ「シユタルガルテン」府ヲ經テ客布爾府ニ至ルノ本道上ニ在リ今日最モ緊要ノ地ナリト云フ

「アリーケール」府ハ東「サヒコー」山ノ南麓東經六十九度四十分ニシテ「グーシー」府ト緯度ヲ同フセリ「アリオーブ」河ニ瀕シ哥爾摩府ヨリ「シユタルガルテン」府ニ至ルノ本道上著名ノ大府ナリ

「ヒエワール」府ハ東「サヒコー」山ノ支脈南出シ哥爾摩河ニ抵ル者ノ東麓

ニ在リ「ヒエワール」峽路ノ下ニ在リ北緯三十四度東經七十度ト爲シ東「サヒコー」山ノ尖峯「シカライム」山ノ壓スル所ト爲ル是地哥爾摩ヲ距ル「十六里」ナリ

哥爾摩府ハ軍口堡塞ト稱スヘシ「シルアリー」王ノ弟「アシム」汗ノ築ク所ト云フ其墻垣皆荆棘ノ拒馬ヲ廻繞シ中ニ劍角堡八個アリ各圓形塔一個ヲ戴キ且ツ全堡ノ周圍ニ塹壕ヲ廻ラシ其壕ニ架スルニ甬道ヲ成セル吊橋ヲ以テセリ是地亞富汗斯坦東境ノ「達爾」府ヲ距ル「大約五十里」ナリ

「シユタルカルデン」ハ東「サヒコー」「カルカチヤ」ノ二山接合所ノ西麓ニ在リ同名峽路ヲ擁ス是地「アリーケール」ヨリ「グーシー」ニ至ルノ本道ニ位シ尤モ要道ナリ

「グルドカブール」ハ客布爾ノ東南十里ニシテ「ソクタ」山道上ニ在リ之ヲ京城ノ複郭ト爲ス其地海面ヨリ高キ七千六百四十尺

「アルカンヂー」府ハ客布爾ノ西南十五里許ニシテ「コービダマン」ノ南隅客布爾ヨリ濟斯尼ニ至ルノ本道上ニ在リ「ユナ」峽ノ東門ナリ蓋シ客布爾府西北ノ要地ナリ「メーダン」府ハ「アルカンヂー」ノ南ニ在リ

其二 濟斯尼州

濟斯尼州ハ北方客布爾州ニ接シ西南于達哈爾州ニ隣リシ西方ハ哥拉^{ゴラ}森ニ接シ東ハ印度ノ本若^{アシヤ}ニ抵ル「バグマン」東「サヒコー」東索利曼ノ三山其東西北三方ヲ圍ミ西素曼及ヒ「グール」連山其中央ヲ横亘シ又二山ノ支脈各所ニ斷續セリ之ヲ要スルニ全州悉ク山陵ノ上ニ位ス是レ國中^中最險地ノ目アル所以ナリ蓋シ首府濟斯尼府ノ如キハ海面ヨリ高キ^ト七千七百三十尺ナリ

州中高原二所アリ之ヲ「コスト」「バラチール」ノ二部落ト爲ス又二大溪谷アリ之ヲ「タルナク」及ヒ「アルカンダーブ」ノ灌溉地ト爲ス「コスト」部落ハ東部及ヒ中部索利曼ノ二脈ニ跨レル高原ニシテ東西四十里哥爾摩河

其東北ヲ回繞シ其南方哥爾摩河ノ支流「トチ」河ノ界ヒスル所ト爲リ其中央哥爾摩河ノ支流「サミール」河ノ横斷スル所ト爲ル是地殆ト不毛ニシテ村落亦稀ナリ居民概チ「タヒルシ」人種ト爲ス性尤モ兇暴ナリト云フ

「コスト」ノ西方「フォルムル」部落アリ達日克人^{タグ}ノ居地トス

又「コスト」ノ南方ニ上「ダワール」下「ダワール」ノ二部落アリトチ河ノ兩岸ニ在ル者ナリ東西亦四十里ニ亘レリ地味頗ル豐饒ナリ土人等或ハ牧畜シ或ハ耕耘シ或ハ又専ラ商業ニ從事スル者アリ常ニ駱駝ヲ用ヒテ其商品ヲ「コスト」若クハ「ワチリス」地方ニ輸ス人口凡ソ二萬五千人「バラケール」高原ハ即チ「阿比斯他陀湖」ノ水域ナリ地味膏腴植物大ニ蕃殖シ且ツ道路四通ナルカ故ニ商賈絡繹來往シ首府「バラケール」ノ通商甚タ盛ナリ

「タルナツク」溪谷ハ「グトル」シニルコー「三連山」中間ノ長溪ニシテ南北ニ

百里ニ亘レリ其中央ニ客布爾干達哈爾ノ本道アリ行旅常ニ來往ス蓋シ國中第一繁盛ノ地ナリ

「アルガンターブ」溪谷ハ「バグマン」クールニ連山ノ中間ニシテ南北ニ延長シ殆ト二百五十里許概子不毛ニシテ市府甚々稀ナリ

東索利曼山ノ西麓ニ「ワヂリスタン」部落アリ是レテ國中最大部落ト爲ス北ハ哥爾摩河ニ至リ南ハ信德ノ境上ニ至ル而シテ其中央哥爾摩河ヨリ護摩爾河ニ至ルノ地ヲ「マツスード」ワチリスタント云フ皆「ワヂリ

ス」人ノ居住地ナリ全部悉ク索利曼山脈中ニ在リト雖モ地味膏腴尤モ耕耘ニ便ナリ其産スル所少小ナラス「マツスード」ワヂリスタンノ南方

ニ「バタニー」ナル一小溪谷アリ亦沃饒ナリ又「マツスード」ワヂリスタン北西ニ小高原アリ「ルツムク」ト云フ南北ニ里許東西七里ナリ「マツキン」

府及ヒ「サハイタール」山ノ中間ニシテ耕耘ノ道大ニ開ケタリト云フ阿比斯他陀湖ノ東北ニ「ザルマイル」カタワーズノ二部落アリ「ザルマ

ル」部落ハ西索利曼及ヒ「ガリコロ」ミツセルガ山ノ中間ニシテ濟斯尼河ノ支流「シルグ」河ノ灌漑地ナリ東西二十里南北四十里ナリ「コツタケ」ル府ハ即チ是ノ「ザルマイル」ノ首府ナリ其他部落中「カラージ」ミチユルガ等ノ市邑アリ皆達日克人ノ居住地ナリ

「カタワーズ」部落ハ東西二十四里南北四十八里ト爲ス西索利曼山及ヒ濟斯尼河ノ中間ニ在リ「バルチユー」河ノ灌漑地ナリ其居民ハ悉ク「キルキ」族ノ支派ナル「スルマンケル」人ナリ

州中ノ市府

濟斯尼州中ノ首府之ヲ濟斯尼府ト爲ス「クール」連山北端ノ東麓北緯三十三度三十分東經六十八度十六分ニ在リ客布爾府ヲ距ル「西南八十里干達哈爾府ヲ距ル」東北二百三十三里ト爲ス府ノ周圍四里ヲ有シ繞ラスニ墻壁ヲ以テシ各所ニ樓櫓ヲ設ク其高サ三十五尺壁内ヲ市街ト爲シ中央ニ一大市場アリ府民ノ客布爾及ヒ本若地方ノ商旅ト通市

スル所ナリ市街ノ東北隅ニ城郭アリ宮殿兵庫若クハ穀倉其内ニ在リ
 府内ノ人口一萬二千人ナリ
 濟斯尼府今日之ヲ國中第五ノ都府ト爲スト雖レ古昔ハ亞細亞洲中屈
 指ノ大府ニシテカス子ビード王家ノ居タリ故ニ其遺跡今仍ホ各所ニ
 散在ス其特ニ著名ナル者ハ高塔二所及ヒ麥蒙德帝ノ陵墓ナリ
 濟斯尼府ノ後ヲバラケール府ト爲ス阿比斯他陀湖ニ枕ム近傍商市ノ
 中極ト爲ス其次ハ「マツキン」「カニグールム」ノ二府ナリ二府皆東索利曼
 山中「サハイダール」山ノ南方ニシテ護摩爾河ノ支流「タキサン」河上ニ在
 リ是ヲ「ワヂリスタン」部落ノ首府ト爲ス二府製鐵ノ業甚タ盛ニシテ各
 所ニ溶鑛竈ヲ設ク其溶解法先ツ鐵鑛ヲ破碎シ小塊ト爲シ羊皮製ノ鞴
 ヲ用ヒ竈中ニ木炭ヲ焚キ以テ之ヲ溶解ス其製鐵ハ概子之ヲ貨幣銃身
 刀劍蹄鐵ニ用フ是他ノ需用ハ皆之ヲ他方ニ仰クト云フ「カニグールム」
 府中ノ人口千二百人アリ

其他州中ヨリ干達哈爾ニ至ルノ道上ニ「シヤムロード」「コブールワク」ム
 「カル」「グーシヨン」ノ四府アリ密布爾道上ニ「コツタケール」「バラキー」「シ
 アダバード」「ハイダルカイル」等ノ諸府アリ又南方本道上ニ「イスラーム」
 「ガヒルチヤ」等アリ是ノ數府皆唯其名稱位置ヲ知ルヘキノミ府内ノ事
 ハ未タ之ヲ知ル能ハサルナリ

其三 干達哈爾

干達哈爾州ハ北ノ方「コーヒバ」山ニ接シ東北ハ濟斯尼州ニ接シ東ハ
 印度境ニ至リ南ハ俾路芝斯坦ニ隣リ西ハ西斯丹ニ接ス本州ノ地之ヲ
 大別スレハ二曠原一大山地ノ三區ト爲ス其山地ハ之ヲ「アルガンダー
 ブ」「タルナツク」等諸河ノ灌漑地ニシテ之ヲ干達哈爾本部ト爲ス其曠原
 ハ「スピスタン」及ヒ「ソラワツク」ノ二部落ナリ干達哈爾本部ハ「グール」連
 山西索利曼連山ニ山支脈ノ蟠居スル所ト爲リ亞富汗斯坦第二ノ山地
 ト爲ス然レモ其交通便利ナルカ故ニ蠻習稍少ナク其富饒ノ如キニ至

テハ客布爾モ亦及ハサルアリト云フ古昔干達哈爾甚タ巨大ニシテ西
斯丹亦皆干達哈爾ニ屬シ當時之ヲ阿刺哥支ト云ヒ人口大約百五十萬
人其首府ヲ干達哈爾ト爲セリト云フ然レモ千七百三十六年波斯那的
爾王之ヲ伐チ大ニ州事ヲ改革シ遂ニ一府ヲ干達哈爾舊府ノ傍ニ創メ
之ヲナジールアバード府ト謂ヘリ其後チ幾クモナク又干達哈爾ノ稱
ニ復シ遂ニ全州ニ及ホセリ而シテ其境土幅員ハ則チ古ニ非ス是レ西
斯丹ノ二州ヲ分割スルヲ以テナリ

「スヒスタン」ノ曠原ハ古昔客布利斯坦ノ一州ナリ後チ干達哈爾州ニ屬
ス東索利曼連山其東方ヲ繞リ西索利曼連山其西ニ當リ「タカチユ」連
山其南方ニ界シ北ハ則チ護摩爾河ノ繞ル所ト爲リ中央亦護摩爾河ノ
支流「ソ」河之ヲ橫斷セリ是地道路甚タ稀ニシテ市府モ亦見ルヘキ
ナシ之ヲ概スルニ漠々タル一大不毛地ナリ而シテ其面積ハ則チ國中
最大ノ平原ト爲ス

「スヒスタン」曠原ノ南方亦二大部落アリ一チ「カ、ール」部落ト云フ殆ト
不毛ノ地ナリ市府道路皆之ヲ知ル者ナシ然レモ同部落中既ニ西索利
曼ヲ踰ユ其西方ニ在ル者ハ則チ村落各所ニ散在シ居民亦少ナカラス
皆「カ、ール」人種ナリ其一チ「タリン」部落ト爲ス「カ、ール」部落ノ南方ニ
在リ俾路芝斯坦ノ幾佗地方ヨリ「タカチユ」連山ノ北麓ニ沿ヒ東索利
曼山ニ至ル居民大ニ蕃殖セリ

「タリン」部落ノ西方ニ「ピシン」部落アリ之ヲ「タリン」「カ、ール」等ニ比スレ
ハ甚タ狹小南ハ幾佗ニ至リ北ハ「トバ」山ニ接シ西ハ「コシヤアムラン」山
ニ接ス東ハ東索利曼山ノ圍ム所ト爲ル
「ソラワツク」曠原ハ古昔是ヲ阿刺哥支ノ一部落ト爲セリ今日西北ハ西
斯丹ニ接シ東北ハ干達哈爾本部ニ至リ南ハ俾路芝斯坦ニ接ス其内部
槩子皆不毛ノ沙漠ニシテ市府道路皆稀ナリ其中央僅ニ干達哈爾ヨリ
路芝斯坦ノ「ス」スキ「府」ニ至ルノ一路アリト雖モ行旅ノ之ニ過ク

ル者寥々見ルコトナシ故ニ其中央ニ黑曼德河一分流ノ「ピシン」地方ニ溯
ル者アリト雖モ獨リ其上流幾佗府地方ノ水理ニ於テ僅ニ明カナルノ
ミニシテ其下流ノ曠原中央ニ在ル者ハ一モ其水形狀ヲ審カニスル者
ナシ

州中ノ市府

州首府之ヲ千達哈爾ト爲ス北緯三十一度三十七分東經六十五度二十
分客布爾府ヲ距ルコト西南三百里ニシテ「アルガンダーフ」及ヒ「タルナツ
ク」三河ノ中間ニ在リ亞富汗斯坦南面ノ最要地ニシテ工業モ亦亞細亞
洲中ノ巨擘ト爲ス是地海面ヨリ高キコト五千五百尺ナリ

千達哈爾府ハ紀元前歷山帝創建スル所ニシテ當時之ヲ亞歷山德利亞
府ト稱セリ其後千經年ノ久シキ一府遂ニ廢頽ニ歸シ復タ之ヲ顧ル者
ナキニ至ル

千七百四十七年亞迷德沙其君那的爾沙ノ命ヲ以テ又一府ヲ亞歷山德

利亞舊趾ノ傍ニ創メタリ之ヲ「ナシールアバード」ト謂フ其後千那的王
既ニ死シ亞迷德沙波斯ニ叛キ遂ニ「ナシールアバード」府ニ據リ以テ王
位ニ即キ其府名ヲ變シテ千達哈爾府ト曰ヘリ爾後千達哈爾遂ニ亞富
汗斯坦ノ首府且ツ王居ト爲レリ然リト雖モ千七百七十四年國王「チム
ール」沙地理ヲ察スルヲ知ラス妄リニ波斯ノ侵入ヲ避ケント欲シ遂ニ
千達哈爾ヲ棄テ移テ客布爾ニ都セリ爾後千達哈爾府ハ僅ニ州中ノ首
府タルニ過キス夫レ客布爾府固ヨリ地理ノ不利ナリト云フニ非スト
雖モ之ヲ千達哈爾ノ要地ニ比スレハ其及ハサルコト蓋シ差等アリ若シ
一豪將ノ大兵ヲ率ル者之ニ據ラハ其南部亞富汗斯坦ニ王タル蓋シ難
キニアラサルヘシ

千達哈爾府近傍即チ其舊布ノ地ニ亞迷德沙ノ陵墓アリ今ニ至ルマテ
人之ヲ尊崇ス大罪極刑ノ者ト雖モ或ハ逃レテ此墓地内ニ匿ルレハ國
王モ亦之ヲ追捕セシムル能ハスト云フ

府中ノ人口大約十萬人而シテ亞富汗人ハ其半ニ過キス餘ハ皆波斯人猶太人韃靼人若クハ印度ノ新氓ナリ其府内商業ノ如キハ特ニ印度人ノ專ラニスル所ト爲ル

府ハ橢圓形ニシテ周圍殆ト八里繞ラスニ土壘ヲ以テシ四面巨門アリ其二ヲ客布爾門、希拉的門ト謂フ其内部ノ區畫大ニ整頓セリ其東北隅ニ城塞アリ蓋シ外患防禦ノ用ニ供セント欲スルナリ府内ニ巨街二條アリ共ニ其幅百五十尺縱横ニ交叉シ中央大衢ヲ爲セリ是地ヲ大互市場ト爲ス又商賈ノ肆店概テ此二巨街中ニ在リ其家屋ハ殆ト皆土造ナリト云フ

希拉的門ヲ出ツレハ一大納涼園アリ之ヲ過レハ則チ干達哈爾ノ舊趾ニ至ルヘシ其間大約四里ト爲ス其納涼園中ニハ許多ノ花園アリ珍菓奇奔其數ヲ知ラス葡萄、桃、李、無花果、桑、楸、石榴等其觀甚タ美ナリ干達哈爾ノ次ヲキルザイ府ト爲ス北緯三十二度十二分東經六十七度

ニシテ干達哈爾ヨリ濟斯尼ニ至ルノ本道上ニ在リ濟斯尼府ヲ距ル七百五十里干達哈爾ヲ距ル七百八十里許海面ヲ出ツル七百五千八百尺「タリン」部落ノ首府ヲ達爾ト曰フ北緯三十度東經六十九度ニ在リ亞富汗斯坦南門ノ一ニシテ印度地方ヨリ北進道ノ一要地ト爲ス俾路芝斯坦ヨリ來レル「ロンチマニ」河ノ上流上ニ在リ

其他干達哈爾州中屈指著名ノ府市ハ「ジャルタツク」「シールサフア」「メルマンドー」「ヒカルザイ」「タクタブール」「チヨキ」ハ「ハイダルザイ」「クツトバ」「トカラク」「ウーツク」等ナリ其「ジャルダツク」及ヒ「シールサフア」ハ干達哈爾「ハイダルザイ」ノ五府ハ共ニ干達哈爾ヨリ俾路芝斯坦ノ幾佗府ニ至ルノ道上ニ在リ其「クツトバ」「トカラク」「ウーツク」ハ「ビシン」部落ヨリ「バラケ」ル府ニ至ルノ道上ニ在リ其各府位置ノ詳悉ハ之ヲ國路ノ篇ニ讓ル

其四 國路

客府利斯坦ハ國中最も殷盛ノ地ニシテ四通八達其道路枚舉ニ遑アラ
 ス今且ツ其尤モナル者ヲ掲ケンニ本道四アリ一チ客布爾ヨリ曰セラ拉刺
 巴バド德ド白ベ沙シ尾リ爾ルヲ經テコハツトニ至ル者トシ一チ濟斯尼府干達哈爾府
 ナ經テ俾路芝斯坦ニ入ル者トシ一チククイイシシ府ヨリシユタルガルデ
 ンンヒヒエエワワールールノ二峽路及ヒ哥爾摩府ヲ經テ印度地方ニ至ル者トシ其
 一チユユナナ及ヒハハジジガガククノ二峽路及ヒバシアン府ヲ經テ土耳其機斯坦ニ
 入ルノ山道トス

其日拉刺巴德本道ハ初メ分レテ二道ト爲ル一ハクルトカブール府ヲ
 經テカルカチヤ山ノカルカチヤ峽ヲ踰エジヤグダラツクニ至リ一ハ
 客布爾府ヨリラツタババンン峽路ヲ過キ又ジヤクダラツク府ニ至リ二道
 相合シ直東日拉刺巴德府ヲ過經シ六十里許ニシテラルプール府ノ南
 方ダツカ府ニ至リ轉シテキーベル峽ニ入ル
 千八百四十二年英國ト爭ヒシヨリキーベル峽ノ名人口ニ膾炙セリ蓋

シ其地峻險尤モ甚タシキ者ニシテ尋常峽路ノ如キニ非ス蓋シ京城東
 門ノ鎖鑰ナリ之ヲ國中最要ノ天險ト爲ス古昔歷山帝ノ希臘兵ヲ率テ
 印度ノ本若ニ入ルヤ蓋シキーベル峽ヨリシ其後チ千一年十一月カス
 ネビードノ麥蒙德帝騎兵一萬ヲ以テキーベル峽路ヲ南方ヨリ踰エ然
 ル後チ客布爾河岸ニ沿ヒカルカチヤ峽ヲ度リ以テ客布爾ニ入レリト
 云フ

「キーヘル」峽ハ東サヒコー山ノ支脈タルタラー山中ニシテシヤムロー
 ド及ヒラルプール二府ノ中間ニ在リラルプールハ峽北ニ在リシヤム
 ロードハ峽南ナリ其峽北口ハラルプールヨリダツカ府ヲ經テ峽中ニ
 入り其峽ヲ出ツルヤ二道アリ一ハシヤデルバギアレー府ヨリシ一ハ
 「ジボジ」府ヨリシ共ニカダン府ニ至リ相合スジボジ道之ヲ本道ト
 爲ス二道相合スルノ後チ三里ニシテシヤムロード府ニ達ス其二府ノ
 中間「ジボジ」本道ヨリスレハ三十三里ト爲シシヤデルバギアレー府

ヨリスル者ハ二十四里ナリト云フ
 既ニラルプー「府」ヨリ「タツカ」村ヲ經テ漸ク峽中ニ入レハ始メヨリ道
 路甚タ峻峻ナラスト雖モ地勢峽隘シ其通行スヘキ者僅ニ三百尺乃至
 六百尺ノミ且ツ愈進テ愈峻巖ノ間ニ入り之ニ加フルニ蘿蔓荆棘相纏
 ヒ行路甚タ困難ナリ是ノ知キ者殆ト九里間ニシテ「ルン」テケワナ「ノ」部
 落ニ至リ始メテ四方開豁日拉刺巴德地方ヲ望見スヘシ是地峽中ノ最
 高部ニシテ海面ヨリ高キ「二」千八百八十八尺即チ白沙瓦爾府ヨリ高
 キ「一」千七百尺「ラルプー」ヨリ高キ「一」千五百尺ト爲ス
 「ルン」デケワナ「ヲ」過クルヤ道路亦狹縮シ二騎並行スル能ハサル者殆ト
 半里間是ヲ「クルドキーベル」ト謂フ
 「クルドキーベル」ノ後チ殆ト一里半地形尤モ峻峻兩側壁ヲ建ルカ如シ
 沿道各所土橋若クハ石壘ヲ設ケ以テ本道ノ防守ニ充ツ道傍一ノ塞城
 アリ「アリムスジード」ト曰フ本道ヲ距ル甚タ近シ然レモ其際深林幽鬱

ニシテ行旅或ハ其何ノ所ニ在ルヲ省セスシテ過ク若シ溪流ニ從ヒ少
 シク小徑ヲ下リ深林ヲ脱シテ前面ヲ仰ケハ即チ堅牢ノ堡砦巍峨タル
 巖石ノ上ニ屹立シ雲際ニ閃々タルヲ見ル蓋シ數萬ノ敵衆ヲ峽中ニ蹙
 殺スル亦難キニ非サルモノ、如シ砦ノ長サ一百五十尺幅九十尺周圍
 六百尺ト云フ其地海面ヨリ高キ「二」千四百三十三尺「ルン」デケワナ「ヨ」
 リ低キ「一」千四百五十尺是地「ジヤム」ロード「ヲ」距ル「一」八里白沙瓦爾「ヲ」距ル
 「一」二十六里日拉刺巴德ヨリハ則チ六十七里ト云フ
 「アリムスジード」ノ前方三里間ハ山道少シク廣ク四百五十尺乃至六百
 尺ナルニ至ル然レモ或ハ狹クシテ百八十尺乃至二百五十尺ナル所ア
 リ之ヲ要スルニ沿道一モ開豁ノ地ナシ有事ノ日誰レカ復タ其進退ヲ
 便ニセシヤ學者以テ國中最要ノ天險ト爲ス果シテ誣ヒサルナリ
 既ニ「キーベル」峽ヲ出テ「シヤム」ロード「ヲ」過キ白沙瓦爾府ヲ經テ南折
 「コ」ハット「府」ニ至ル是レ亞富汗斯坦東方ノ本道ナリ

「タツカ」府ノ東又一山道アリ是ヲ「タルタラ」山道ト謂フ又白沙瓦爾府ニ達スル者ナリ既ニ「ダツカ」ヲ發シ客布爾河ニ沿テ東方ニ行ク「四里」ニシテ山上ニ登リ廣袤六里ノ原野ニ達ス原野中一ノ分岐アリ「アブカナ」山道ト曰フ亦白沙瓦爾ニ達ス又進ム「四里」リユドカイニ致リ又一岐アリ「キーベル」峽路ニ至ルベシ

「タルタラ」山道既ニ前ノ二支道ニ分レ然ル後チ「タルタラ」山中チ高低縈紆スル「十六里」ニシテ始メテ山道ヲ脱シ又九里ニシテ遂ニ白沙瓦爾ニ達ス

其「アブカナ」道ニ入レハ一ノ渡頭ニ達ス即チ客布爾河ニシテ白沙瓦爾ヨリ十二里ノ處ナリ河幅三百五十尺アリ水勢甚々急激ナリ人之ヲ渡ルヤ牛皮ノ筏ヲ用フ

客布爾ノ西南本道ハ既ニ客布爾ヲ發シ西南十里許ニシテ「キラカヂ」府ニ達ス府中道路二分シ一ヲ「バミアン」本道ト爲シ一ヲ「干達哈爾」本道

ト爲ス其「バミアン」本道ハ既ニ「キカラヂ」ヲ發シ未タ幾クモアラスシテ「アルガンヂ」府ニ至ル「アルガンヂ」ヲ過クレハ忽チ峻急ノ峽路ト爲リ常ニ客布爾河ノ上流ニ沿行ス是ノ如キ者西南十八里ニシテ「バグマン」山腹ノ高原ヲ過キ「ジャルライス」ニ至ル「ジャルライス」ヨリ十二里ニシテ一大峽路ニ入ル之ヲ「エナ」峽ト謂フ峽ノ長サ五里許ニシテ海面ヨリ高キ「一萬千三百二十尺」ナリ

既ニ峽ヲ出ツルヤ山ヲ下ル「幾クモナク」黑曼德河ノ上流ニ達ス河ヲ距ル「七里半」ニシテ一砦アリ「シアキラ」堡ト曰フ道路極メテ狹隘ナリ蓋シ因テ以テ堡壘ヲ築キ有事ノ日ノ梗塞ヲ圖ルナリ

堡ヲ距ル「六里」ニシテ一邑アリ「カルザル」ト曰フ亦一要地ナリ「カルザル」府ハ「バミアン」本道上ニ峽路ノ東門ナリ二峽路ハ共ニ「ハジガク」山中ニ在ル者ナリ其右チ「イタク」峽ト曰ヒ左ナルチ「ハシガク」峽路ト爲ス「イタク」峽ハ「カルザル」ヲ距ル「五里半」ナリ峽ノ長サ二里餘海面ヨリ高キ

一萬三千尺峽ヲ出テ行ク一尙十里ニシテソローワツク村ニ達シハジガ
 ク道ニ合シ又六里ニシテ始メテバミアン部落ヲ得其中央ニ一大府ア
 リ即チバミアン府ナリ
 其ハシガク峽路ハ既ニ黑曼德谷ヲ過クルヤ漸次屈曲シテ登ル一又一
 萬三千尺ニシテ始メテ其頂ニ達ス冬間ハ積雪殆ト道ヲ梗キ通行甚タ
 難シ而シテ是地猶可ナリ其バミアン地方ニ下ルヤ右側ニ高嶺アリ左
 側ハ即チ深谷ナリ道路山腹ニ在ルカ如ク然リ之ニ加フルニ若シ飛雪
 ナラサレハ則チ疾風曾テ間斷ナシ其通過シ易キノ日ハ僅ニ七八月乃
 至九月ノ三月ノミ
 其千達哈爾本道ハ既ニキラカチー府ヲ發シ客布爾河ノ上流ヲ渡リバ
 グマン山ノ支脈及ヒロガール河ヲ渡リシニース河ニ沿ヒ南進スル
 三十里ノ後チグール連山ノ支脈シルダナ山ノ支脈ニ達ス峽
 路ハ其北方ヨリ登ルハ甚タ難カラス其南方ニ降ルヲ以テ尤モ難シト

爲ス一長峽谷ニシテ夏時モ亦徒步ニシテ纔ニ通スヘク其三冬ノ如キ
 ハ積雪道ニ滿チ道路全ク梗塞ス峽傍一ノ椽道アリサルガワ山道ト
 曰フ道路良好冬季亦積雪甚タシカラス四時騎行スヘシト云フ
 既ニシルダナ峽路ヲ過キ一タヒ曠野ニ入り然ル後チ遂ニ濟斯尼府ニ
 達ス客布爾府ヨリ是ニ至ルマテ凡八十里ナリ

濟斯尼府ヨリ又南シテ不毛ノ曠原ヲ行ク一十八里ニシテヤルカチー
 村ニ至ルヤルカチーヨリムーカル府ニ至ルマテ四十二里ムーカルヨ
 リグーシジョン府ニ至ルマテ十二里グーシジョン府ヨリモミンキルラニ
 至ルマテ十四里モミンキルラヨリ四十五里ニシテギルザイ府ニ至ル
 「ギルザイ」府ヨリ十三里ニシテジヤルダツクニ至リジヤルダツクヨリ
 二十八里ニシテシルサフアト爲シシルサフアヨリ四十里ニシテ即チ
 千達哈爾府ニ達スヘシ本道常ニタルナク河ニ沿ヒ道路一モ峻嶮ナル
 一ナク糧食飲水亦曾テ乏シカラス行旅因テ以テ大ニ便ヲ得ルト云フ

千達哈爾ノ後チ又南進シテ遂ニ俾路芝斯坦ニ入ルヘシ既ニ千達哈爾
 チ發シ十二里ニシテアルガサン河ニ至ル河幅甚タ廣キモ水量甚タ少
 ナク船舶ヲ行ル能ハサルモ以テ徒涉スヘシ既ニ河ヲ涉リ十六里ニシ
 テガANCHI山ニ至ル其山道ヲハルガナト曰フ道途平易ニシテ行歩ニ艱
 ムナシ山道ヲ出テシノ後チ十八里ニシテメルマルダー府アリメル
 マンダー府ヨリ十四里グライニ至ルグライヨリ地勢波狀ヲ爲シ又漸
 ク上ルコト二十五里クダニー河ヲ渡リチヤマン府ニ至ル府ハ五千七百
 五十尺ノ高キニ在リチヤマン府ヲ發スルヤ乃チ一大峽路ニ入ル之ヲ
 「コジヤク」峽ト謂フコシヤアムラン連山中ニ在リ峽ハ七千四百十尺ノ
 地ニシテ蓋シ亞富汗斯坦南門ノ鎖鑰ナリ

「コジヤク」峽ヲ出ツルノ後チ屢タリン人ノ村落ヲ過キ十五里ニシテヒ
 カルザイ府ニ達スヒカルザイハ「ピシン」部落ノ要府ニシテ赤色粘土ノ
 平原中ニ在リ其近隣蓋シ往時タリン人ノ常ニ治兵セシ所ト云フ其廢

趾今仍ホ各所ニ散在セリヒカルザイヨリ十里ニシテロラ河ヲ涉リハ
 イダルサイ府ニ至リ又八里ニシテロラ河ノ支流ソンカーアブ河ヲ過
 キ「グロスラツク」府ニ達ス府ハ同名河上ニ在リ之ヲ亞富汗斯坦俾路芝
 斯坦境界ト爲ス

其哥爾摩本道ハ既ニ客布爾府ヲ發シ南行「ロガール」河ニ沿ヒ「グーシー」
 府ヲ經テ東折シユタルカルデン府ヲ過キシルキコタル「峽路ヲ踰エ
 「ハサルラダット」河ニ沿ヒ「アリーケール」府ヲ過キ「ピエワール」峽ニ至ル
 峽ハ登降一千尺坂路鈎曲シ凸凹極リナシ左右皆喬木概子檉松ノ二種
 ト爲ス峽口ヲ「ピエワール」府ト爲ス「ピエワール」府ヨリ哥爾摩府ニ至ル
 マテ二十五里ナリ其間皆漠々ノ曠野眼界一點ノ支障ナク哥爾摩府ノ
 後チ哥爾摩河ノ左岸ニ沿ヒ五十里ノ後チ印度境上ノ達爾府ヲ經テ又
 「コスト」部落ノ東邊ヲ過キ印度ノ「ボンヌー」府ニ至ル
 以上本道四條之ヲ今日客布利斯坦中ノ要道ト爲ス其他複道及ヒ峽路

ノ京城ニ通シ又各州各府相彌縫スルノ道路ハ其多キヲ枚擧スヘガラ
 ス今且ツ其大畧ヲ掲ケ京城ニ通スル峽路ヨリ始メ
 「コーヒスタン」部落ヨリ興都哥士山中十九峽路ノ「バミアン」地方ニ通ス
 ル者アリ
 其「パンジシール」溪谷ヨリスル者ヲ「アンジュマン」「カワツク」「ダール」「サ
 リア」「ヤツマク」「ウムラズ」「スワ」「バサラツク」「シヤトバル」ノ九條ト爲シ
 其「ゴルバンド」溪谷ヨリスル者ヲ「バジガー」「サルーラン」「クーシヤン」「ス
 アリアン」「ゲワジャール」「チャルタリア」「ガラハージ」「フアリニユール」
 「シール」ノ十條ト爲ス「アンジュマン」峽路ハ「パンジシール」河ノ
 上流ヨリ「アンジュマン」部落ヲ經テ波達克山ノ「フエイザバード」地方ニ達
 ス

「カワツク」ハ「パンジシール」河上部ノ「カワツク」府ヨリ「シリアー」村ヲ經
 テ「クンツーズ」河ノ上流「インダラー」河頭ノ「インダラー」府ニ達ス「カ

ワツク」府ハ海水ヨリ高キ一萬三千三百尺其峽路ハ最高部ヲ一萬三千二
 百尺トスト雖モ興都哥士山中ニ在テハ之ヲ最低部ト爲シ其通行亦甚
 タ難カラス昔シ歷山帝ノ「バクトラア」ヨリ印度地方ニ進軍セシヤ是ノ
 「カワツク」峽路ヨリセリト云フ

其次ヲ「ダール」「サリア」ノ二峽路ト爲ス二路ハ「パンジシール」河岸ヨリ又
 興都哥士山ヲ踰エ「シリアー」村ニ至テ「カワツク」道ニ合ス千三百九十
 八年鐵木兒ノ興都哥士ヲ踰シハ即チ「ダール」峽ナリト云フ

「バサラツク」峽路ハ既ニ山頂ヲ越エ「バジカー」村ヲ經テ「インダラー」河
 頭ノ「アンミード」村ニ達ス是地六月中旬ヨリ十月下旬ニ至ルマテハ之
 ナ通過シ得ヘク且ツ騾馬ノ如キハ僅ニ之ヲ往復セシムヘキモ道路險
 隘ナルカ故ニ駱駝ハ決シテ用フ可カラス其十一月ヨリ明年五月ニ至
 ルマテハ冰雪道路ニ充塞シ人畜皆通過スル能ハス

「スワ」「ウムラズ」「ヤツマク」「シヤトバル」ノ四峽路ハ既ニ山頂ヲ踰エ

皆「バザラック」道ニ合ス其「バシガ」峽路ハ「ゴルバンド」溪谷東端「バルワ
 ン」谷ノ「バルワン」府ニ發シ山頂ヲ踰ルノ後チ「バシガ」村ニ於テ「バザラ
 ック」峽路ニ合ス其最高部ハ一萬二千尺ナリト云フ
 「サル」ラン「赤」バルハン「谷」ニ發スル者ニシテ之チ「バジガ」峽ノ支道ト
 爲ス其最高部亦一萬二千尺「インタラ」ブ「河頭」キンジヤン「村」ニ達ス
 「ク」シヤン「ハ」ゴルバンド「河頭」ノ「ク」シヤン「府」ニ發シ「メ」アルナツク
 村ヲ經テ「ク」ンツ「ズ」河上流シユルカ「ブ」河上ノ「イ」スカール「村」ニ達ス
 其中央最高部チ一萬五千尺ト爲ス是地路傍巍然タル孤峯ノ屹立スル
 者アリ客布爾「ク」ンツ「ズ」ノ二府ヨリ皆其山前山背ヲ望ムヘシ地方ノ
 人之ヲ稱シテ單ニ興都哥士ト曰ヒ「ク」シヤン「峽路」ヲ興都哥士峽路ト
 名ク是ニ由テ之ヲ觀レハ興都哥士ノ稱本ト是ノ孤峯ニ源シ後チニ至
 リ其名ヲ擴充シ以テ全脈ニ及ホシ前ニ記スル所ノ印度ノ巨人行旅ヲ
 害スルノ所乃チ亦是ノ「ク」シヤン「峽路」ナルカ

「ス」ワリアン「峽路」ハ既ニ山頂ヲ踰エ「メ」アルナツク「村」ニ至リ「ク」シヤ
 ン「峽路」ニ合シ「ク」ワジヤル「峽路」亦山背ニ至リ「メ」アルナツク「村」ノ西方
 ニ於テ「ク」シヤン「峽路」ニ合ス其「ス」ワリアン「道」ハ稍平易ニシテ「ク」ワジ
 ヤル「道」ハ峻嶮極リナク僅ニ駛卒ノ通行ヲ爲スノミ
 「チ」アルダリア「峽路」ハ山背ニ至リ「チ」ヤルダリア「村」ヲ經テ「イ」スカール「村」
 ニ達ス是道路ハ尤モ平易砲兵亦能ク之ヲ通過スヘン
 「カ」ラ「ハ」ージュ「峽路」ハ「ゴル」バンド「谷」ノ「フ」アリンジヤール「村」ノ北方ニ發シ
 山頂ヲ踰エ「チ」ヤルダリア「村」ニ至リ「チ」ヤルダリヤ「山」道ニ合ス
 「フ」アリンジヤル「道」ハ「フ」アリンジヤール「村」ヨリシテ山背ニ至リ「シ」ユルガ
 「ブ」河ノ上流ニ沿ヒ亦「イ」スカール「村」ニ達ス
 「シ」ブル「峽路」ハ「ゴル」バンド「谷」ノ西端ニシテ「フ」アリンジヤール「村」ヨリシ
 テ「バ」ジガク「山」ノ西端ヲ踰エ「バ」ミアン「府」ニ達ス
 「イ」ラツク「峽路」ハ亦「ハ」ジガク「山」ノ西端即チ「シ」フル「峽路」ノ西ニシテ之

チ客布爾州ヨリ「バミアン」府ニ至ルノ複道ト爲ス峽路ノ最高部ハ一萬三千尺ト云フ「イラツク」峽路ノ西南一大山道アリ道上ニ峽路アリ一チ「ハジカク」峽ト曰ヒ一チ「ユナ」峽ト曰フ「ハジカク」ハ「ハジカク」山中ニシテ一萬二千百五十尺ト爲シ「ユナ」ハ「バグマン」山ヲ踰ヘ一萬千三百五十尺ト爲ス即チ客布爾ヨリ「バミアン」府ニ至ルノ本道ナリ

客布爾府ヨリ哥爾摩ニ至ル本道上「クーシー」府中一分路アリ以テ濟斯尼府ニ抵ルヘシ其里程ハ「クーシー」ヨリ「ヒサラツク」ニ至ルマテ十里「ヒサラツク」ヨリ「タンジワル」タツク「ニ至ルマテ十八里」タンジワルタツクノ後チ「タンジ」峽隘ヲ過キ十二里ニシテ「ハイダルカイル」ニ至ル「ハイダルカイル」ハ客布爾、濟斯尼ニ府ノ本道上ノ一府ナリ

「ハイダルカイル」ヨリ又別路ヲ經テ「スワラ」ニ至ルマテ十里「スワラ」ノ後チ獅子口ノ山道ヲ過キ二十二里ニシテ「摩武德帝」ノ墳墓ヲ經テ遂ニ濟斯尼府ニ達ス

哥爾摩府本道上「アリーケール」府ニ至リ又一路ノ濟斯尼府ニ至ル可キ者分岐セリ既ニ「アリーケール」ヲ發シ哥爾摩河ノ上流ニ沿ヒ「ガリコ」ミツセルガ「山」ノ麓ニ至リ又南行「コツタケール」府ニ至リ然ル後チ西折「シルダナ」山ニ沿ヒ濟斯尼府ニ達ス

日拉刺巴德地方ニテ客布爾州ヨリ州外ニ通スル道路ヲ「アガール」峽及ヒ「クナール」山道ノ二條ト爲ス「アガール」峽ハ日拉刺巴德府ヨリ客布爾布ニ至ルノ道上「ソングルー」河頭ニ分岐シ「バラバーク」府ヲ過キ東「サヒコー」山ヲ踰エ「シユタルガ」ルデン府ニ至リ哥爾摩本道ニ合ス

「クナール」山道ハ日拉刺巴德府ヨリ「クナール」河ニ沿ヒ「クナール」府ニ達スル者ナリ

東「サヒコー」山ノ支脈「カルカチヤ」山中四峽路アリ之ヲ「カルカチヤ」「ソクタ」「チナール」「ラツタバン」ト爲ス「カルカチヤ」ハ日拉刺巴德本道上「ソングル」上流ノ傍ヨリ「カルカチヤ」山ヲ踰エ「テジン」村ヲ經テ「テジン」川ニ沿ヒ

「デジン」府ニ至リ然ル後チ西行「ハフトコタル」山道ニ達スヘシ之ヲ客布爾ヨリ日拉刺巴德ニ至ルノ複道ト爲ス「ハフトコタル」山道ハ「デジン」河及ヒ「クルドカブール」河ノ中間ニ在ル「サヒコー」山ノ支脈中ニ在リ既ニ「ハフトコタル」山道ヲ過キ西行「クルドカブール」河ヲ涉リ又「サヒコー」山ノ支脈中ナル「タンギタライ」峽路ニ至ル峽ハ長サ六里幅三百尺乃至六百尺ト爲ス既ニ峽ヲ出レハ即チ「クルトカブール」ニシテ客布爾ハ則チ十里外ニ在リ

「ソクタ」山道ハ「シヤグダラツク」村ニ發シ「カルカチヤ」山ヲ踰エ「デジン」川ヲ渡リ「クルドカブール」府ヲ經テ客布爾府ニ達スチナール「峽路」亦「シヤグダラツク」村ニ發シ「カルカチヤ」山ヲ「ソクタ」山道ノ北方ニ踰エ「デジン」川ニ沿ヒ下テ客布爾本道ニ合ス
 「ラツタバ」峽路ハ日拉刺巴德府ヨリ客布爾府ニ至ルノ本道上「カルカチヤ」山ノ脈尾ニ在リ

「ラルプール」府地方又一「峽路」アリ「カラバ」峽ト曰フ「カラバ」山ヲ踰ユル者ナリ「カラバ」山ハ「チトラール」ヨリ來ル者ニシテ其脈尾南流シテ殆ト「タルタラ」山ニ接スル者ナリ「カラバ」峽ハ「ラルプール」府ヨリ白沙瓦爾府ニ至ルノ複道ナリ既ニ「ラルプール」府ヲ發シ「スワ」的河ノ支流ニ沿ヒ北行スル「凡ソ」二十里ニシテ東折「カラバ」山中ニ入り然ル後チ下テ印度境上ニ「ミクニー」府ニ達シ遂ニ白沙瓦爾府ニ通ス其道路山中ノ最高部ハ四千九百尺ナリト云フ

「サールマール」部落ヲ過キ「ロガール」河ヲ渡リ客布爾府ニ通シ其一ハ「濟斯尼」ヨリ印度ノ「デライスマエール」府ニ至ル者ナリ「濟斯尼」府ヨリ「濟斯尼」河ニ沿ヒ「カタサン」山ヲ「ガスタラ」峽路ニ踰エ「バルチコー」河ヲ涉リ「コナ」山ノ「サルコー」峽ヲ經テ「コタルサルワンチ」山道ニ達ス
 「コタルサルワンチ」山道ハ西索利曼山中ニ在リ海面ヨリ七千五百尺

ナリト云フ六百尺ニ過キサル一狹隘道ナリ左名五十尺乃至百尺ノ巖
 巖峭壁ナリ山道ヲ脱シ護摩爾河ノ上流ニ沿ヒ南下シテクーツク峽路
 ナ度リ東折シテ遂ニ東索利曼山ノグトレイリ一溪谷ヲ經テ護摩爾府
 ニ至ルマテ里程百四十五里ナリ又護摩爾府ヨリデライスマエール府
 ニ至ルマテナ五十里許ト爲ス
 又コツタケール府ヨリデライスマエール府ノ本道ニ合スル者アリコ
 ツタケールヨリフオールムール部落ヲ經テ下チ河ノ上流ニ沿ヒクエン
 ダ山ノ南端ヲ繞リ護摩爾河上ニ至リデライスマエール道ニ合ス
 〔デライスマエール〕府本道ハ數百年間印度亞富汗斯坦中ノ通商ノ一
 大要道ナリガス子ビード氏以降亞富汗人ノ一部ボビンダス種族ノ印度
 地方ニ輸出スルハ凡テ是ノ護摩爾道ニシテ今ニ至ルマテ商賈ノ往復
 皆テ絶ユルコトナシ

〔バラケール〕府ヨリビシン部落ニ至ルノ道上亦路ノ東方ニ分岐スル者

アリ一ハ道上ノトカラク府ヨリ一ハ道上ノクツトバ府ヨリセリ其ト
 カラク府ヨリスル者ハ亞富汗斯坦ヨリ印度ニ入ルノ四道ノ一ナリト
 ス既ニトカラク府ヲ發シトハ嶽ノ北方ヲ繞リサंगा河ニ沿ヒスピス
 タン部落ヲ横亘シ東索利曼山ヲ踰エ遂ニサंगाノ溪谷ヲ經テ印度ノ
 〔デラガジ〕府ニ達ス

其クツトバ府ヨリスル者ハカール部落ヲ横斷シサंगा河ノ南岸ニ
 沿ヒ又メクタール村ニ至リ二分セリ一ハデラガジ府ノ本道ニ合シ
 一ハ南折タリン部落ノ首府達爾府ニ達ス

又ビシン部落ノヒカルサイヨリタカチユ一シヤベル二山ノ北麓ヲ繞
 リタカチユ一連山ノ北麓ニ沿ヒ達爾府ニ達スル者アリ之ヲタリン部
 落ノ本道ト爲ス達爾府ノ後チ即チ俾路芝斯坦ノマリ部落ニ入レリ
 夫レ亞富汗斯坦ヨリ印度地方ニ出入スヘキ路ノ尤モ大ナル四道乃チ
 前ノ日拉刺巴德道哥爾摩道護摩爾道及ヒサカンカ河溪谷ノ四條ノ外又

二道アリ是ヲ「タンク」溪谷及ヒ「サキサワール」山道ト爲ス「タンク」ハ護摩爾府ノ北方「タンク」府ヨリ發シ「バタニー」部落ヲ過キ「マツスード」ワチリスタン「部落」ニ入ル者ナリ其「サキサワール」山道ハ則チ之ヲ「亞富汗斯坦」東境ノ最南道ト爲シ「マリ」部落ニ隣リスル者ナリ所謂ル六道ノ餘峽路ノ東索利曼ヲ横斷スル者其多キ亦枚舉スヘカラス今其大畧ヲ揚ケンニ「哥爾摩道」及ヒ「護摩爾道」中間ナル者三十一條アリ曰ク「サム」ヲ或ハ「クルドコー」「サロバカラン」「エーチサロバ」「ソンド」「クハ」「アルムラ」「ヌグラム」「カンヂイ」「カロバ」「マングリヤ」「ラルザン」「サ子ジヤ」「グルハラ」「バズゴラ」「ソラ」「クーシクカンカラ」「タンドカンカラ」「クーシクチナイ」「タンドチナイ」「ガリアルカツド」「ボンヂー」「バラグールカツド」「カイダン」「シユジヤ」「モキブラ」「タナデー」「カフトル」「マルカル」「ブライシー」「スピンカ」「ガシア」

其護摩爾道及ヒ「サンカ溪谷」ノ中間ナル者十四條アリ曰ク「サハイダル」

「ダルワサイ」「ドラバンド」「ザワ」「チヤオドワン」「サンコワ」以上六道是ヲ「シラニー」人種ノ住地ト爲ス曰「ワリア」「トルソイ」「チヤゾウイ」「タヒナ」以上四道「ウーストラニー」族住地ニ在リ曰ク「カウラ」「リトラン」「バツチー」「カンカ」以上四條「カストラニー」人ノ住地ニ在リ曰ク「ワワ」「バルク」ノ二道ハ之ヲ「キルトラン」人ノ住地ニ在ル者トス

「サンカ溪谷」ヨリ南方ナル者又十九道アリ曰ク「マヒユエー」「ソリ」「マチー」「カレリー」「スリー」「レクハルム」「クチー」「サタイ」「ベラブ」「カビー」「ガマン」「スフハイドユー」「カル」「スユール」「ラエー」「ウイーデル」「ダラナ」「チホチイバラ」「チホチイイバイン」是ナリ「チホチイイバイン」ノ南方ハ則チ「サキサワール」ナリ

又「ギルザイ」府本道上「ゴブールワク」ニ於テ一岐路アリ是レ「パラケール」府及ヒ「イスラーム」村ヲ經テ「ケワ」河ヲ涉リ「ウーチユク」府ヲ過キ「ガンチ」山ヲ踰エ「トカラク」「クツトバ」ノ二府ヲ經テ「トバ」山ヲ渡リ「ビシン」部落ノ

「ハイダルザイ」府ニ至リ干達哈爾本道ニ合ス是ノ道上又一岐路アリイ
 スラーム」村ニ分岐ス既ニ「イスラーム」ヲ發シ南行チヤダール」峽ヲ過キ
 「カヒルチヤ」村ヲ經テ東折ガリバイ」峽ヲ踰エ護摩爾河ノ支流クーンダ
 ール」河ニ沼ヒ「グーク」峽路ヲ過キ以テ前ノ「デライスマエール」本道ニ合
 ス
 又「キルザイ」府ヨリ干達哈爾府ニ至ルノ複道アリ本道ヨリ稍遠シト云
 フ「キルザイ」ヨリ直西「ミルザン」村ヲ經テ「アルガンターブ」河ヲ渡リ河ノ
 右岸ニ沿ヒ南下シテ干達哈爾ノ西方ニ至リ又河ノ左岸ニ渡リ數里ニ
 シテ干達哈爾ニ達スル者ナリ
 干達哈爾ノ西方本道ハ「グリスク」府ニ至ル者トス既ニ干達哈爾府ヲ發
 シ西行十六里ニ至ルマテハ許多ノ小流溝水ト共ニ路上ニ溢レ各所ニ
 氾濫シ之ニ加フルニ其小流ノ如キハ概子皆橋梁ノ設ケナク行旅ノ困
 難甚タ多シ其後チ二日程ニシテ「グリスク」ニ達スヘシ其道路又瓦礫ノ

充満スルニ非サレハ則チ沙漠中ヲ過キサルヲ得ス其困難復タ前日ニ
 異ナラス

干達哈爾ヨリ幾佗道上三支路ノ南出スル者アリ其第一第二ハ共ニ干
 達哈爾府ノ南方「タクタブール」ニ分岐シ一ハ本道ニ並行シ「ピシン」部落
 ニ沿ヒ一ハ直南シテ「ソラワツク」沙漠ヲ渡リ共ニ俾路芝士垣「サラワン」
 ノ「ジャラツク」村ニ合ス其第三道ハ干達哈爾府南端ヨリ發シ前ノ第二
 道即チ沙漠中ヲ横斷スル者ニ「ジャイガー」村中ニ合ス
 又干達哈爾ヨリ「グリスク」道上一分路アリ「アルガンターブ」河上ニ於テ
 南ニ分レ亦「ソラワツク」沙漠ヲ横斷シ俾路芝士垣「サラワン」ノ首府「スー
 スキー」府ニ至ル然レモ是道行旅甚タ稀ナリ是ヲ以テ今日「ソラワツク」
 部落ノ事甚タ詳カナラス

第二門

西斯丹

西斯丹ハ哥拉森ト共ニ古昔之ヲ亞里國ノ一部ト爲ス當時亞里國ハ波
 斯ニ屬セリ其後チ波斯衰フルニ及ンテ土人等皆部落割據チ爲シ互ニ
 相凌轢シ亞里國遂ニ分裂シ哥拉森ハ獨立シ西斯丹ハ遂ニ亞里ノ東南
 德蘭^{ドラキヤ}燃州長ノ併スル所ト爲ル而シテ中世以還德蘭燃又廢シ人遂ニ總
 稱シテ西斯丹國ト爲ス是ニ於テ西斯丹ノ區域大ニ擴開シ今日ニ至リ
 テハ其東ハ亞富汗斯坦本部ニ接シ西ハ波斯ニ抵リ南ハ俾路芝斯坦ニ
 隣リ北ハ哥拉森ニ接ス東西四百二十里許南北二百五十里餘幅員大約
 十萬方里餘是地北緯三十二度以北ハ概子山嶽ノ蟠屈スル所ト爲リ其
 三十二度以南ハ概子不毛ノ沙漠ニシテ全州沃饒ノ地甚タ少シ其貧富
 亦之ヲ干達哈爾諸州地方ニ比スレハ其差等亦大ナリト云フ
 西斯丹分テ二州ト爲ス曰ク西斯丹本部曰ク華拉州^{ワラ}是ナリ

其一 西斯丹本部

西斯丹本部ハ東北ヨリ西南ニ蜿蜒シ其長サ殆ト四百里ニ至リ其幅ハ

則チ大ニ減シ最廣部ト雖モ僅ニ百里許ニ過キス其幅員ハ四萬八千三
 百方里ナリト云フ州中ノ平原ハ「マルゴ」^{ザミンダワール}「西斯丹」^{カル}
 「ンシール」^{サンザ}ノ諸部落ナリ今一々其概況ヲ舉ケン

「ザミンダワール」ハ黑曼德河西方ノ高原ニシテ南北百里許東西四十餘
 里ナリ「バグラ」^{バグラ}河上ノ「バグラ」^{バグラ}府及ヒ「マリア」^{マリア}河ノ中間ト爲ス
 其東方ハ黑曼德河ト爲シ西方ハ「コジヤ」^{コジヤ}ナクン山ノ界ヒスル所ト爲ル
 「バグラ」^{バグラ}河其中央ヲ灌漑シ其地概ネ沃饒蓋シ西斯丹州中諸部落ノ巨
 擘ト爲ス原中各所ニ牧場アリ牧事甚タ盛ンナリ亞富汗斯坦ノ輸出ス
 ル羊毛ハ「ザミンダワール」ノ産多キニ居ル居民ハ概子「ヂユラ」^{ヂユラ}ニ一族ノ
 一派ナルアリサイ^{サイ}人種ナリ其數凡ソ十萬人

「マルゴ」^{マルゴ}ノ曠原ハ「カス」^{カス}府ノ南方ニシテ前ノ「ザミンダワール」^{ザミンダワール}曠原以南
 黑曼德河上ノ「ガル」^{ガル}ンシール^{ンシール}部落ニ至ルノ中間ナリ是地全部皆不毛ノ
 沙漠ニシテ市府アルヲナク道路亦稀ナリ其幅員ハ東西百餘里南北五

十餘里

「サシチ」ノ平原亦不毛ノ沙漠ニシテ一モ要益アルナシ而シテ其幅員ハ則チ尙ニ「マルゴ」原ノミナラス東西數百里南北亦百里許千達哈爾州ノ西南ヨリ黑曼德河ノ南岸ニ臨ミ俾路芝斯坦中ニ入り亞慕澤ノ南方「ジレー」部落ノ傍ヨリ遂ニ波斯國境ニ達ス

「カルンシール」ハ黑曼德河上ノ「ハサルジユフト」府地方ヨリ俾路芝斯坦國境上ノ「ラドバール」府ニ至ル即チ黑曼德河ノ兩岸地方ヲ謂フ故ニ是ノ平原ハ東北ヨリ西南ニ長クシテ其幅ハ僅ニ十里ニ過キス然レモ其黑曼德河ニ沿フノ故ニ甚タ瘠穡ナラス市府亦各所ニ散在セリ

西斯丹ノ部落ハ華拉州「マルゴ」曠原及ヒ俾路芝斯坦波斯ノ中間ニ在リ亞慕ノ大澤其中央ニ蟠居シ西斯丹及ヒ「ドキチール」ノ二湖其北方ニ在リ因テ全部落甚タ下濕ナリ然レモ是地ハ古昔來ノ名土ニシテ波斯古代ノ舊蹟甚タ多シ其一ヲ舉ケシニ亞慕澤中一小島アリ島中城砦アリ

リ是ヲ「コイクバシア」ト謂フ古ハ「グール」國ノ王子「ルスタン」ノ居ナリト云フ「ルスタン」ハ勇將ナリ英名波斯史ニ高シ

西斯丹部落ハ亞富汗斯坦王祖亞迷德沙ノ所屬ニシテ其後チ亞迷德沙ノ王位ニ于達哈爾ニ即キシヨリ以還西斯丹部落遂ニ德蘭燃州中ニ入り中世ニ致リ其部落ノ名ヲ以テ其州名ニ及ホセリ是レ西斯丹州ノ名アル所以ナリ

州中北部ニ一大部落アリ之ヲ舊「グール」國ト爲スニ古昔ノ王家「グーリ」ト曰テ餘ナリ今日其北ハ黑山ニ抵リ南ハ「ザミンダワール」ニ接シ東ハ黑曼德河ノ界ヒスル所ト爲ル西ハ則チ今日其境域ヲ詳カニセス「グール」國ハ千百五十五年ニ起リ千二百十三年ニ至テ「カリスム」族ノ滅スル所ト爲リ其國土又成吉汗及ヒ「チムル」ノ蹂躪スル所ト爲リ今日人皆其古昔ノ流風遺物ヲ知ル能ハス其居民ハ「ヂユラニ」族ニシテ其一部專ラ波斯語ヲ用ル者アリ之ヲ「イマク」種ト云フ其中ニ蒙古人ノ餘裔アリ

リ成汗吉嘗テ兵四隊毎隊千人ナル者ヲ是地ニ置ケリ其後チ各隊皆留
住シ居民「ヂユラニ」ト雜居セリ是族チ哈薩拉族ト稱ス哈薩拉ハ千人
ノ意ナリ蓋シ千人隊ノ後裔ナリシヲ以テナリ

西斯丹部落ハ古ヘ亞富汗斯坦ノ有タリト雖モ其後チ事ヲ以テ其大半
波斯ノ奪フ所ト爲リ今日亞富汗斯坦ノ有ト爲ル者ハ獨リ黑曼德河ノ
下流以東及ヒ河上「クハツク」府ノ南方波斯ノ國境ニ至ルマテ其他西斯
丹「ドキチール」ノ二湖近隣ノミ其尤モ要益ナル「ナジラバード」府及ヒ「セ
コハ」府等ノ地ニ至テハ概シテ之ヲ波斯領ト爲ス「シルアリー」王ノ即位
スルヤ夙ニ其地ヲ復セント欲ス英國之ヲ聞キ亦其印度大守ヲシテ亞
富汗斯坦ノ爲メニ之ヲ波斯ニ請ハシメタリ而シテ事遂ニ成ラス是ニ
カ於テ中央亞細亞中又一一大爭亂アリ

州中ノ府市

州ノ首府ヲ日拉刺巴德府ト爲ス府「ドキチール」湖ノ南方ニシテ黑曼

德河下流ノ分流運河上ニ在リ湖チ距ル「二十里」許ナリ之ヲ客布爾州
中ノ日拉刺巴德府ト錯誤スル「勿レ」西斯丹日拉刺巴德府古昔ハ殷盛
ノ巨府ナリト雖モ今日ハ則チ大ニ衰ヘ行人或ハ之ヲ省セス以テ一小
村落ト爲ス者アルニ至ル今日州中ノ要府ハ之ヲ「クリスク」府ト爲ス黑
曼德河上北緯三十二度ニ在リ「ザミンダワール」ノ東端ニシテ干達哈爾
希拉的道上ナリ故ニ商價ノ經過遊歷者ノ往還絡繹絶ヘス之ニ加フル
ニ是ノ地寒暑甚タ激烈ナラサルノ故ヲ以テ植物亦繁殖シ府中自カラ
豐饒ニシテ亦今日國中屈指ノ者ト爲スヘキナリ

其次チ「カス」チヤカンシユール「カラフ」ツト「ラドバール」ナダリー「グー
ル」シコア「ナジラバート」ノ諸府ト爲ス「カス」府ハ「カスルード」河上ニ在リ
「グリスク」府ヨリ西斯丹部落ニ至ルノ道上及ヒ黑曼德河上「ガルンシー
ル」部落ヨリ希拉的地方ニ至ルノ道上ニ在リ府中道路四通八達ニシテ
貿易ノ便少ナカラス

「チヤカンシユル」府亦カスル^ト河上カス^ス府ノ下流ニ在リカス^ス府ヲ距
 ル^ト三十里ナリ
 「カラフアツト」ハ黑曼德河上ニ在リ河口ヲ距ル^ト殆^ト九十里ト爲ス
 「ラドバール」府ハ黑曼德河上俾路芝斯坦ノ境上ニ在リ西斯丹部落ヨリ
 幾^ラ拉的府ニ至ルノ道上ニ在リ亦亞富汗斯坦南部ノ一要府ナリ
 「ナダリー」ハ寧^口皆堡ト稱ス可キナリ亦黑曼德河上ニ在リチヤカンシ
 ユールヨリ亞慕澤ヲ渡リ波斯ニ入ルノ道上ニ在リ「グール」府ハ一名「ゼ
 ルニ」ト云フカスル^ト河上北緯三十三度ニ在リ之ヲ「グール」國首府
 ト爲ス「グーリード」王家ノ餘ナリト雖^レ今日ハ則チ一府寥寥復^タ古昔
 殷盛ノ十分ノ一ヲ見ルヘカラス
 「シコア」ナジラバードノ二府ハ古ヘ西斯丹州中巨大ノ府市ト雖^レ今日
 ハ則チ共ニ波斯ニ屬セリ「ナジラバード」ハ則チ「ナジール」アバードニシ
 テ即チ那^チ的爾ノ創^ルル所ナリ

其二 華拉州

華拉州ハ北ハ哥拉森ニ東南ハ西斯丹本部ニ西ハ波斯ニ接シ東西百五
 十里南北二百里許人口大約二十五萬人ナリ是ノ地今日ニ在テハ亞富
 汗斯坦中尤モ僻陬ト爲ス獨^リ其于達哈爾希拉の間ノ本道是ノ州中ニ
 經過スルヲ以テ僅ニ外人ノ通過ヲ見ルノミナリ居民ハ概^テ「ヂユラニ
 」人種ト爲ス
 本州ノ地之ヲ大別スレハ其西南部ヲ平原トシ其東北部ハ皆山嶽蟠居
 シ復^タ平行ノ地ヲ見ル^トナシ其平原ハ則チ「バクワ」「カコード」「ラス」「サ
 サワール」及ヒ西方ノ沙漠ナリ
 「バクワ」ハ「バンジユアン」ジュストコー山ノ南麓ノ高原ナリ東方「ザミン
 ダワール」ニ南ハ「カコード」ノ大澤ニ接シ西北皆山嶽ノ圍ム所ト爲ル中
 央「ソルル」ド河ノ經過スルノミニシテ其他一モ水脈ノアル^トナシ是
 ニ於テカ全部悉ク不毛ニシテ市府亦稀ナリ獨^リ其北端ノ于達哈爾希

拉的間ノ本道上小府三兩其中一府ノ「バクワ」ト云フ者アルノミナリ
 「カコード」ハ「バクワ」南方ノ曠原ナリ「フアルード」河及ヒ「ザミンダワール」
 原ノ中間ナリ是ノ地亦不毛道路市府共ニ稀ナリ獨リ原中「クスバス」河
 上同名ノ府アリ以テ「カス」及ヒ「華拉」二府間ノ行路ノ便益ヲ供スルナリ
 「ラス」ハ古昔之ヲ「華拉」府南邊ノ一大部落ト爲ス其地「西斯丹」ト云キチール
 ノ二湖ニ臨ミ特ニ「クスルード」「フアルード」二大河ノ漕ク所ト爲リ地方
 運輸ノ便蓋シ少ナカラス其「フアルード」河上ノ「ラス」「ジヨベン」ノ二府ニ
 入ルモ亦古昔ノ殷盛ヲ徵スヘシ蓋シ二府ハ固ヨリ「華拉」府ノ廢墟ノ如
 キ者ノ比ニ非ス
 「サブザワール」部落ハ「ハルード」及ヒ「ハラルード」ノ上部ニ在リ是ノ地山
 嶽蟠屈ノ内ニ在リト雖ヒ「干達哈爾」「希拉的」間ノ本道上ニ亘リ且ツ植物
 繁殖シ田野大ニ開ケ牛羊牧場亦多シ
 州中ノ府市

州首府ハ「華拉」府ナリ然レモ今日復タ市街巷陌アルコトナク獨リ其廢墟
 ナ見ルノミナリ府ハ北緯三十二度二十二分東經六十二度二十分ニ在
 リ人或ハ是ノ府ヲ以テ古昔「パラ」ト名クル者ト爲セル然ラハ則チ「パ
 ルト」人種ノ中央政府在リシ所ト云フ
 其次チ「サブザワール」「ジヨベン」「ラス」等ノ諸府ト爲ス「サブザワール」ハ同
 名部落ノ首府ニシテ「ハルード」河上流「ジヤシヤ」河上ニ在リ是ヲ州中ノ
 最盛都府ト爲ス是ノ地海面ヨリ高キト三千二百三十尺ナリ夫レ行旅
 干達哈爾府ヲ發シ將ニ「希拉的」府ニ至ラントスルヤ一タヒ「クリスク」府
 ナ過クレハ爾後至ル所山嶽ニ非サレハ則チ溪谷否レハ則チ曠原ノミ
 水食其他雜品ノ缺乏ニ因シムト蓋シ亦焉ヨリ甚ダシキハ莫シ而シテ
 「サブザワール」ニ至リ始メテ嚮ノ苦楚ヲ念ルト云フ「サブザワール」ハ則
 チ糧食ヨリシテ雜品若クハ玩具ニ至ルマテ之ヲ求メテ得サル者ナシ
 「シヨベン」府ハ「フアルード」河ノ東岸上ニ在リ「西斯丹」湖ヲ距ルコト大約三

十里ト爲ス其ラス府亦フアルド河上ニシテ其西岸ニ在リシヨベン
府ト相對ス共ニ州中殷盛府ノ一タリ

其三 國道

本道ニアリ皆クリスク府ニ經過スル者ナリ其一ハ千達哈爾ヨリクリ
スクヲ經テ希拉的ニ至ル者トシ其一ハ則チクリスク府ヨリカス府ニ
至リカスルード河ニ沿ヒ以テチヤカンシユール府ヲ經テ西斯丹部落
ヲ過キ波斯ニ入ル其千達哈爾府ヨリ來リクリスク府ニ達スル者ハ既
ニ千達哈爾州ヲ出テ黑曼德河ヲ渡リ然ル後チ府内ニ達ス黑曼德河ハ
是ノ地方ニ於テ其幅尤モ廣大六七月ノ候河水漲溢ノ時ハ殆ト一里ト
爲ル其涸落ノ時ト雖モ亦三千尺ニ減セス然レモ其深ハ僅ニ三尺半ナ
ルノミ故ニ黑曼德河ハ概チ徒涉スヘカテサルモ獨リ其是地方ノミ之
ヲ爲スチ得

既ニクリスク府ヲ經テバクワノチラ、ム府ニ至ルマテ瘠土ノ平原

ナリ然レモ行旅ノ幸トスル所ハ飲用水ニ乏シカラサルト休憩室ノ各
所ノ道傍ニ布在スルトナリ其チラ、ム府ニ達スルヤ却テ水食皆大
ニ缺ク旅客甚タ之ヲ苦ム

チラ、ムヨリ華拉府ニ至ルマテハ或ハ山谷或ハ平原ヲ過クルト雖
モ道路ハ常ニ砥平且ツ良好ナリ其憾ムル所ノ者亦水食ノ缺乏ニ在リ
華拉府ハクリスク府ヲ距ル七百四十里許千達哈爾ヲ距ル七百二十里許
華拉府ヨリ路線正北ニ直折シ低山支脈ノ麓ニ沿テ以テサブサワール
ニ至ルニ府ノ中間殆ト六十里ニシテ其間概チ山嶽若クハ溪谷ノミ復
タ平地アルヲナシ故ニ沿途獨リ市府ナキノミナラス材落モ亦寥々見
ルヲナシ其見ル所ノ者ハ止タ牧人ノ各所ニ撒布スルノミ糧食ノ缺乏
亦言チ待タサルナリ

既ニシテサブサワール府ニ達スレハ行旅始メテ嚮來ノ憂苦ヲ忘ル
サブサワール府ノ外シアゴト山ノ本脈ニ達スルマテハ道路又山谷ノ

中ニ入ルト雖厄田野却テ大ニ開ケ牛羊牧場少ナカラス道路亦平坦ナ
 リ
 「シヤコー」山ノ麓ニ達スルヤ左右田野漸ク盡キ道路又凹凸多ク不毛ノ
 沙漠少ナカラス既ニ「シヤコー」山ニ入レハ一線ノ峽路ニシテ復々他ニ
 見ル所ナシ峽ヲ出ツレハ即チ希拉的州ノ「ヘリル」河ノ南岸ノ村落ナ
 リ
 「クリスク」府ヨリ西斯丹部落ヲ經テ波斯ニ入ルノ道路ハ固ヨリ國中要
 道ノ一ナリト雖厄行人甚々多カラス蓋シ凡ソ中央亞細亞ノ通商中極
 ハ皆是レ印度地方ナルカ故ニ印度ヨリ各地ニ通スルノ道路ハ常ニ往
 來甚々多ク沿道ノ村落亦自カラ富メル者各所皆是ナリ故ニ亞富汗斯
 坦中干達哈爾ヨリ希拉的間ノ道路若クハ干達哈爾ヨリ客布爾ニ至リ
 或ハ白沙瓦爾ヨリ客布爾及ヒ「ハミアン」府ニ至ルノ道路ハ皆印度ヨリ
 ノ順道ナルカ故ニ往來自カラ少ナカラス然ルニ「クリスク」府ヨリ「カス」

府ニ沿ヒ以テ波斯ニ入ル者則チ復々何ノ便益アルヤ其印度ヨリ波斯
 ニ至ルヘキ者ハ皆道ヲ佛路芝斯坦ニ取り必スシモ亞富汗斯坦ニ由ラ
 ス故ニ「クリスク」ヨリ「カス」府ニ至ルノ道路ハ國中本道ノ一ト曰フト雖
 厄往來甚々寥々道路亦隨テ良好ナラス沿道府市ヲ見ス水食亦缺乏セ
 リ是ノ道上「カス」ル「ド」河口ノ「チヤカンシユール」府ヨリ一路西北ニ岐
 シ「クスパスル」ド「カルル」ド等ノ諸河ヲ踰エ「ジヨベン」ラスノ二府ヲ
 經テ「クスル」ド河ノ西左「ドカラ」府ニ至リ二分シ一ハ「ハル」ト河ヲ涉
 リ河外ノ「ヒリヤン」峽ヲ踰エ波斯ニ入り一ハ「ハル」ト河ニ沿テ北上「サ
 ブサワール」府ニ達スル者アリ是ノ道路固ヨリ一支道ニ過キスト雖厄
 其往還ノ多キ道路ノ良好ハ蓋シ前者ニ勝ルヘシト云フ
 黑曼德河頭又一道ノ甚々便益ナル者アリ干達哈爾ヨリ直ニ西斯丹部
 落ヲ經テ以テ波斯ニ入ル既ニ干達哈爾ヲ發シ「アルガンダー」河ノ北
 岸ニ沿ヒ黑曼德河會同ノ地ニ至リ「カラビス」府ヲ經テ南折シ常ニ黑曼

德河ニ沿ヒハサルジュフト「ミアンバスタ」ランド等ノ諸府ヲ過キ俾路
 芝斯坦ノ境上ヲ通過シ「ラドバール」府ニ達シ猶西向シテ遂ニ西斯丹部
 落ノ「トラクン」府ニ至リ二分シーハ波斯領西斯丹部落ノ「セコハ」府ノ南
 方「ハルタール」ニ至テ波斯ノ本道ニ會シ一ハ俾路芝斯坦ニ入り亞慕澤
 ナ渉ル

是ノ道上黒曼德河頭ノ「ランド」府ヨリ一路北ニ分レ河ヲ涉リ「マルゴ
 沙漠」ノ中央ヲ横斷シ以テ「カス」府ニ達ス然レモ是ノ道路ハ往還尤モ少
 シ年中僅ニ指屈チスヘキノミト云フ既ニ「カス」府ヲ過クルヤ路乃チ二
 分シ一ハ「ソールド」澤ノ西方ヲ繞リ遂ニ「バクワ」原ノ「バクワ」府ニ達シ「ク
 リスク」華拉二府間ノ本道ニ合ス其一ハ「クスバス」ルード河上ノ「クスビ
 ス」府ヲ過キ又嚮ノ本道ニ華拉府ノ東方ニ合ス

「クリスク」府ヨリ一路又北方ニ發スルアリ「ザミンダワール」原ノ中央ヲ
 過キ其北端ナル「デイバ」府ニ至リ二分セリ一ハ東折黒曼德河上ニ至

リ河ニ沿テ東北ニ溯リ「チヤクマク」チユク「府」ニ至リ河ヲ涉リ「バクマン」
 山ノ西麓ニ沿ヒ遂ニ「コーヒバ」山ノ東端ハジカク「峽路」ニ至リ「バミア
 ン」道ニ合ス一ハ則チ西折「バクラン」河上ニ至リ河ニ沿テ北上シ「ヒスサ
 ング」府ニ至リ河ヲ涉リ「グール」國ノ「グール」府ニ至リ又二分セリ其東岐
 スル者ハ「カス」ルード河ニ沿ヒ北ニ溯リ「シヤコー」「サヒコー」「チルバ」ド
 ノ三山ヲ踰エ「ヘリル」ド「ムルガ」ブノ二河ヲ涉リ常ニ直北シ遂ニ「サ
 リブール」府ニ達ス其西ニ岐スル者ハ「ハル」ド「ファラ」ド「三河」ノ上部
 ナ横斷シ遂ニ「シアコー」山ヲ踰エ以テ希拉的府ニ達ス

「クリスク」及ヒ華拉二府間ノ道上「バクワ」及ヒ「チラ、ーム」ノ二府中皆一
 岐路ノ北方ニ發スル者アリ皆希拉的道ト爲ス其「チラ、ーム」ヨリスル
 者ハ既ニ「チラ、ーム」ヲ發シ「チヤラー」河ニ沿ヒ北行シ「チヤラー」府ヲ過
 キ「パンヂユアン」ジユスト「コー」山ヲ踰エ北西ニ折レ「ファラ」ド「河」ノ上
 部ヲ涉リ「ソーウス」部落ヲ經テ「サブ」サワールニ入り「ルー」チアドラス

カン山ヲ踰エ「ルーヂカリス河上ニ至リ」サブサワールヨリ希拉的間ノ
本道ニ合ス

其「バクワ」ヨリスル者ハ「バクワ」府ヲ發シ「ユアンコー」「カキサヒード」「コー
ヒサヒード」「アニランコー」ノ諸山ヲ踰エ「サブサワール」ニ入り「サブサワ
ール」府ノ北方ニ至リ亦希拉的本道ニ合ス

第三門

哥拉森

哥拉森ハ中央亞細亞ノ一大部落ナリ古昔之ヲ亞里國ノ本部ト爲ス北
ハ土耳其機斯坦ニ西ハ「マザンデラン」及ヒ「イラクアセミー」ニ東ハ容布爾
ニ南ハ西斯丹ニ接ス其幅員十六萬六千方里人口百九十萬ト爲ス之ヲ
分テ二部ト爲ス之ヲ西拉森又波斯哥拉森及ヒ東哥拉森又亞富汗哥拉
森ト謂ヘリ亞富汗哥拉森ハ之ヲ波斯領ニ比スレハ僅ニ其三ノ一ニ在
リ故ニ其居民亦大ニ減セリ

亞富汗哥拉森ハ東ハ「コーヒバ」山ニ接シ北ハ北緯三十六度ニ至リ南
ハ三十三度ニ至リ西ハ波斯哥拉森トヘリ「ルー」河下流ノ界ヒスル所
ト爲ル居民ハ亞富汗人波斯人土耳其機斯坦人土耳其曼人哈薩拉ハサラ元人ノ
人等ナリ其地南部ハ尤モ沃饒ニシテ植物大ニ繁殖シ其輸出スル所ノ
者ハ絹帛綿布薦席銃器刀劍等ト爲ス

亞富汗哥拉森分テ二州ト爲ス曰ク希拉的州曰ク佛薩拉州フサラ

其一 希拉的州

希拉的州ハ南ハ北緯三十三度ヨリ北ハ三十五度ニ至リ東西ハ東經六
十一度ヨリ六十六度ニ至リ「チルバンド」山ノ圍ム所ト爲ル古昔之ヲ亞
里國ノ一州ト爲ス即チ汗拉森本部ナリ其後チ獨立シテ希拉的州ト爲
ル千百五十年ヨリ千二百二十年ニ至ルマテ「グー」リド族ニ屬シ又成
吉汗及ヒ鏡木兒ノ取ル所ト爲リ其後チ遂ニ波斯ニ入ル然ルニ千七百
十五年亞富汗人本州ヲ波斯ニ取リ千八百三十一年波斯王那ナ爾沙ニ

屬シ千八百四十九年又亞富汗王亞迷德沙之ヲ取リ千八百五十六年一
 時波斯ノ陷ル所ト爲ルモ明年實ニ千八百五十七年終ニ又亞富汗人ニ
 屬ス全部皆ヘリルド河ノ灌溉スル所ト爲リ土壤膏腴牧畜又盛ナリ
 大ニ良馬ヲ産ス
 州中ノ府市
 州ノ首府之ヲ希拉的府ト爲ス希拉的ハヘリルド河上ノ一大府ニシ
 テ北緯三十四度三十分東經六十二度五分ニ在リ客布爾ヲ距ルヲ三百
 九十里海面ヨリ高キ二千七百尺
 是地膏腴ノ山谷中ニシテ嘗テ人工ヲ以テ大ニ水利ヲ通セリ又道路ハ
 四通八達即チ佛薩拉ノ諸山ヲ經テ客布爾ニ通シマイマナテ經テ波華
 及ヒ布加拉ニ通シノルウヲ經テ機法ニ通シ又イスパハシ千達哈爾ヲ
 東西ニ控ヘ之ヲ要スルニ中古以來中央亞細亞樞要ノ要塞ナリ又千八
 百六十三年以還府中ノ事大ニ改良シ市街モ亦整頓セリ府ノ形狀ハ楕

圓ニシテ長サ一里許幅之ニ稱テ四面繞ラスニ二段ノ壁牆ヲ以テシ下
 段ノ壁脚厚サ二百五十尺高五十尺乃至六十尺ナリ其上段ハ則チ高サ
 十八尺壁脚ノ厚サ十四尺壁頂ノ厚サ九尺ナリ壁外ニ濠アリ濠ノ深サ
 十六尺經四十五尺ナリ
 巨門五個アリ以テ要塞ノ内外ヲ通ス壁内分テ四區ト爲ス界ヒスルニ
 石壁ヲ以テシ各弓形門ヲ設ケ四區ノ中央一大互市場アリ覆フニ圓形
 ノ屋梁ヲ以テス府ノ北端ニ城郭アリ四方ヲ臨瞰ス是レ尤モ堅牢ナル
 者ナリ然レモ府内ノ市街ハ屈曲狹隘ニシテ且ツ汚穢ヲ極ム濠中亦蘆
 荻ヲ生ス
 府内ノ人口四萬五千カラバンスライ千七所浴場二十其他回教寺院等
 構造人目ヲ驚カス者アリ寺院構造ノ古キ千三百年代ニ係ル者アリト
 云フ是レ尤モ觀ル可キ者ナリ
 夫レ希拉的ハ東洋中最モ繁盛ノ府ニシテ印度支那韃靼亞富汗斯坦波

斯等ノ物産中極ノ大市場ナリ府内ニ産スル所ハ絹帛、綿布、薦席、香水、等尤モ許多ナリトス

希拉的府ヲ東北ニ距ル十五里ニシテ一邑アリ「チルマーズ」ト曰フ以テ希拉的府ノ外郭ニ充ツ居民甚タ鮮少ナリ然レモ輓近屢土耳其曼人ノ殘暴スル所ト爲ルカ故ニ居民協同シテ巨砦ヲ築キ之ニ入ル是ヲ以テ今日邑中止タ堡砦ヲ見ルノミ砦ハ方形ニシテ城壁甚タ堅牢中央庭園ヲ設ケ四隅ニ巨樓アリ皆二層ニシテ民人悉ク其上層ニ住シ下ニハ禽獸ヲ居ケリ

希拉的ノ次ヲ「グリアン」及ヒ「オビ」ノ二府ト爲ス

「グリアン」府ハ希拉的府ノ直西四十里許ニ在リ「ヘリルード」河ヲ距ルテ遠カラス之ヲ亞富汗哥拉森ノ最西ノ大府ト爲ス

「オビ」ハ希拉的府ノ直東六十五里許ニ在リ亦「ヘルリード」河ニ瀕ス是ノ地海面ヨリ高キ四千尺ト爲ス

其二 佛薩拉州

佛薩拉州ハ北「チルバンド」連山ニ抵リ南ハ希拉的州ニ接シ東西延長ノ曠原ナリ全部「ムルガ」河ノ灌溉スル所ト爲ル是ノ地之ヲ佛薩拉州ト謂ヒ以テ希拉的州ニ分ツト雖モ實ニ分別アルニ非ス蓋シ亦希拉的ノ一郡ニ過キス故ニ今日人皆其州名アルヲ知ル者ナシ

州中ノ府市
州ノ首府ヲ「バラムルガ」府ト爲ス「チルバンド」山麓「ムルガ」河上ニ在リ古昔盛大ノ府ニシテ城砦亦堅牢ナリシモ今ハ土耳其曼人ノ掠奪蹂躪スル所ト爲リ皆廢頽僅ニ其墟ヲ見ル夫レ土耳其曼人ノ害ハ是ノ地方ノ日夜忽ニスヘカラサル所ノ者ニシテ之ヲ防カント欲スレハ蓋シ亞富汗斯坦一國ノ能ク爲シ得ヘキ所ニ非ス之ヲ波斯ノ力ニ合スルモ亦易キニ非スト云フ

「バラムルガ」ノ南方ニ「カレイヌウ」府アリ巴羅巴美西山ノ北麓北

緯三十四度四十分ニ在リ哈薩拉族部落ノ都府ナリ城郭二所東西ニ對峙シ其間又無數ノ土造堅屋アリ府中戶口蕃殖シ凡ソ四千有餘アリ其次テクリスク府ト爲スゼムチト族ノ都府ナリ其長テハヅラト云フ常ニ客布爾府ニ在リ是レ亞密爾ノ令スル所ニシテ蓋シ以テ其衆族ノ質ト爲スナリ

其三 國道

哥拉森中國道三條アリ一ハ希拉的ヨリ婆革ニ至リ一ハグリスクヲ經テ干達哈爾ニ通シ一ハ波斯ニ入りイスパハン若クハアストラバートニ至ル其婆革道ハ希拉的府ヲ距ルテ十五里ニシテチルマーズノ砦ニ達シ砦ヲ過クレハ即チ巴羅巴美西山麓ノ狹隘ニ入ル隘道ノ長キ殆ト二十里隘道ヲ脱シ又十里ノ後チ遂ニ巴羅巴美西山ノカレレイバノ山道ニ達ス山道ハ登降皆艱シ其登ルヤ極メテ峻嶮其降ルヤ沙磧尤モ多シ然レモ將三クリスク府ニ達セントスルヤ道路始メテ漸ク易シ

「クリスク」府ヲ過キ三十五里ニシテ「カレレイヌウ」府ニ至ル

「カレレイヌウ」府ヲ距ルテ一日程ニシテ「タラバウナム」村ニ至ル其後又一日程ニシテ「ムルガト」河ノ渡頭ニ達ス渡頭ヲ西北ニ距ルテ數里ニシテ「バラムルガト」府アリ是レテ哥拉森土耳其機斯坦ノ境界ト爲ス干達哈爾道ハ既ニ希拉的府ヲ發シ「ヘリル」河ヲ涉リ然ル後チ曠原中ヲ行クテ十餘里ニシテ「シアコー」山中ニ入ル山外ハ即チ西斯丹州ナリ

其波斯ニ入ルノ道路ハ希拉的ヲ發スルノ後チ常ニ「ヘリル」河ニ沿ヒ行クテ凡ソ六十里ニシテ波斯境上トマンアガ「府」ニ達ス既ニ境界ヲ越ユルヤ途乃チ岐シ一チ「アストラバード」道ト爲シ一チ「イスパハン」道ト爲ス

三道ノ外猶一路ノ甚タ要ナル者アリ之ヲ「メルウ」道ト爲ス希拉的府ヨリ「クリスク」府ニ至リ然ル後チ左右ニ岐ス其右ハ即チ前ノ婆革道ニシ

テ左キメルウ道ト爲ス常ニクニスグ河ニ沿ヒ直北シテ土耳其斯坦境上ニ至ル

第四門

屬部

其一 亞領土耳其斯坦

亞領土耳其斯坦ノ地北ハ布加拉ニ接シメルウ沙漠及ヒ荷薩河ノ境ヒスル所ト爲リ南ハコーヒビ、及ヒ興都哥士ノ二山ニ抵リ東ハワクハシ曠斯俄爾等ニ接シ西南ハ哥拉森ニ隣ル分テ數州ト爲ス皆首汗アリ常ニ亞富汗斯坦ノ管轄ヲ脫セント欲スト云フ曰ク婆革曰ク波達克山曰ククンゾーズ曰クアクチヤ曰クアンドクイ曰クシバルカン曰クサリプール曰クマイメナ曰クダルザイ曰クグーリバンノ諸部是レナリ婆革古昔ハ之ヲバクトリアースト謂ヒ其地甚タ廣ク南ハ巴羅巴美西山ニ接シ北ハソグジアースニ接セリ蓋シ今日ノ亞領土耳其斯坦全部

ナリ常ニ一酋長ノ下ニ在リ甚タ殷盛ナリ波斯國亦バクトリアースノ餘ナリト云フ其後チ婆革ノ地或ハ獨立シ或ハ婆斯又ハ摩哥爾ニ屬シ摩哥爾ノ後チ魯領ニ入り千八百五十年代以降終ニ亞國ニ屬ス今日婆革ハ諸州中ノ尤モ大ナル者ナリクンゾーズ州亦蓋シ婆革ノ一部ニ過キス故ニ其人口三十萬アリト云フ概子皆ウーツベツク人ナリ諸州中尤モ亞國政府ノ干涉ヲ受ケス稍自立ノ色ヲ爲シ得ル者之ヲアンドクイト爲ス蓋シ亞富汗斯坦ノ管テマイメナ部ヲ討スルヤアンドクイノ首汗與テカアルヲ以テ亞國政府乃チ其功ヲ賞シ自ラ其州中ノ事ヲ裁制スルヲ許セリ

「マイメナ」ハ千八百七十五年以降亞國ニ屬スル者ナリ人口十萬餘人「サリプール」及ヒ「シバルカン」暨「マイメナ」ト同盟スル者ニシテ亦千八百七十五年亞國ノ降ス所ト爲ル
婆革「アクチヤ」「クンゾーズ」ノ三部ノ亞國ニ屬スルハ蓋シ三十年以降ナ

リト云フ

其「ダルザイ」「グーリバン」ハ千八百七十年ヲ以テシ波達克山ハ千八百七
十三年ヲ以テ亦亞國ニ入ル蓋シ皆千八百六十九年英國魯亞二國境界
ヲ確定スルノ後ヲ以テナリ

府市

國中諸州中各皆一府其州ト同名ナル者アリ即チ婆革「クンツーズ」「アン
ドクイ」「サリプール」「シベルカン」「マイメナ」ノ諸府是ナリ

婆革府ハ北緯三十六度二十八分東經六十六度四十分ニ在リ人口一萬
餘人其産スル所絹綿ヲ以テ尤モ多シト爲ス是ノ地海面ヨリ高キ千八
百尺

婆革府ハ古ヘ「バクトリア」ノ首府タリシ時之ヲ「バクトラ」ト云ヘリ
當時府中ノ殷盛蓋シ近隣諸府ノ及フ所ニ非ス其地亦甚タ廣ク婆革ノ
河上東西三里南北六里ノ地ニシテ居民亦少ナカラス然レモ其後チ經

年ノ久シキ沿革一ニシテ足ラス其外患ノ爲メニ害セラレ、亦少ナカ
ラス之ニ加フルニ千八百七十二年府中大ニ疫シ居民什ノ九ヲ滅シ今
日殆ント廢墟ニ屬ス

「アンドクイ」府ハ亞國ノ北門且ツ土耳其曼部落ニ隣スルカ故ニ客布爾
政府常ニ騎兵一隊ヲ置キ又毎年金七萬「ルーピー」ヲ致シ以テ其北邊防
禦ノ用ニ供セシメタリ

「クンツーズ」府ハ北緯三十六度四十分ニシテ同名ノ河上ニ在リ海面ヨ
リ高キ千五百尺

「シベルカン」府ハ婆革府ノ西方五十里ニシテ「サリプール」河上兩岸ニ跨
レリ府民ハ概テ「ウーツベック」人ナリ是ノ地亞富汗斯垣ノ一長アリ是
ヲ近隣諸州ノ知事ト爲ス現今陸軍將官ナリ

「マイメナ」府ハ北緯三十六度十分「サンカラツク」河上ニ在リ東西三里南
北六里ニシテ周圍皆壁壘ヲ以テ之ヲ圍ミ壘ノ高サ十八尺ナリ中央堡

塞アリ丘陵ノ上ニ在リ高二十五尺ノ壁壘ヲ繞ラス各所又多ク樓櫓ヲ築ケリ

「シベルカン」府ヲ距ル丁八十里許府中ノ居民古昔ハ二萬五千アリト云フ千八百七十五年亞國ノ討スル所ト爲リ市街民屋復タ前日ノ比ニ非ス今二千五百ニ過キス皆ウーツベツク人ナリ

「サリプール」府ハ「シベルカン」府ノ南方三十里同名河上ニ在リ周圍田園ニシテ中央ニ城廓ヲ構ヘ居民三千皆ウーツベツク人ナリ

其他著名ノ諸府ハ「マサルイシヤリーフ」「グルム」「バミアン」及ヒ波達克山州中ノ「フニイザバード」ナリ

「マザルイシヤリーフ」府ハ婆革ノ東北五里ニ在リ荷薩河上「バツタキツサール」ヲ距ル丁五十里東方ニ「グーピマール」村ヲ控ヘ西方「ダクダプー」ルノ砦ニ接ス常備騎兵アリ又其分營ヲ「バツタキツサール」府對岸ノ地ニ置ケリ亞領土耳其斯坦「ルイナイブ」亦府中ニ在リ「ルイナイブ」ハ總督

ナリ之ヲ亞國四總督ノ一ト爲ス四總督ハ客布爾干達哈爾希拉的及ヒ亞領土耳其斯坦ニ在リ

「グルム」府ハ婆革州中ノ別都府ナリ婆革府ノ東方五十里ニ在リ同名河ニ跨レリ

「バミアン」府ハ客布爾府ノ西方百二十里許ニ在リ「クンツーズ」河ノ上流

「バミアン」河ニ瀕セリ府街ハ巨大殷盛ナル者ニ非サルモ是ノ地客布爾ノ西北門ニシテ蓋シ要地ト爲ス府中三砦アリ其二ハ共ニ四個ノ城櫓

アリ其一ハ六個ノ層櫓アリ府ノ西方五里ニシテ又一砦アリ紅門砦ト曰フ千八百四十年十一月十八日亞富汗王ト德斯ト的英兵ト是ノ地ニ戰ヒ

大ニ敗ルト云フ「バミアン」府ノ地海面ヨリ高キ丁八千五百尺

波達克山ノ首府「フニイザバード」巨府ニ非スト雖モ東ハ曠斯俄爾地方ニ西ハ布加拉地方ニ通シ南ハ印度領ニ接シ亦東北ノ咽喉ナリ北緯三十七度十八分東經七十度四十分ニ在リ海面ヲ抽ル丁三千五百尺

亞領土耳其機斯坦ノ道路三條アリ一ハ希拉的ヨリ婆革ヲ經テ布加拉撒
マールカンド馬爾罕ニ入り一ハ婆革ヨリ「グルム」「クンヅ」「ズ」及ヒ波達克山ヲ經テ噶
 斯俄爾地方ニ入り一ハ客布爾ヨリ「バミアン」府ニ入ル
 其希拉的婆革間ノ道路希拉的ヨリ「バラムルガ」ニ至ルマテハ既ニ
 哥拉森ノ記中ニ載セリ今乃チ其以北ヲ記セン
 既ニ「ムルカ」河ヲ渉ルヤ道漸ク坂道ニ入ル是ヲ「カラデア」山ノ支脈ナリ山道
 ノ昇降極メテ峻嶮旅客騎シテ行クヘカラス土人亦往々馱馬ヲ傷損ス
 山道ヲ行クト凡ソ十八里ノ後チ「タガイ」カラヂン「カール」川ニ沿ヒ北行
 遂ニ曠野ニ入り又行クト凡ソ一日程ニシテ「チヤルシヤンベ」ニ達ス
 「チヤルシヤンベ」ハ「ムルカ」河ノ上流「カイサル」川上ノ小村ナリ戸
 口四百ニ過キス又甚タ貧シ昔時ハ蓋シ是ノ如クナラス然レモ屢土耳其
 其曼人ノ掠奪スル所ト爲リ遂ニ是ノ衰頹ヲ致セリト云フ地方土耳其

曼人ノ殘暴至ラサル所ナク甚ダシキハ則チ民家ノ幼童ヲ奪ヒ其父母
 親戚ノ悲哀ヲ見遂ニ又之ヲ賣ル者所在皆是ナリ
 既ニ「チヤルシヤンベ」ヲ發スルヤ忽チ溪谷ニ入ル之ヲ「カイサル」溪谷
 ト稱ス「カイサル」村ノ溪頭ニ在ルヲ以テナリ是ノ地土耳其曼人ノ害蓋
 シ近隣諸邑中ノ尤モ甚ダシキ所ナリ溪谷中村邑ノ制必ス外患ヲ防ク
 ノ便ヲ謀リ必ス相救フノ方法ニ基キテ之ヲ建ツ民人ノ外行スルヤ男
 女ヲ問ハス必ス兵器ヲ携帶セシム
 「チヤルシヤンベ」及ヒ「カイサル」ノ中間ヲ二十里ト爲シ「カイサル」ヨリ
 又十四里ニシテ「マイメナ」府ニ達ス
 「マイメナ」府ノ後チ六里ニシテ隘道ニ入り頃クニシテ「テレツチエ」ニ
 達シ又行クト九里許ニシテ「ベルチエ」ニ達シ又二十一里ニシテ
 「グーチ」府ニ達ス是ノ地戸口三百アリト雖モ行旅甚タ其糧食ナキニ
 苦シム「グーチ」ヨリ二十三里ニシテ又狹隘ニ入ル隘道九里半アリ隘

道ノ前後皆守備ヲ設ク前口ハ野堡ヲ以テシ後口ハ石壘ニ所ヲ築ケリ
其間殆ト千五百尺ニシテ壘ノ高サ共ニ十尺ナリ既ニ狹隘ヲ出テ又十
五里ニシテサリプール府ニ達ス

「サリプール」府ヲ發スルヤ常ニ北行シテ遂ニ凹道ニ入レリ風氣變換セ
ス下濕上リ冒シ大ニ人類ニ害アリ行クト三十里ニシテ「サルマザール
ニ達ス

「サルマザール」ハ「サリプール」河上シベルカン府ノ南方二里半ノ地ナル
一小村落ナリ戸口僅ニ四十是ノ地二道ノ「マイメナ」府ニ通スル者アリ
一ハ「シベルカン」府ヨリ「ケイラバード」ヲ經テ「マイメナ」府ニ至リ一ハ「サ
リプール」河ニ沿ヒ「サリプール」府ヲ經ル者ニシテ即チ前ニ記スル所ナ
リ古昔ハ「サリプール」道ノ遠隔ナルカ故ニ行旅皆「ケイラバード」道ヲ取
レリ然レモ其後チ道路大ニ破壞セシカ故ニ皆復タ「ケイラバード」ニ入
ラス概チ「サリプール」府ヨリスルニ至レリ蓋シ亞國ノ曾テ「マイメナ」チ

討セシ時大ニ土功ヲ起シ以テ「サリプール」道ヲ修メシカ故ニ其遠隔復
タ古ノ如クナラスト云フ

「サルマザール」ヨリ東北シテ水田菜畦ノ中ヲ行クト殆ト二十里古婆革
ノ墟ニ至ル人其曠濶ナルヲ見テ當時ノ殷盛ヲ想像セサル者ナシ蓋シ
古墟ハ南北六里東西三里ニシテ婆革河ニ枕ス河ノ廣サ百尺ナリ既ニ
河ヲ涉リ未タ幾クナラス「マザルイシヤリ」府ニ至リ然ル後チ四里
ニシテ乃チ婆革ニ達ス

婆革ヨリ遂ニ將ニ布加拉ニ入ラントスルヤ又一タヒ返リテ「マザルイ
シリ」府ヲ過キサルヲ得ス
既ニ「マザルイシヤリ」府ヲ發スルヤ東北二里ニシテ「シヤギルド」ニ
至ル「シヤギルド」ハ戸口僅ニ五十許然レモ荒墟ハ八里ニ亘レリ蓋シ古
昔ノ一巨府ナリ既ニ墟ヲ過クレハ沙漠ニ入ル之ヲ「シアギルド」沙漠ト
謂フ曠濶凡ソ二十里許

沙漠ノ後ハ即チ荷薩河ニ接ス是チ亞國ノ北境ト爲ス是ノ地兵營ヲ置キ以テ魯領「バツタキツサール」府ト對岸セシム
 其婆革ヨリ波達克山^{ハダクシヤン}地方ニ至ルノ道路ハ既ニ「マザルイシヤリ」府ヲ發シ東行殆ト一度ニシテ「クルム」府ニ達シ然ル後チ第一第二第三ノ「アブタン」ナル新設ノ砦ヲ經テ「クンツーズ」府ニ至ル
 「クンツーズ」ノ後チ六十里許ニシテ一峽アリ「ラツタバン」峽ト曰フ海面ヲ抽ル三千尺ト云フ既ニ峽ヲ過クルモ道路常ニ凹凸多ク行旅甚タ苦ム冬季ノ如キハ殆ト通過スヘカラス蓋シ近隣皆興都哥士ノ北麓ニシテ波達克山ノ「フエイザバード」府ニ至ルマテ殆ト八十里ノ間曾テ平野ヲ見ル能ハス
 其客布爾ヨリ來リ「バミアン」府ニ入ル者ハ所謂ル「イラク」及ヒ「ハジカク」ノ二峽路ヲ過ク其「イラク」ヨリスル者ハ既ニ峽ヲ出テ「イラク」河ニ沿ヒ以テ興都哥士山ノ北側ヲ下ル「六里」ニシテ「ハジカク」道ト合ス「ハジカク」

ク道ハ峽ヲ出ツル後チ「カル」府ヲ過キ「カル」河ニ沿ヒ亦下ル「數里」ニシテ「バミアン」府ノ東方ニ出テ「イラク」道ト合ス二道合スルノ後チ之ヲ「バミアン」溪谷ト謂フ初メ僅ニ一里半ノ廣サニシテ西進九里許「バミアン」府ニ至リ谷幅大ニ開濶セリ其中央「バミアン」河東北ニ流下シ兩岸耕耘大ニ開ケタリ「バミアン」河ハ「コーヒバ」山ノ北側ニ發源シ「クンツーズ」河ニ入ル者ナリ「バミアン」府ノ西五里許ニシテ紅門ノ砦ニ至ル是ノ地ヲ「バミアン」溪谷ノ西端トナス

紅門ノ後チ右折シテ「サイガン」河ニ沿ヒ北行五里許ニシテ山道ニ入り凹凸地ヲ行ク「又五里」ニシテ「アクラバツト」峽ニ至ル峽ノ長サ僅ニ三千尺許ト雖モ其幅甚狹小地勢亦峻嶮行步甚タ難シ峽ヲ出ツレハ則チ「サイガン」溪谷ナリ溪谷甚長ク二十二里ノ後チ始メテ「サイガン」府ニ達ス

「サイガン」府ノ北方亦二峽アリ「トندگان」シ「カン」峽カラコタル「峽」ト曰フ

是ノ隣近所謂ル「カラコー山」ノ脈尾縈紆蟠屈スルカ故ニ峽路尤モ多シ
其高サモ亦少ナラス「アクラバット」峽ハ海面ヨリ一萬二百尺「カラコ
タル」峽ハ一萬五百尺「トندانシカン」峽亦一萬尺餘ニ在リ既ニ「カラコ
タル」峽チ出ツルノ後チ路乃チ「クルム」ノ溪谷ニ入リ兩丘ノ間ニ在リ「ク
ルム」河ニ沿行シ「シヤンラク」峽チ過キ「サリバーク」「ハイバツク」等ノ諸府
チ經テ「クルム」府ニ達ス「クルム」府ノ後ハ曩ノ婆革ヨリ「クンヅーズ」ニ至
ルノ本道ニ合ス

第三篇

史記

鴻荒ノ事措テ問ハサル者余毎ニ史誌ニ於テ之ヲ見ル是レ固ヨリ編
者ノ好テ之ヲ爲スニ非ス亦己ムヲ得サルナリ蓋シ其事概子晦澁錯
雜曾テ其詳悉ヲ知ル能ハス乃チ姑ク其疑ヲ闕キ遂ニ他日ノ讀史者
ヲシテ遺憾多カラシム亞富汗斯坦ノ事迹固ヨリ甚タ隱昧不断況ン
ヤ其上古ノ事ニ至テハ其沿革ヲ記セント欲スルモ蓋シ亦甚タ難シ
之ヲ要スルニ土族各部落チ成シ邑中ノ豪族ヲ推テ首長ト爲シ互ニ
割據シ以テ彼此相凌轢スル者是レ其草昧ノ形勢ナリ其間或ハ波斯
王「シリユース」若クハ歷山帝若クハ「シリ」國ニ屬シ中世ニ至リ全國
概子常ニ波斯ニ屬シ曩ノ村邑相闕ノ勢漸ク變スト雖モ然レモ是レ
亦國中ノ一邊若クハ一部ニシテ未タ嘗テ全國統一ヲ爲スニ至ラス
其國中ノ國王ト稱シ朝廷ヲ創建シ以テ其下ニ君臨セシ者ハ「ヂユ

ラニト族ノ豪將亞迷德沙ヲ以テ始ト爲ス
 初メ紀元八百年代中荷薩河ノ南方トランソグシアース國中豪將撒馬
 尼ト云フ者アリ波斯ノ別將ナリ八百四十七年ヲ以テ首府撒馬兒罕ニ
 生ル既ニ長シ勇猛ヲ以テ顯レ遂ニトランソグシアースノ守令ト爲レ
 リ
 八百九十二年撒馬尼大ニ兵ヲ起シ波斯ニ背キ撃テタバリスタン哥拉
 森ノ二部落ヲ取レリタバリスタンハ今ノテラン地方ナリ
 九百二年撒馬尼又波斯ノ西北部ヲ取レリ是ニ至リ遂ニ悉ク波斯ノ北
 部ヲ占領セリ當時其地ハ東方印度河ニ至リ西方裏海ニ臨ミ終ニ嚴然
 タル一大國ヲ成シ以テ子孫紹承ノ基ヲ創メ其族ヲ撒馬尼德ト稱セリ
 撒馬尼卓識ニシテ武畧アリ又大ニ治世ノ才ヲ負フ英名永ク朽チス九
 百七年ヲ以テ歿ス
 撒馬尼既ニ歿シ國勢大ニ變シ其下互ニ相吞噬シ撒馬尼德氏ノ治復タ

前日ノ比ニ非ス九百三十二年ニ至リ其西南鄙イラクアゼミー「フール」
 「ル」ノ二州ヲ以テブローイード族ニ割カサルヲ得サルニ至ルイラクアゼ
 ミー「ハ今日波斯ノ中部ニシテ「フール」ハ其南邊ナリ
 初メ九百年中裏海ノ南岸「ヂラン」州中漁夫ブローイヤ「ト云フ者アリ其族
 ヲブローイードト稱スブローイヤ三子アリ長ヲイマ、エドローラ次ヲロクヌ、
 エドローラ三子モエーズ、エドローラト云フ三子皆身ヲ卒伍ニ起シ遂ニ大
 酋長ト爲リ漸ク撒馬尼德氏ニ迫リ九百三十二年遂ニ其「フール」及ヒ「イ
 ラクアゼミー」ノ二州ヲ取レリ
 其後イマ、エドローラ其弟モエーズ、エドローラト共ニ東畧西掠遂ニ「クル
 チスタン」「シラーズ」「キルマン」等ノ諸州ヲ取リ「キルマン」州ノ「キルマン」府
 ニ治シ以テ四方ニ號令セリ是ノ時ニ當テ撒馬尼德氏ハ漸ク衰ハ僅ニ
 哥拉森、婆革、客布爾ノ諸州ヲ有スルノミ
 九百四十九年イマ、エドローラ歿シ弟モエーズ、エドローラ代リ立テ王位ニ

上リ首トシテ「バクダ」ヲ取レリ「バクダ」ハ小亞細亞ノ一州ナリ時ニ「バクダ」王「モスタクビ」ト云フ「モエーズ」エドローラ「遂ニ之ヲ廢シ己レノ戚屬「モケー」ヲ以テ之ニ代ラシメ自ラ其政權ヲ專ラニセリ九百六十七年「モエーズ」エドローラ「歿シ」ア「イード」氏分レテ二國ト爲リ一「フール」國ト爲シ「ロクヌ」エドローラ「之ヲ保テ一」イラツクアゼミ「國ト爲ス是ヲ長兄「イマ」エドローラ「後ノ有ト爲ス二國皆是レ」フ「イード」氏ノ嘗テ「撒馬尼德氏」ニ取ル所ナリ

是ノ時ニ當テ「撒馬尼德」中「アルプテキン」ト云フ者アリ土耳其曼部落ノ一匹夫ナリ「撒馬尼德王」アルマンソール「ノ舉クル所ト爲リ累進遂ニ哥拉森」令ト爲レリ人ト爲リ有爲ノ姿アリ亦多ク兵馬ヲ畜フ九百六十年遂ニ叛テ謀リ「濟斯尼州」ヲ取リ之ニ據リ遂ニ一政府ヲ創建シ以テ子孫垂統ノ計ヲ爲セリ時ニ其族「ガス子ビード」ト稱ス蓋シ「濟斯尼州」名ニ基ヒスル者ナリ

九百七十五年「アルプテキン」歿シ其嬪「セベツクテキン」之ニ繼キ以テ九百九十七年ニ至リ其子「麥蒙德」ニ禪ル「麥蒙德」ハ有爲者ナリ九百七十年ヲ以テ生レ夙ニ大志ヲ懷キ悉ク近隣諸州ヲ取ラント欲シ九百九十九年「撒馬尼德氏」ヲ倒シ然ル後「波斯」ニ入り「ア「イード」氏」ニ迫リ千九百年ヲ以テ「イラクアゼミ」ヲ取リ「モエーズ」エドローラ「ノ後ヲ滅セリ是ニ於テ」ガス子ビード「氏」乃チ「波斯王位」ニ入り之ヲ「波斯」ノ第六王家ト爲ス其後「麥蒙德」又「印度」ヲ服從シ一大帝國ヲ創メ之ヲ「哥拉森帝國」ト謂フ四方其勢ヲ畏レサル者ナシ時ニ其地東ハ「恒施斯河」ニ至リ西ハ小亞細亞ノ「底格里河」ニ接シ西北ハ「裏海」ニ瀕シ南ハ「印度洋」ニ臨ミ其遺跡今仍ホ各所ニ散在ス是ヨリ先キ「波斯王」概シテ「亞密爾」ノ名ヲ負ヘリ「亞密爾」ハ猶ホ「統長」ト云ハムガ如シ「麥蒙德」ニ至リ自カラ稱シテ「シユルタン」ト曰フ「シユルタン」ハ帝ノ意ナリ

千二十八年「麥蒙德」セルジュキード「族」セルジュキード「ハ土耳其機斯坦」ノ酋長ニシテ「土耳其」ノ一族ナリ

ト大ニ「サンデカン」ニ戰ヒ一敗地ニ塗ル後子二年麥蒙德歿シ「ガス子ビ
 ード」氏ノ勢大ニ衰フ其後「マツスード」「モハメット」「モーゾード」第二世「マ
 ツスード」「アブールハサンアリー」「アブテルラツシード」「フエロクサード」「イ
 ブラヒーム」第三世「マツスード」「チルザード」「アルヌランシヤ」「バーランシ
 ヤ」ノ諸帝子孫相繼テ濟斯尼州中ニ治シ以テ千百五十八年ニ至ル
 時ニ「ガス子ビード」氏ノ臣「グール」國統合アラエヂント云フ者アリ「グー
 ル」府ニ在リ千百五十五年自立テ謀リ其君「カズネビード」氏ニ背キ數年
 間ニシテ殆ト波斯全部ヲ取り遂ニ千百五十八年其君「ガス子ビード」氏
 ニ迫リ既ニ戰テ大ニ之ニ勝チ「ガス子ビード」ノ末王「バーランシヤ」ヲ
 逐ヒ自ラ其族ヲ稱シテ「グーリード」ト曰ヒ嚴然一朝廷ヲ創建セリ
 「バーランシヤ」既ニ「グーリード」王ノ逐フ所ト爲リ走テ印度ノ「ラホー
 ル」ニ入り以テ其子孫ニ垂統シ其子「コスルーシヤ」孫「コスルーメリク」ニ
 及セリ千百八十九年ニ至リ「コスルーメリク」印度人ノ殺ス所ト爲リ「カ

ズ子ビード」氏終ニ復タ祀ラス

「アラエヂン」既ニ「カズ子ビード」王「バーランシヤ」ヲ逐ヒ又多ク刺客ヲ
 用ヒ近隣諸酋長ヲ殺サシメ以テ其地ヲ併スル甚タ多シ諸族皆大ニ畏
 レ幣ヲ厚クシ來テ親睦ヲ求ム是ニ於テ「カ」アラエヂンノ勢大ニ中央亞
 細亞ニ振ヒ遂ニ千二百十一年自ラ王位ニ即キ「グール」國ノ「グール」府ニ
 治シ「客布爾」「干達布爾」「哥拉森」等ノ諸州ヲ統轄セリ

千二百十三年「アラエヂン」「カリスム」入ト戰ヒ大ニ其破ル所ト爲リ「アラ
 エヂン」亦亂中ニ歿シ國土悉ク「カリスム」ノ併スル所ト爲ル「カリスム」ハ
 土耳其機斯坦ノ舊國ナリ「亞拉兒海」ノ南方「荷薩河」ノ西岸ニ跨リ「布加拉」及
 ヒ裏海ノ中間ニ在リ九百九十四年「撒馬尼德」氏ノ建ツル所ナリト云フ
 爾後強盛常ニ「プーイード」「ガス子ビード」若クハ「グーリード」ノ諸族ト爭
 ヒ千百九十三年遂ニ波斯ノ王位ニ入り千百九十七年「撒馬兒罕」ヲ取レ
 リ其後十六年實ニ千二百十三年「グーリード」王ト戰ヒ之ニ勝チ其地ヲ

併ス是ニ於テ「カリスム」ノ強前日ニ倍シ近隣諸酋長復々衡ヲ争フ者ナシ成吉汗起ルニ及ヒテ「カリスム」ノ勢大ニ屈シ遂ニ其地ヲ棄テ「カフチヤク」國ニ屬セリ

成吉汗ハ韃靼東部ノ酋長ナリ夙ニ大志ヲ懷キ千二百六年遂ニ悉ク摩哥爾ヲ取り王位ニ即ケリ爾後東掠西奪一日モ怠ラス千二百九年韃靼ヲ取り千二百十三年支那北部ヲ伐チ千二百十九年高麗ヲ從ヘ千二百二十一年「トランソグジャーヌ」ヲ併セ千二百二十二年哥拉森及ヒ「イラクアジエミー」ヲ取り千二百二十四年「カリスム」波斯東部及ヒ亞富汗斯坦全部ヲ併有セリ

千二百二十七年成吉汗歿ス四子アリ第二子「ヂアガタイ」其父ノ封地ノ一邊ヲ領シ亞富汗斯坦國乃チ「ヂアガタイ」ノ領スル所ト爲ル「ヂアガタイ」亦有爲ノ人ナリ遂ニ其名ヲ以テ其國土ニ及ホシ「ヂアガタイ」帝國ト曰フ「ヂアガタイ」ノ名今猶ホ土耳其機斯坦ノ一府ニ存ス蓋シ當時「ヂアガ

タイ」王ノ治スル所ナリ「ヂアガタイ」既ニ歿シ其子其孫相及ホシ次ニ其族「鉄木兒」ノ代ル所ト爲ル「鉄木兒」ハ成吉汗ノ孫女ノ子ナリ其父ヲ詳カニセス千三百三十六年「撒馬兒罕」ノ「ケク」府ニ生ル

千三百六十年「鉄木兒」其叔父「ケク」府令「セイフエヂン」ニ代リ「ケク」府令ト爲レリ時ニ「ヂアガタイ」帝ヲ「トグル」ク「チムール」ト云フ「ヂアガタイ」王ノ長子ナリ千三百六十三年ヲ以テ歿シ其幼子之ニ代リ「鉄木兒」嗣主ノ幼ナルヲ時トシ遂ニ其妹夫「ユツセン」ト共ニ兵ヲ起シ幼主ヲ襲ヒ悉ク其兵ヲ走ラシ遂ニ之ヲ弒シ己レノ族「ガブール」ア「グラン」ヲ以テ之ニ代ラシム「ガブール」ア「グラン」ハ庸人ナリ身王位ニ在リト雖モ僅ニ其名ヲ存スルノミ國事ハ則チ「鉄木兒」及ヒ「ユツセン」ノ手ニ決ス既ニシテ「鉄木兒」又大三「ユツセン」ト争ヒ千三百六十五年之ヲ婆革ニ圍ミ遂ニ撃テ之ヲ殺シ千三百七十年自立シテ帝ト稱セリ爾後常ニ近隣ヲ併吞スルヲテ事ト爲シ概チ中央亞細亞全部ヲ併有セリ

千四百四年鍊木兒將ニ支那ヲ討タントシテ途ニ荷薩河上ノオトラ
 ル府ニ歿ス數子アリ皆先タチ死シ獨リ幼子シヤロツクアリ明年立テ
 其父ノ後ヲ繼ク時ニ王族三十五人アリ皆共ニ立ントチ爭ヒ其國土遂
 ニ分レテ三十五國ト爲ル然レモ千四百五十九年ニ至リ諸國皆同族ユ
 ツセンベアデールノ併スル所ト爲ル是ヨリ先キ鍊木兒ノ妹夫ユツセ
 ンノ孫希拉的府中ニ在リ徵ニシテ之ヲ知ル者ナシ千四百三十八年一
 子ヲ舉ク是ヲユツセンベハテールト爲スユツセンベハテール幼ニシ
 テ大志アリ既ニ長シ身ヲ民間ニ起シ悉ク隣近諸邑ヲ取リ次ニアスト
 ラバードヲ併セ千四百五十九年ニ至リ自ラマザンデラン王ト爲リ且
 ツ哥拉森及ヒ婆革ノ諸州ヲ取リ次ニ希拉的州ニ及ヒ遂ニ波斯ノ東方
 ニ於テ一大王國ヲ建テ希拉的府ニ治セリ實ニ千四百七十年ナリ是ニ
 於テ亞富汗斯坦又ユツセン氏ノ制御スル所ト爲ル
 「ユツセンベハデール」在位四十年ニシテ千五百六年ヲ以テ歿ス年六十

八

是ノ時干達哈爾府中ミールベイスト云フ者アリ亞富汗人ノ一酋長ナ
 リ其祖ヲ詳カニセス夙ニ起テ波斯王ユツセンノ下ニ在リ其命ヲ以テ
 干達哈爾府令ト爲レリ然ルニ千七百九年ニ至リ自立ヲ謀リ復タイス
 バハシ朝ノ命ヲ奉セス且ツ屢撃テ波斯ノ兵ヲ却ケタリ

千七百十五年ミールベイス歿シ其弟ミールアダラー一名アブデル
 アジーズ入テ兄ノ後ヲ繼ク時ニミールベイスノ子蜜爾麥蒙德年既ニ
 十八ナリ人ト爲リ勇猛且ツ統御ノ才ヲ負ヒ大ニ人ノ屬望スル所ト爲
 ル千七百十六年叔父アブデルアジーズヲ弑シテ之ニ代リ自ラ稱シテ
 亞富汗王ト曰ヒ干達哈爾府ニ據リ建テ、政府ト爲シ以テ子孫紹繼ノ
 基ヲ成セリ

是ノ時ニ當テ波斯王ホツセン入ト爲リ庸昧曾テ兵事ヲ知ラス且ツ統
 御ノ才ニ乏シ是ニ於テカ國中上下相爭ヒ同等相殺シ大亂將ニ至ラン

トスルノ勢アリ密爾麥蒙徳之ヲ見テ曰ク機失フ可カラス我亞富汗斯坦
 坦廣境ノ時至レリト千七百二十二年國中無頼ノ徒ヲ集メ馳セテ波斯
 ニ入り撃テ大ニ其兵ヲ破リ遂ニ進テイスバハン府ヲ圍ム而シテ軍中
 王令復タ行ハレス上下騷擾一人ノ能ク之ヲ統御シテ以テ自ラ守禦ニ
 任スル者アルヲナシ是ニ於テ城遂ニ陥リ王ホツセン亦走り逃ル後チ
 七年麥蒙徳ノ後嗣アスクラツフノ殺ス所ト爲ル
 密爾麥蒙徳既ニイスバハン府ヲ陷レ且ツ悉ク波斯全部ヲ讐服セシメ
 遂ニ兩國ヲ併有スルヲ得自ラ波斯大王ト爲レリ而シテ未ダ幾クナラ
 スシテ大ニ病テ狂シ復タ事ヲ辨セス亞富汗人乃チ之ヲ廢シアブテル
 アチーズノ子アスクラツフヲ以テ代リ立タシム是ヨリ先キ密爾麥蒙
 徳ノアブデルアチーズヲ弑スルヤアスクラツフ常ニ之ヲ脚ミ一タヒ
 其怨ヲ密爾麥蒙徳ニ解キ以テ其父ノ仇ヲ復セント欲ス是ニ至リ遂ニ
 之ヲ殺シ以テ先志ヲ成セリ實ニ千七百二十五年ナリ

是ヨリ先キ波斯哥拉森中那爾的ト云フ者アリメスセード府ノ無頼ノ
 徒ナリ千七百二十二年波斯王ホツセンノ亞富汗軍ノ爲メニ覆ヘサル
 ヲニ及ヒ那的爾其亂ヲ時トシ俄カニ其親黨ヲ召集シ遂ニ哥拉森全部
 チ取り然ル後チ入テ將ニ王ヲ助ケントス千七百二十六年遂ニ大ニ勤
 王軍ヲ起シ千七百二十九年大ニ亞富汗軍ト戰ヒ之ヲ卻ケ遂ニイスバ
 ハン府ヲ復シホツセン王ノ子第二世タマスヲシテ位ニ即カシム是ニ
 於テ亞富汗斯坦波斯兩國全ク分離シ一ハ千達哈爾ニ治シ一ハイスバ
 ハン府ニ治ス千七百三十二年王歿シ其子アバ第三世ニ代リ立チ位ニ
 即ク年甫メテ八歳而シテ大權ハ則チ悉ク那的爾ノ手ニ在リ
 千七百三十六年アバ歿シ那的爾之ニ代リ入テ位ニ即キ稱シテ那的爾
 沙ト曰フ是ノ時ニ當テ亞富汗斯坦ノ朝ハ尙ホ波斯大半及亞富汗斯坦
 全部ヲ有シ王アスクラツフ亦勵精治ヲ圖ルト雖モ大勢大ニ變シ復タ
 前日密爾麥蒙徳ハ時ノ如キニ非ス千七百三十八年那的爾沙竊カニ利

チ以テ亞富汗斯坦不逞ノ徒ヲ招致シ然ル後チ大兵ヲ以テ俄カニ來リ
 千達哈爾ヲ圍ミ遂ニ之レヲ陷ル亞富汗人爲ス所ヲ知ラエ皆敗レ走リ
 王「アスクラツフ」亦其覆ス所ト爲リ密爾氏終ニ亾フ實ニ千七百四十年
 ナリ其後チ那的爾沙長驅直ニ客布爾州ヲ擊チ又之ヲ下シ周年ナラス
 シテ亞富汗斯坦全部ヲ併有セリ是ニ於テ亞富汗斯坦又波斯ニ屬ス已
 ニシテ那的爾沙其將亞迷德沙ア・メット・シヤヲシテ大ニ千達哈爾府ニ築カシム今日
 府中ノ城郭即チ是レナリ亞迷德沙ハ亞富汗ヂユラニ族人ナリ後チ
 六年那的爾沙歿シ波斯國乃チ四分五裂亞富汗斯坦、俾路芝斯坦ノ諸國
 皆漸ク自立セリ是ノ時ニ當テ亞迷德沙實ニ千達哈爾ニ在リ千七百四
 十七年遂ニ波斯ニ背キ千達哈爾府ニ據テ自立シ稱シテ千達哈爾王ト
 曰フ時ニ國人「ミールアスクラツフ」ノ死後其王ノ亞富汗人中ニ出ント
 チ欲スル者茲ニ久シ乃チ亞迷德沙ノ自立ヲ謀ルニ及テ國人皆雲集之
 ニ從ヒ奉シテ亞富汗斯坦王ト爲セリ是ニ於テカ亞富汗斯坦遂ニ全ク

獨立セリ

千七百五十六年亞迷德沙大兵ヲ率キ擊テ客布爾府及ヒ白沙瓦爾府駐
 在ノ摩哥爾族ノ統長ヲ逐ヒ直ニ印度河ヲ涉リアシヤ本若ヲ暴畧シ以テ大ニ
 其封土ヲ廣メタリ

後チ亞迷德沙又北進摩哥爾部落ヲ侵掠セリ然レモ遂ニ之ト和シ且ツ
 摩哥爾統長ノ姪女ヲ娶リ之ヲ其子「チムール」ニ配ス

千七百七十三年亞迷德沙歿ス在位二十六年ナリ亞迷德沙ハ居常兵馬
 ノ間ニ在リト雖モ亦能ク詩歌史學ニ通セリ

其子「チムール」代リ立ツ時ニ國勢大ニ變ス蓋シ「チムール」才能庸劣遠ク
 其父ニ及ハサルナリ

是ヨリ先キ亞富汗王居ハ常ニ千達哈爾ニ在リ因テ府中ノ繁盛近傍諸
 邑ノ及フ所ニ非ス「チムール」ノ時ニ至リ波斯ノ侵畧ヲ畏レ移テ東北客
 布爾ニ治ス是ニ於テ制令復々西南諸部落ニ行ハレス諸酋長各所ニ割

據シ昔時群雄基峙ノ時ノ如シ

千七百九十二年チムール王歿シ長子支曼位ニ即ク

是ヨリ先キ支曼大ニ回教ヲ信敬シ位ニ即クニ及テ首トシテ回教ヲ印度中ニ傳播セント欲シ大ニ其事ヲ謀ル印度太守シヨンマルコルン願ル之ヲ憂ヘ自ラ謂テ曰ク今ニシテ若シ回教ノ入ルトアラハ民心自カラ變轉シ政府ノ害蓋シ少ナカラスト因テ大ニ其豫防ニ從事シ日夜苦心シテ止マス然レモ其後チ亞富汗斯坦内訌大ニ起リ支曼王遂ニ其志ヲ成ス能ハス

時ニ先主チムールノ子尙二人アリ一チ摩哈迷德ト曰ヒ一チ「スジャール」ト曰フ實ニ皆支曼王ノ弟ナリ竊カニ非望ヲ覬覦シ走テ希拉的ニ入り據テ背叛セリ以テ兩立偏安ヲ謀ラント欲スルナリ而シテ兵多ク集マラス事遂ニ成ラス又走テ波斯ニ入ル時ニ客布爾中支曼王ノ下ニセイ「ルカフラス」汗ト云フ者アリ其族「バイルクシ」チシテ支曼王ヲ補翼セ

シメタリ因テ摩哈迷德ノ亂アルモ遂ニ能ク之ヲ治メ王位ノ安全ヲ保ツテ得タリ然ルニ其後チ支曼王新タニ宰相ヲ舉ケ其人ヲ得ス漸ク人心ノ離叛ヲ致ス「カフラス」亦叛心アルカ如シ支曼王大ニ怒リ直ニ「カフラス」ヲ誅ス是ニ於テ叛黨忽チ起リ「バイルクシ」等乃チ「ヅラケ」族ト共ニ摩哈迷德ヲ波斯ニ迎ヘ推テ謀主ト爲シ以テ客布爾府城ヲ圍ミ遂ニ支曼王ヲ弑シ且ツ其兩眼ヲ抉ルト云フ實ニ千八百二年ナリ摩哈迷德既ニ其兄支曼王ヲ弑シ遂ニ衆ノ爲メニ推戴セラレ立テ位ニ即ケリ然ルニ未タ幾クナラス「キルギース」族摩哈迷德王ノ弟「スジャール」ヲ奉シ大兵ヲ以テ急ニ來テ又摩哈迷德ヲ廢シ「スジャール」王ヲシテ代リ立タシメタリ而シテ其下又叛ク者アリ「スジャール」王亦止ルヘカラス遂ニ走テ「シーク」族ニ入レリ是ニ於テ王位又摩哈迷德ノ手ニ歸ス是ヨリ以後内憂外患共ニ至リ上下雜遝摩哈迷德亦久シク其位ヲ保ツ能ハス遂ニ逃逸セリ

千八百九年佛蘭西帝一世那破翁將軍「ガルトアンヌ」ヲ波斯ニ遣シ之ト同盟シ以テ將ニ印度ヲ侵畧セントス英國之ヲ聞キ又使テ亞富汗斯坦ニ遣シ共ニ防禦ヲ議ス是年「シーク族長」ルンゼートシング其屬地本若ヲ以テ亞富汗斯坦ニ叛キ自立シテ本若王ト爲リ稱シテ「マハラジャヤ」ト曰ヒ「ラジャヤ」ハ本若ヲ謂ヒ且ツ大ニ亞富汗斯坦ニ寇ス後チ九年本若王亦兵ヲ率テ來リ討チ亞富汗斯坦大ニ其擾ル所ト成ル

千八百二十三年宰相「フツテ」汗亂ヲ謀リ事輒チ發覺シ太子「カラン」執フル所ト爲リ兩眼ヲ抉ラレテ死刑ニ處セラレ「フツテ」汗ハ「セイルカ」フラスノ同族ナリ是ヨリ先キ「カフラス」ニ摩哈迷德ノ殺ス所ト爲リ是ニ至リ「フツテ」亦堪蘭ノ殺ス所ト爲ルカ故ニ同族「バイルクシー」等大ニ憤激シ相共ニ必ス其怨ヲ報セント盟ヒ遂ニ「スジャヤ」王ヲ本若ニ迎ヘ推テ主ト爲シ以テ摩哈迷德ヲ逐フ摩哈迷德拒ク能ハス太子堪蘭ト共ニ走テ希拉的ニ入り幾クモナク歿シ堪蘭之ヲ繼ク實ニ千八百

十九年ナリ

「スジャヤ」王既ニ摩哈迷德ヲ逐ヒ又俄ニ「バイルクシー」等ト争フ「ア」終ニ復祚スル能ハス走テ印度ニ入ル乃チ王位ハ「フツテ」汗ノ弟「德斯」的摩哈迷德ノ占ムル所ト爲ル蓋シ「バイルクシー」等ノ推戴スル所ナリ是ノ時ニ當テ「德斯」的摩哈迷德ノ同族威望最モ盛ニ兄弟三人皆自立シテ王ト爲リ以テ封土ヲ分割ス長兄摩哈迷德汗ハ白沙瓦爾ニ據リ以テ本若王「ルンゼートシング」ニ依リ其次ハ「濟斯尼」ニ據リ末弟「德斯」的摩哈迷德ハ威權尤モ強ク乃チ客布爾ニ都シ稱シテ亞富汗王ト曰ヒ以テ四方ニ號令セリ

千八百三十五年英國急ニ其大佐「亞歷山德不倫」ヲ公使ト爲シ客布爾ニ遣シ同盟ノ事ヲ議セシム然ルニ「德斯」的輒ク之ヲ聽カス答フルニ「曖昧」ノ語ヲ以テシ盟約ハ之ヲ受クルモ其意ハ則チ未タ決セサル者ノ如シ蓋シ時ニ本若王「ルンゼートシング」竊ニ印度政府ニ與ミシ以テ亞國ヲ

圖ルノ色アルヲ以テナリ

其後三年實ニ千八百三十八年魯國俄カニ波斯ヲ援ケ希拉的ヲ圍ミ且ツ共ニ使ヲ客布爾ニ遣シ德斯的王ニ迫リ同盟ノ事ヲ議セシム王遂ニ意ヲ決シ魯波連衛軍ト盟ヒ而シテ英使ヲ辭ス英使直ニ客布爾ヲ去リ還テ印度太守「オー克蘭ド」ニ報ス「オー克蘭ド」之ヲ聞キ大ニ德斯的ノ不信ヲ怒リ將ニ以テ德斯的ヲ廢シ先主「スジャヤ」王ヲシテ其位ヲ復セシメ以テ信ヲ亞國ニ結ハント欲シ遂ニ其書記官「マクナフテン」ト謀リ急ニ大ニ兵ヲ徵シ「ストレンジユ」河岸ニ會セシメ將軍「ジヨンキーン」ヲシテ之ヲ督セシム將官「ノット」及ヒ大佐「ウエード」「コットン」等又之ニ從フ「オー克蘭ド」又人ヲシテ本若王家ト盟ヒ道ヲ其國中ニ假リ且ツ大兵經過ノ需用ヲ供給セシメ且ツ亞歷山德不倫ヲ以テ遣亞公使ト爲シ「マクナフテン」ヲ以テ遣亞諸軍事務長ト爲シ諸軍ト共ニ發セシム「既ニシテ魯波聯合軍希拉的ノ圍ヲ解キ去レリ蓋シ英印軍ト戰フヲ欲

セサル者カ然ルニ英印軍猶解カサルノミナラス遂ニ西進セリ而シテ本若前約ニ背キ曾テ道路ノ備ヲ爲ス「ナシ」是ニ於テ英印軍其道ヲ轉セサルヲ得ス十二月遂ニ進ンテ信德ニ向ヒ且ツ將ニ「スジャヤ」王ヲシテ自封セシメントス時ニ英印軍一萬二千從屬四千「スジャヤ」王ノ手兵數百人ト爲ス其英印軍一萬二千ハ孟加拉軍及ヒ孟買軍ナリト云フ千八百三十九年二月二十日英印軍印度河ヲ涉リ俾路芝斯坦ヨリ迂廻シ以テ將ニ「干達哈爾」ニ向ハントシ三月總軍信德ノ「シカルプール」府ニ至リ建テ本營ト爲シ且ツ信德ノ亞密爾ヲシテ悉ク糧食ヲ備ヘシメタリ

既ニシテ總軍將ニ發セントシ孟加拉軍九千五百人別將「コットン」ノ率ユル所ト爲リ先ツ發シ布蘭峽ニ入レリ峽ハ亞富汗斯坦俾路芝斯坦ノ境上ニ在リ道路迂回峻嶮巉巖左右ニ聳峙シ長サ六十六里其艱險蓋シ近傍諸峽ノ比ニ非ス因テ輜重車輛ノ運轉極メテ難ク總軍糧食秣藭概

子皆繼カス之ニ加フルニ飲水亦甚タ乏ク人畜ノ斃ル、者日ニ十ヲ以テ數フ三月六日一軍僅ニ峽麓ノ「タドル」府ニ達ス而シテ糧食未タ全ク繼カス皆其半ヲ給シ又北進シテ幾陀府ニ向ヘリ時ニ幾陀府中糧粟多カラス諸兵ノ供給尙ホ豐ナル能ハス上下皆飢渴ヲ忍ヒ又發シテ干達哈爾ニ向フ干達哈爾ハ百五十里外ニ在リ是ノ時諸軍ノ獨リ幸トスル所ハ道路概子梗塞セス曾テ國人ノ拒ク者ナキナリ蓋シ是ヨリ先キ德斯的王英印軍ノ將ニ本若ヨリ白沙瓦爾ニ向ハントスルヲ聞キ急ニ其子「アクバル」汗ヲシテ大兵ヲ以テ「キーベル」峽路ニ備ヘシメシモ干達哈爾道ハ則チ曾テ之ヲ虞ラサリシナリ

四月七日總軍「コシヤアムラン」山ニ達シ「コジヤク」峽ニ入ル是地亦亞富汗軍ノ防ク者ナキヲ以テ其二十五日干達哈爾府ニ達ス其孟買軍及ヒ「スジャ」王ノ手兵ハ四月十二日ヲ以テ始メテ布蘭峽ニ入レリ其伍卒ノ疲勞糧水ノ缺乏ハ蓋シ又甚タシキヲ加ヘ沿途ノ蠻族又屢出テ掠奪

セリ

是ノ時ニ當テ干達哈爾府ハ亞富汗斯坦王族ノ居住タリ其下若干ノ兵團アリ而シテ英印軍ノ迫ルヲ聞キ皆未タ戰ハスシテ散ス英印軍乃チ事ナクシテ府中ニ入り淹滯二月ノ後チ將軍「ジナンキーン」ハ別將「ノツト」チシテ一旅團ヲ率キ府中ニ駐リ守ラシメ然ル後チ六月一日總軍遂ニ北進「カズニ」府ニ向ヘリ「カズニ」ハ當時稱シテ亞國ノ堅城ト爲ス守兵亦甚タ孱羸ナラス而シテ英印軍ノ來ルヤ城中背叛スル者アリ英軍ニ降り謂テ曰ク當城ノ堅牢國中第一ト爲ス然レモ獨リ客布爾門客布爾ノ北門ナリ即チ客布城壁未タ全カラス若シ之ヲ攻メハ則チ必ス難キ爾道路ニ在ル者ナリ城壁未タ全カラス若シ之ヲ攻メハ則チ必ス難キ「ナカル」ヘシト英印軍乃チ急ニ客布爾門ヲ攻メ七月二十二日之ヲ陷ル是ヨリ先キ英印ノ別軍大佐「ウエード」率ユル所ト爲リ白沙瓦爾ニ在リ七月干達哈爾ノ陷ルヲ聞キ亦進テ「キーベル」峽路ニ向ヘリ守將太子「アクバル」汗自ラ「アリムスジット」ノ砦ヲ守リ別將ヲシテ砦外各所ノ

險要ヲ扼セシメ以テ「ウエード」ノ至ルヲ待テリ是月二十二日「ウエード」其歩兵ヲ砦外ノ高陵ニ出シ巨砲ヲ以テ之ニ應援シ以テ大ニ諸砦ヲ攻ム守兵拒ク不能ハス辟易走り逃ル而シテ「アクバル」汗尙大ニ敵兵ヲ防退セント欲シ敗兵ヲ召集セリ會濟斯尼府亦陷リ京城甚々急ナリト聞キ且ツ戰ヒ且ツ退キ遂ニ客布爾府ニ入り將ニ以テ其父ト共ニ防禦ニ從事セント欲ス而シテ兵衆概子皆既ニ散シ事復タ爲スヘカラス王乃チ城門ヲ開キ悉ク其殘兵ヲ散シ「アクバル」汗ト共ニ荷薩河外ニ遁逃セリ是ニ於テ英印軍亦進ミ客布爾府城遂ニ八月六日ヲ以テ其占ムル所ト爲ル「スジャール」王明日ヲ以テ府中ニ入り英印軍ノ勸ヲ以テ立テ其位ヲ復セリ

是ノ時ニ當テ國中兵亂既ニ久シク政府亦屢興廢スルカ故ニ國庫既ニ空乏王室費亦給スヘカラス况ヤ養兵費ノ如キ復タ國中ニ取ルヘキナシ是ニ於テ「スジャール」王ノ諸用ヨリ以テ政府ノ諸費及ヒ軍資ニ至ルマ

テ皆之ヲ印度政府ニ仰カサルヲ得ス印度政府ノ支出蓋シ尠少ナラサルナリ因テ「マクナフテン」將軍「ジョンキーン」亞歷山德不倫等ト相謀リ漸ク麾下ノ諸兵ヲ減シ之ヲ印度ニ送還セリ時ニ國中未タ全ク平定セス國人等他州異教ノ人民ニ臣屬スルヲ欲セス常ニ各所ニ蜂起シ叛亂止ム時ナシ英印軍爲メニ一日モ戎衣ヲ脱スルノ暇ナシ然リト雖「マクナフテン」等一モ之ヲ意トセス以テ亞富汗人ノ常ト爲シ且ツ屢書ヲ印度政府ニ送テ其無事ヲ報道セリ

千八百四十年十月德斯的王出テ英軍ニ降ル英軍之ヲ印度ニ護送セリ初メ德斯的ノ客布爾府ヲ脱スルヤ各所ニ奔竄シ以テ英印軍ノ退クヲ待テリ然ルニ其「スジャール」王ヲシテ位ヲ復セシメ以テ之ヲ奉スルト聞キ乃チ復タ爲スヘカラサルヲ知り遂ニ出テ降ル

是ノ時ニ當テ客布爾ノ朝萬機ヲ裁制シ四方ニ號令スル者其名ハ「スジャール」王ヲ以テスルモ其實ハ則チ「マクナフテン」之ヲ專ラニセリ亞歷山

德不倫大ニ之ヲ喜ハス其下ニ在ルヲ欲セサルノ色アリ不倫ハ印度政
 府ノ宿將ナリ英政府ノ其威ヲ中央亞細亞ニ逞フセシハ則チ不倫ノ功
 多キニ居ル是ニ於テ衆亦之ニ從フ者多ク二重臣ノ不和蓋シ將ニ益大
 ナラントス英印軍督將「ジョンキーン」亦其官ヲ辭シ別將「エルフィンズ
 トーン」之ニ代レリ時ニ各所ノ土寇愈多ク「ヘルチ」族ノ人種亦大ニ起リ
 首トシテ英國派出理事官ヲ殺ス是ノ時「德斯的王」ノ子「アクバル」汗布加
 ラニ在リ側ニ英將ノ不和ヲ聞キ亦來リ至ル而シテ英印軍ハ則チ孤立
 シテ府中ニ在リ他ニ援軍ナク白沙瓦爾道上亦後繼ナシ之ニ加フルニ
 客布爾ヨリ印度道上英領ノ初驛「フヒロスプール」ハ殆ト千「ウォルスト」
 我二百五十里許外ニ在リ而シテ亂黨ハ「アクバル」汗ヲ得ルノ故ニ勢益猖獗遂
 ニ進テ「クルドカブール」ニ至ル客布爾府中漸ク動搖セリ
 時ニ英印軍悉ク「チャリカール」府ノ壘中ニ在リ總督「エルフィンズトーン」
 ハ性柔弱ニシテ年又老タリ大兵指揮ノ任ニ乏シク且ツ畫策ノ才ヲ有

セズ其守ル所ノ壘壁甚タ廣大ニシテ初メ英印軍ノ減少セサル時モ亦
 之ヲ守ルニ足ラス之ニ加フルニ壘壁低薄墮濠淺狹騎シテ能ク之ヲ越
 ヲヘシ其地位ハ則チ四面丘陵ノ圍ム所ト爲リ壘ト丘陵トノ間恰モ小
 銃射距離ナリ糧食器械若クハ軍醫部ノ器械藥劑等ニ至ルマテ皆他壘
 ニ在テ其間懸隔シ且ツ中ニ英軍ノ守ラサル堡砦アリ來往甚タ便ナラ
 ス若シ是ノ時「エルフィンズトーン」移テ「バラビツサル」城ヲ守ラハ縱
 ヒ百萬ノ峰起アルモ未タ意トスルニ足ラサルナリ蓋シ「バラビツサ
 ル」城ハ客布爾ノ堅城ニシテ其壘壁ヨリ地位運輸ノ便ニ至ルマテ國中
 之ニ勝ル者ナク且ツ冬季ノ籠城尤モ其適スル所ナリト云フ惜イ哉將
 軍「エルフィンズトーン」之ヲ知ラス遂ニ大事ヲ誤マレリ
 是ヨリ先キ客布爾政府ノ諸費「スジャ」王ノ衣食ヨリシテ諸官諸軍ノ
 資若クハ各所爭亂鎮壓ノ雜費ニ至ルマテ皆之ヲ印度政府ニ仰ク者既
 ニ前ニ記スルカ如シ其費ス所歲額百二十五萬磅ノ巨額ニ至ル印度政

府乃チ其久シクスヘカヲサルノ意チ客布爾派出宰相「マクナフテン」ニ致セリ「マクナフテン」乃チ他ニ爲ス可キノ事ナキヲ以テ遂ニ國中諸官ノ俸給ヲ減殺セリ其命ノ達スルヤ叛亂即チ起リ直ニ國中四邊ニ及ヒ上下雜還復タ治ムヘカラサルカ如シ實ニ千八百四十一年十一月一日ナリ

是日叛黨首トシテ亞歷山德不倫ノ邸ヲ襲ヒ立ロニ之ヲ殺ス而シテ將軍「エリフィンスト」ヲ殺シテ之ヲ鎮壓セス徒手傍觀セリ是ニ於テ兇暴忽チ蔓延シ各所ノ慘毒勝ケテ言フ可カラス而シテ將軍仍ホ「バラビツサ」ニ入ルヲ知ラス僅ニ二三中隊ヲシテ其鎮壓ニ從事セシム衆寡固ヨリ敵セス直ニ亂軍ノ塵盡スル所ト爲ル印度政府乃チ其將「セール」ヲシテ兵一旅團ヲ率キ赴援セシム

十一月三日亞富汗軍遂ニ客布爾府近傍ノ數壘ヲ陷レ同月九日又英印軍糧食ヲ貯フルノ砦ヲ襲ヘリ時ニ砦中兵僅ニ八十ノミ又本壘ト懸隔

ス故ニ遂ニ陥リ糧資皆亞富汗軍ノ奪フ所ト爲ル是ニ於テ英印軍糧食ヲ失ヒ飢寒ニ苦ミ防戰ノ術ヲ知ラス事復タ爲スヘカラス「マクナフテン」之ヲ憤ルモ事將軍ノ失策ニ出ルカ故ニ之ヲ如何ニスル能ハス遂ニ講和ヲ議セント欲シ之ヲ亞富汗軍ニ報ス

十一月二十日亞英二軍各其主任官ヲ會合シ以テ英印軍退散ノ事ヲ商議セシム乃チ英印軍ヨリ「マクナフテン」ヲ遣ハセリ「アクバル」汗竊カニ人ヲシテ之ヲ銃殺セシム因テ會盟ノ事成ラス延テ明年ニ至ル時ニ客布爾中寒氣既ニ甚タシク積雪山野ニ充滿シ英印軍皆其苦寒ニ堪ユル能ハス全軍皆將ニ自ラ斃レントス而シテ千八百四十二年一月一日盟約終ニ成ル英印軍乃チ三十三萬磅ヲ出シ以テ直ニ悉ク其軍ヲ退クルヲ約セリ亞富汗軍英軍ニ糧食及ヒ馱馬ヲ送り且ツ其歸路ヲ保護セシテ約セリ一月五日英印軍金十九萬磅證券十四萬磅ヲ亞富汗軍ニ致シ然ル後チ客布爾府ヲ發セリ事干達哈爾駐在將軍「ソット」ニ達スノツ

ト乃チ亦其兵ヲ率平退キ去レリ客布爾中寒氣益酷烈冰雪道ニ滿チ英軍將ニ去ラントシテ士卒皆凍飢シ或ハ指ヲ墮スニ至ル卒伍紛亂上下雜沓軍紀號令一モ行ハル、所ナク器械什具ハ皆之ヲ道路ニ委棄シ其銃ヲ携フル者僅ニ百餘人ノミ路^{グルブル}府東方ノ峽路ニ入ル蠻族山谷ニ起リテ之ヲ遮リ其掠奪暴殺ヲ擅ニシ英兵一日ニ死スル者三千人許其後チ英印軍又土寇ト各所ニ戰ヒ一軍皆斃レントシテ身ヲ全フシテ以テ峽路ヲ度ル者僅ニ二百餘人は月十三日シヤグダラツク峽路ニ至ル土寇又起リ二百餘人亦皆戰死シ其逃レテ日拉刺巴德ニ達スルヲ得ル者獨リ軍醫「ブライトン」一人ノミ

時ニ英將軍「セール」日拉刺巴德ヲ守レリ是ヨリ先キ「セール」客布爾府中ニ入ラント欲シ途チ日拉刺巴德ニ達スルヤ府中ノ兵既ニ大ニ敗レシ後ナルカ故ニ留テ是地ヲ守リ以テ敗兵ノ還ルヲ待ツ軍醫ノ還ルニ至テ其景況ヲ審ニシ或ハ亞富汗軍ノ來ルヲアラシムテ慮リ大ニ守禦ノ計

ヲ爲ス時ニ白沙瓦爾近傍屯在ノ英印軍ハ先ノ凶報ヲ聞キ直ニ皆白沙瓦爾ニ集合シ將ニ以テ客布爾府屯在軍ヲ救ハントス而シテ軍中病ム者多ク事未タ果サス

三月白沙瓦爾守將々軍「ボロク」集合軍ヲ率キ將ニ日拉刺巴德守將「セール」ニ合セントシ進テ「キーベル」峽ヲ度レリ是ヨリ先キ亞富汗軍ハ其山中蠻族ノ英印軍ト戰フヲ聞キ以テ英印軍ノ其約ヲ破ルト爲シ乃チ直ニ大兵ヲ以テ日拉刺巴德ヲ攻メタリ然レモ將軍「セール」敢テ屈セス專ラ之ヲ拒ク將軍「ボロク」來リ合スルニ及テ亞軍遂ニ退散セリ

印度太守「オークランド」ニ代リ來ル者ヲ「エーレンボロー」ト曰フ自ラ以爲ラク今ニシテ妄リニ兵ヲ亞富汗斯坦ニ出スハ其利ヲ見スト遂ニ人ヲシテ日拉刺巴德屯在ノ諸兵ヲ召還セシム然ルニ「セール」「ボロク」等皆輜重缺乏輒ク動クヘカラサルヲ以テ口實ト爲シ且ツ退去ノ不利ヲ陳シテ命ヲ奉セス其後七月ニ至リ輿論遂ニ亞富汗斯坦ヲ擊テ前恥ヲ雪

キ且ツ前役死に者ノ怨ヲ報ヒント欲スルニ歸シ太守亦之ヲ拒ム能ハ
 ス遂ニ開戦ヲ約ス
 事既ニ決シ太守乃チ自ラ進軍部署ヲ定メ日拉刺巴德干達哈爾ヲ以テ
 進路ト爲シ大將ノツトヲ以テ干達哈爾道指揮官ト爲シ大將ボロックヲ
 以テ日拉刺巴德道指揮官ト爲セリ
 「ボロック」八月二十日ヲ以テ發シ二十三日大ニ亞富汗軍ト「グンダモック」
 ニ戦ヒ悉ク之ヲ破リ且ツ暫ク滯軍セリ
 九月八日「ジャグダラック」ニ達シ十三日「テジン」河ニ至リ又大ニ戦ヒ十
 五日遂ニ客布爾府外ニ達セリ
 大將ノツトハ八月二十七日ヲ以テ干達哈爾ヲ發シ且ツ進ミ且ツ戦ヒ
 毎ニ亞富汗軍ヲ破リ是月三十日遂ニ濟斯尼城外ニ達ス守兵大軍ノ至
 ルヲ見皆將ニ守ヲ棄テ戦ハスシテ走リ逃レントス英印軍乃チ機ニ乘
 シ之ヲ攻メ大ニ守兵ヲ破リ九月六日遂ニ之ヲ陷ル

其後英印軍又進ミ大ニ亞富汗軍ヲ「アイダケール」ノ險ニ破リ九月十七
 日遂ニ客布爾府外ニ達シ直ニ「ボロック」ノ軍ト聯絡セリ
 是ヨリ先キ亞富汗軍蜂起ノ日「スジャヤ」王其下ノ弑スル所ト爲リ太子
 「フテージユング」之ニ代リ立テ位ニ即ケリ然レモ僅ニ其名ヲ存スルノ
 ミニシテ府内常ニ騷擾諸首長相凌キ德斯的ノ子「アグバル」汗亦逃レ走
 リ政府ハ有レモ無キカ如シ
 既ニシテ二道ノ英印軍相合スルヤ直ニ攻テ府内ニ入り悉ク亞富汗軍
 ヲ暴殺シ府街ヲ蹂躪シ市場ヲ破毀シ掠奪ヲ擅ニシ遂ニ印度太守ノ命
 ヲ以テ王「フテージユング」ヲ廢シ且ツ「アグバル」汗ヲ求メ執ヘ遂ニ之ヲ
 殺セリ
 十月十二日兩軍客布爾ヲ發シ印度ニ凱旋セリ廢王「フテージユング」亦
 其誘ヒ去ル所ト爲ル
 印度政府既ニ亞富汗斯坦ノ事ヲ畢ヘ其王位ノ空シキヲ以テ乃チ德斯

的ヲ送還セリ^ト德斯的乃チ明年千八百四十三年ヲ以テ其位ニ復ス
 千八百四十六年德斯的又「シーク」人ト合シ再ヒ印度政府ニ抗敵シ千八
 百四十九年ニ至リ大ニ英軍ト「ダーゼーラット」ニ戰ヒ大ニ敗レ殘兵一
 萬六千人ヲ率テ退キ歸リ復タ共ニ衡ヲ爭ハサラント欲ス其後チ王遂
 ニ英印軍ト講和シ復タ抗敵ノ色アルコトナク專ラ其兵ヲ北出シ以テ土
 耳機斯坦ノ事ヲ謀レリ蓋シ婆莖「クンヅーズ」「アクチヤ」及ヒ「クルム」ノ諸
 部落皆德斯的ノ時ヲ以テ亞國ニ入ルト云フ
 千八百五十七年印度西方ノ諸郡印度政府ニ背叛セリ亞富汗王德斯的
 急ニ大兵ヲ出シ印度政府ノ命ヲ聽キ以テ叛亂鎮撫ニ從事ス是レ亦以
 テ德斯的ノ印度政府ニ抗スルノ意ナキヲ見ルヘキナリ然リト雖モ是
 レ亦其因テ來ル所ナキニ非ス德斯的王ノ子「アジーム」汗ト云フ者アリ
 「アクバル」汗ノ弟ナリ哥爾摩「コスト」地方ノ境界ヲ守レリ因テ英國官吏
 下親ミ好シ「アジーム」汗亦大ニ英國ヲ喜ヒ常ニ之ト聯合ヲ約センコトヲ

欲セリ是レ是年亞富汗斯坦ノ印度政府ノ爲メニ出兵スル所以ナリ是
 ヨリ後チ亞英二國甚タ睦シク千八百五十八年印度太守遂ニ毎年金十
 二萬磅兵一萬八千ヲ亞富汗斯坦ニ致シ以テ其救援ヲ爲サンコトヲ約ス
 是レ當時魯國ノ版圖漸ク興都哥士山ニ接近スルヲ見テ英國大ニ猜忌
 ノ情ヲ起シ乃チ亞富汗斯坦ヲ以テ印度ノ藩屏ニ充テント欲スルナリ
 千八百六十三年德斯的王位ヲ其子「シルアリー」汗ニ禪リ去テ希拉的ニ
 老シ後チ幾クモナク歿ス

初メ德斯的王十六子アリ其四子チ「アクバル」汗「アブッル」汗「シルアリー」
 汗「アジーム」汗ト爲ス皆尤モ著名ナル者ナリ三子皆元妃ノ出ニシテ「シ
 ルアリー」汗獨リ庶妃ノ所生ナリ夫レ長幼ノ順ヲ以テスルモ「アクバル」
 汗已ニ在ラサルノ故ヲ以テ「アブッル」汗當ニ立テ德斯的ノ後ヲ襲クヘ
 キナリ况ヤ其母ノ故アルニ於テチヤ然ルニ德斯的尤モ「シルアリー」汗
 ヲ愛シ終ニ立テ已レシ後ト爲セリ

「シルアリー汗既ニ其父ニ代リ亞密爾ト爲リ頗リニ英國ヲ喜ハス印度太守ソルシヨンローレンス亦夙ニ其意ヲ知り且ツ「シルアリー」ハ德斯的十六子ノ中尤モ其喜ハサル所ナリト雖モ然レモ其父ノ撰テ以テ緒嗣ト爲シ遂ニ之ニ禪位スル所ナルノ故ニ敢テ其登位ヲ拒マス然レモ是ニ至リ爾後其補助金十二萬磅及ヒ兵一萬八千ヲ送致スルヲ廢セリ「シルアリー」王乃チ大ニ印度政府ヲ恨ム

千八百六十四年「シルアリー」王其第二子「ヤクブ」汗ヲ以テ希拉的王ト爲セリ

是ノ時ニ當リ「アブツル」汗ノ一子「アブドルラーメン」ト云フ幼ニシテ大志アリ居常王位ノ「アブツル」汗ニ入り然ル後チ己レニ及ハント期セリ而シテ其事成ラス「アブツル」汗「シルアリー」汗ノ爲メニ先タ、ル、ニ及テ「アブドルラーメン」大ニ之ヲ喜ハス遂ニ其父「アブツル」汗及ヒ叔父「アシム」汗ニ勸メ共ニ反テ謀ラシム時ニ國中二人ノ威望甚タ盛ニ

シテ兵モ亦多シ遂ニ「アブドルラーメン」ノ勸ニ因リ終ニ兵ヲ起シ且ツ布加拉王ノ救助ヲ藉リ其勢甚タ振ハリ

千八百六十五年「アブツル」汗俄ニ「シルアリー」王ノ下ノ執フル所ト爲リ客布爾府中ニ囚ヘラル「アブドルラーメン」之ヲ見急ニ走テ土耳其斯坦ニ入り大ニ兵ヲ募リ以テ直ニ來テ客布爾府ニ入レリ「シルアリー」王亦急ニ大兵ヲ發シ其長子「フキースモハメット」アリ「汗」シテ之ヲ督セシメ以テ賊ヲシエカパットニ拒カシム而シテ每戰賊ノ爲メニ破ラレ「フキースモハメット」亦之ニ死シ事復タ爲スヘキナキノ故ニ「シルアリー」王遂ニ走リ一タヒ布拉的ニ入り且ツ干達哈爾首長ト意ヲ通シ以テ後圖ヲ爲セリ

「アブドルラーメン」既ニ「シルアリー」ヲ追ヒ乃チ其父「アブツル」汗ヲ獄ヨリ出シ終ニ客布爾王ノ位ニ即カシメ且ツ之ヲ印度政府ニ報ス印度太守「ローレンス」「シルアリー」王ハ固ヨリ其喜ハサル所ナルカ故ニ乃チ「ア

「アブツル」汗ノ登位ヲ承諾セリ「シルアリー」之ヲ聞キ又大ニ印度政府ヲ恨ム
 「アブツル」汗ハ庸人ナリ曾テ大國ニ君タルノ度ナシ其子「アブドルラー
 メン」ヲ推戴スル所ト爲ルト雖モ自ラ其國事ヲ裁制スルヲ知ラス是
 ニ於テカ人心漸ク播離シ皆先君「シルアリー」ヲ慕ヘリ「シルアリー」之ヲ
 聞キ乃チ千八百六十七年二月兵ヲ出シテ舊業ヲ復セン「アブツル」汗ニ
 大ニ敗レテ退ク既ニシテ「アジーム」汗亦客布爾ニ入り「アブツル」汗ニ
 合ス因テ「アブツル」汗大權ヲ舉ケ之ヲ「アジーム」汗ニ委ス是ニ於テ「アジ
 ーム」汗其姪「アブドルラーメン」ト共ニ「アブツル」汗ヲ翼賛シ以テ國事
 ヲ謀リ且ツ英國ト聯合同盟セント欲ス是レ蓋シ曩ノ「アジーム」汗ノ志
 ヲ成スナリ遂ニ書ヲ印度政府ニ送り以テ其意ヲ述ヘ且ツ曰ク英國若
 シ今ニシテ亞國ト聯合セスシハ則チ魯國必ス來テ職合ヲ亞國ニ促サ
 シ是レ英國ノ尤モ不利ナル所ナリト然レモ印度太守「ソルジヨンロー」

レンス答テ曰ク聯合固ヨリ之ヲ辭セスト雖モ然レモ今日ニ在テ余未
 タ亞國王ヲ見ス曩ニ「シルアリー」氏走テ希拉的ニ入り「アブツル」氏之ニ
 代ルヲ聞クト雖モ希拉的、干達哈爾二州ハ猶先主ノ手ニ在リ然ラハ則
 チ「シルアリー」氏ハ二州ノ亞密爾ナリ未タ亞國一統ノ亞密爾アルヲ見
 ス因テ余誰ト職合スヘキヤヲ知ラスト「アジーム」汗等乃チ亦大ニ印度
 政府ヲ恨ム初メ印度太守深ク「シルアリー」ヲ好マス而シテ今ハ則チ其
 答フル所是ノ如シ是レ蓋シ亦爲ニスル所アルカ
 印度政府是ヨリ先キ既ニ「シルアリー」汗ノ恨ム所ト爲リ是ニ至リ又「ア
 ジーム」汗ノ怨ヲ招ク人乃チ以テ印度政府大ニ外政ヲ失スト爲ス若シ
 夫レ「ソルジヨンロー」レンス能ク「シルアリー」王ト親ミ之ヲ助ケ以テ其
 兄弟叛亂ヲ制遏セシメハ則チ英國ノ利益蓋シ焉ヨリ大ナルハ莫カルヘ
 シ千八百七十八年ノ變亂亦或ハ之ヲ招ク「ナカランカ」
 既ニシテ「アブドルラーメン」又屢「アジーム」汗ト權ヲ爭ヒ互ニ其私兵ヲ

以テ客布爾府中ニ戰ヘリ府内騷擾人心恟々タリシルアリー王之ヲ聞
 キ以テ宜シク乗スヘキノ時ト爲シ其股肱ノ將ヲシテ一大軍ヲ以テ亦
 京師ヲ攻メシムアブドルラーメン乃チ假ニアシーム汗ト和シ以テ專
 ラシアアリー王ノ兵ヲ禦キ一時其兵敗レ退クト雖是年九月遂ニシル
 アリー王ノ兵ヲ破リ卻ケタリ
 是年十月アブツル汗死シアシーム汗嗣キ立ツ諸兵皆之ニ從ヒ印度政
 府亦其深ク交ル所ナルカ故ニ輒ク其即位ヲ聽承セリ而シテアブドル
 ラーメンノ下モ其兵漸ク散シ復タ爲スヘキナク遂ニ走テ又土耳其機斯
 坦ニ入レリ
 其後アブドルラーメン機法ニ入り土耳其曼人及ヒ魯細亞人ト通シ以
 テ頻リニ亞國ヲ擾亂セント欲セリ千八百七十年五月遂ニ撒馬兒罕ニ
 入り哀ヲ守將魯國中將考甫曼ニ請ヒ己レヲ助ケ以テ亞國ヲ擊チ且ツ
 之レヲ聖彼得堡ニ告訴セント請ヘリ而シテ中將考甫曼未タ輒ク其請

ヲ聽カズ是ノ時ニ當テアブドルラーメンノ威勢既ニ大ニ衰ヘ復タ六
 年前其父ノ爲メニ大兵ヲ以テ客布爾府内ニ出沒シ亞富汗斯坦大半ノ
 人心ヲ收メ得タル時ノ如キニ非ス
 是ヨリ先キシルアリー王ハ希拉的ニ在リアブドルラーメン土耳其機斯
 坦ニ入ルト聞キ乃チ千八百六十八年五月其業ヲ復セント欲シヤグブ
 汗ヲシテ大兵ヲ以テ先ツ發セシメ六月其第三子イブライム汗ヲ留メ
 テ希拉的ヲ守ラシメ以テ自ラ繼キ進ミ父子共ニ一タヒ干達哈爾ニ入
 レリ

其後チ王又ヤグブ汗ト共ニ兵ヲ率テ干達哈爾ヲ發シ九月客布爾ニ入
 リ擊テアシーム汗ヲ走ラシ遂ニ其位ヲ復シ又悉クアシーム汗ノ黨ヲ
 討平セリ

千八百六十九年ヤグブ汗ヲ以テ客布爾知事ト爲ス
 初メシルアリー王四子アリ長チマホメットアリー汗ト爲シニチヤク

「汗」ト爲シ三「イブラヒム」ト爲シ四「アブドラジヤン」ト曰フ「マホ
メツトアリ」汗ハ性頗ル驍勇ナリ是ヨリ先キ諸叔ノ亂ヲ爲スニ當リ
客布爾城外ニ於テ單騎賊將トカツ「峽」ニ戰ヒ奮勇激鬪三タヒ賊將ヲ傷
ツケルモ終ニ力盡キ其殺ス所ト爲ル王大ニ之ヲ愛惜シ快々樂マサル
ト數日

「ヤクブ」汗ハ千八百四十九年ヲ以テ生レ睿才勇膽人皆大ニ望ヲ屬セリ
千八百六十二年「ヤクブ」汗年甫メテ十四ナリ匈牙利ノ僧「アルミニユス
ワムベ」ト云フ者來レリ「ヤクブ」汗之ヲ見テ共ニ談シ大ニ其雄辨ニ服
セリ僧亦深ク「ヤクブ」汗ヲ喜ヒ退テ人ニ謂テ曰ク余未タ性質純良且ツ
大ニ他日ニ望ミアルノ童子「ヤクブ」汗ノ如キヲ見スト是ヲ「ヤクブ」汗カ
名ヲ顯ハスノ始ト爲ス後チ二年立テ希拉的王ト爲ル號令嚴明人皆其
偉畧ニ服ス其叔父「アブツル」汗等亂ヲ作シ其父走テ希拉的ニ入ルニ及
テ「ヤクブ」汗其嫡母ト共ニ常ニ「シルアリ」ヲ翼賛シ其復業ヲ謀リ一日

モ急ル「ナシ」千八百六十八年九月其父ト共ニ千達哈爾ニ入リ然ル後
チ客布爾ヲ陷ル「ヤクブ」汗年甫メテ十九ナリ蓋シ「シルアリ」汗ハ
威名ヲ恢復シ再ヒ鴻業ヲ維持スル「ナシ」得ル者ハ則チ「ヤクブ」汗ノ功多
キニ居ル

「イブラヒム」ハ史中其事ヲ詳カニセス
「アブドラジヤン」ハ千八百五十九年ヲ以テ客布爾府中ニ生ル母ハ「華拉
州ノ總督」ミール「アブツル」汗ノ女ナリ女ノ性勇ニシテ義ヲ好メリ「シル
アリ」ノ復業ニ當テヤ常ニ「ヤクブ」汗ト心ヲ協セ以テ其夫ヲ補翼セリ
是ノ時ニ當テ「シルアリ」ハ既ニ其位ニ在ラス希拉的ニ越在シ浮浪ノ
徒ニ過キス而シテ能ク兵ヲ擧ケ且ツ其終ニ軍資ニ乏カラサルハ「ヤク
ブ」汗ノ能ク其下ノ心ヲ攬收シ以テ之ニ從フト妃ノ巨金ヲ其父家ニ取
ルトニ由ル是ニ於テカ「シルアリ」深ク之ヲ愛シ其言ハ則チ常ニ概子
之ヲ聽キ且ツ妃ニ約シテ曰ク汝若シ一子ヲ擧ケハ余必ス立テ太子ト

爲ント既ニシテ妃孕メルトアリ是レ「シルアリー」ノ事將ニ成ラントス
 ルノ日ナリ千八百六十九年九月妃遂ニ分娩シ一男ヲ舉ク是ヲ「アブド
 ラジヤン」ト爲ス「シルアリー」乃チ之ヲ鍾愛シ將ニ以テ太守ト爲サント
 ス
 千八百七十年「ヤクブ」汗ヲ以テ干達哈爾知事ト爲ス蓋シ之ヲ遠サクル
 ナリ
 是ノ時ニ方テ當ニ太子タルヘキ者三人アリ一チ「ヤクブ」汗ト爲シ一チ
 「アブドラジヤン」ト爲シ一チ「シルアリー」ノ嫡孫ニシテ「マホメツトアリ
 」汗ノ長子ナル「アメツトアリ」汗ト爲ス千八百六十一年ヲ以テ生ル
 其父ノ非命ニ死スルヲ以テ王深ク之ヲ憐ミ且ツ其文武ニ通スルヲ愛
 シ遂ニ「アブドラジヤン」ト大ニ擇フ所ナキニ至ル其立テ太子ト爲スモ
 亦未ダ心ニ其甲乙ヲ定メサルカ如シ
 千八百七十一年「アブドラジヤン」立テ太子ト爲ル蓋シ王前約ヲ踐ムナ

リ「ブエード」ノ祭日ヲ以テ立太子ノ儀ヲ行フ是日政府ノ諸重臣ヲ集メ左
 右ニ列セシメ王自ラ傳國ノ劍ヲ把テ「アブドラジヤン」ニ與フ「ヤクブ」汗
 大ニ是ノ選ヲ喜ハス遂ニ兵ヲ舉テ反シ走テ希拉的ニ入り直ニ府城ヲ
 陷レ其弟「イブラヒム」ヲ追ヒ自立シテ王ト爲リ將ニ以テ其父ニ迫リ
 「アブラドジヤン」ニ代ラントテ請ハントス既ニシテ「ヤクブ」汗自ラ悔ヒ
 直ニ其兵ヲ解散ス然レモ居常快々積憤未ダ釋ケス王之ヲ疑ヒ之ヲ客
 布爾ニ召ス「ヤクブ」汗乃チ父ト其必ス已レテ殺サ、ルヲ約シ然ル後チ
 召ニ應ス至レハ則チ直ニ之ヲ獄ニ囚フ「ヤクブ」汗人ト爲リ寛仁大度其
 治國ノ才ニ在テハ或ハ言フヘキ者アルモ四方ヲ經營スルニ於テハ人
 皆其畧ニ服セサル者ナシ其希拉的ニ在ルヤ府民及ヒ巴羅巴美西人等
 大ニ其治ヲ喜ヒ上下皆悅服セリ其妻「グースク」ノ人「セムチード」ノ豪
 族ノ女ナリ亦明敏卓識アリ内助モ亦勲カラスト云フ
 是ヨリ先キ千八百六十七年以降印度太守「ソルジョンローレンス」其政

畧ノ亞富汗斯坦中ニ行ハレサルヲ憂ヒ寧日爾後之ニ關係セサルノ狀
 「ヲ爲セリ然ルニ其後チ英國官吏スタホルトノルスコート」ト云ヘル者
 「ローレンス」ニ勸メ亞富汗斯坦補助金ヲ出スノ議遂ニ成ル而シテ其事
 未タ實施セスシテ千八百六十九年「ローレンス」去リ「ホルトメーヨ」乘リ
 代リ前議ヲ實施セン「ト」チ「シルアリー」王ニ約ス蓋シ是ノ時魯細亞大兵
 ナ以テ撒馬兒罕ヲ掠奪シ且ツ漸ク南進ノ色アルヲ以テ印度政府大ニ
 之ヲ憂ヘ亞富汗斯坦ノ歡心ヲ求メ之ト懇親セント欲スルナリ
 是年英國遂ニ亞富汗斯坦魯細亞二國ノ境界ヲ確定セント欲シ其將「ロ
 ルドクラレント」チ聖彼得堡ニ遣シ魯國及ヒ印度ノ中間ニ中立國ヲ
 置カン「ト」チ議セシム魯國之ニ答フルニ亞富汗斯坦チ以テセリ然レモ
 果シテ亞富汗斯坦チ以テセハ他日魯國南進シテ荷薩河ヲ越エ以テ亞
 領土耳其機斯坦ヲ取り且ツ興都哥士山下ニ迫マランモ亦知ルヘカラス
 是レ英國ノ大ニ不利トスル所ナリ是ニ於テカ境界ノ確定愈急ニセサ

ルヲ得ス事遂ニ千八百六十九年三月二十七日チ以テ成リ英政府ノ境
 界ハ大ニ亞國ノ北境ヲ北進シ即チ希拉的州北端ヨリ「アンドグイ州」ノ
 北邊ヲ過キ荷薩河上「キルクイー」「ホジヤサン」ノ中間ヨリ遂ニ「グルム」「クン
 ツー」ス「波達克山」及ヒ「ワクハン」部落ニ至ル之ヲ要スルニ荷薩河チ以テ
 限トシ其全長三分ノ二ニ沿ヘリ

是ノ會中魯國ハ又爾後亞富汗斯坦ニ關シ必ス其國事ヲ謀ルコアル「ト」
 ナカラン「ト」チ約セリ况ヤ其此ト同盟シ又亞富汗斯坦中ニ出兵スルニ
 於テチヤ皆之ヲ爲スチ得サルナリ
 既ニシテ魯國ハ其兵一隊ヲ裏海中央ノ東濱ニ置ケリ蓋シ以テ機法「メ
 ルウ」近傍吞併ノ用ニ供セント欲スルナリ而シテ英政府ニ明言スルニ
 ハ則チ曰ク是レ通商ノ爲メナリト
 千八百七十一年三月王往テ印度太守「ロルドメーヨ」チ印度ノ「ウンバラ
 」府ニ見テ曩ノ救援條約及ヒ補助金并ニ武器貸借ノ約ヲ爲セリ時ニ

魯人南進ノ色愈大ニシテ且ツ「アブドルラー」メシ帝ニ其初志ヲ成サン
 一ヲ務メテ怠ラサルヲ以テナリ印度政府悉ク其請ヲ聽ケリ然レモ唯
 是レ一時ノ事ニシテ毎年之ニ倣フト云フニ非ス之ニ加フルニ「ロルド
 メーヨ」一書ヲ亞朝ニ致シテ曰ク不烈頓政府ハ陛下ニ敵スル者ヲシテ
 其志ヲ遂フシ將ニ陛下ノ位ヲ危フセントスルヲ傍觀スルハ蓋シ心ニ
 快トセサルナリ故ニ補助金ヲ出シ或ハ武器ヲ假借スルハ則チ之ヲ辭
 セサルモ其亞國獨立ヲ保護シ或ハ兵ヲ發シ其内外ノ敵ヲ防クカ如キ
 ハ未タ之ヲ肯シ難シト爲スト是ニ由テ之ヲ觀レハ英政府蓋シ亞國ト
 懇觀ヲ結ヒ之ヲシテ魯國ニ抗敵セシメ以テ英領印度ノ境界ヲ固フセ
 ント欲スルノミニシテ未タ輒ク其兵ヲ出シ亞國ノ爲メニ魯國ト戰フ
 ノ意アルヲ見ス然ルニ「シルアリー」是ノ文意ヲ誤解シ自ラ以テ其欲ス
 ル所ヲ成セシト爲シ是ノ文書一讀スルヤ喜ヒ自ラ禁セス夫レ是ノ會
 見ニ於テ「シルアリー」印度政府ノ嘗テ「アブツル」汗及ヒ「アシム」汗二人

ノ登位ヲ聽從シ以テ「シルアリー」王ノ無キカ如クスルノ恨ヲ訴ヘ且ツ
 「アブドラジャン」ヲ立テ太子ト爲スノ事ヲ談セント欲セリ而シテ太守
 「ロルドメーヨ」ノ已レヲ待ツヤ王禮ヲ以テシ又是ノ文書ノ望外ニ出ツ
 ルヲ以テ其喜ヒノ極遂ニ宿怨ヲ釋ク能ハス又其立太子ノ事ニ及フテ
 忿レタリ

是ヨリ先キ亞國王亞迷德沙ノ時ニ在テハ西斯丹州全部蓋シ亞富汗斯
 坦ニ屬セリ其後「チムール」沙ノ移テ客布爾ニ都スルニ及ヒ全州遂ニ波
 斯ニ入ル千八百七十一年「シルアリー」王之ヲ歸サン「チ」波斯ニ請ヘリ
 波斯之ヲ肯セス印度太守「ロルドメーヨ」乃チ頻リニ亞國ノ歡心ヲ得ン
 ト欲シ中將「コルトスミツ」少將「ボロク」ヲ波斯ニ遣シ亞國ノ爲メニ西斯
 丹ノ事ヲ議セシム而シテ波斯亦其議ヲ聽カス又大ニ英國ノ非禮ヲ怨
 ミ亞富汗斯坦亦其事ノ成ヲサルヲ以テ亦印度政府ヲ恨ム
 千八百七十二年魯國ハ英政府ノ亞富汗斯坦ト親睦スルノ實ナラス又

波斯ト怨ヲ結フヲ見テ以テ其干戈ヲ中央亞細亞中ニ動カスヘキノ日
 至ルト爲シ裏海ノ濱頭ニ兵四隊ヲ増加セリ蓋シ以テ將ニ機法ニ迫ラ
 シメント欲スルナリ後チ遂ニ之ヲ取り且ツ大ニ掠奪セリ是ノ時ニ當
 テ魯國其兵ヲ南進スルニ三道アリ其一チ「チヤルシユ」チ經テ「メルウ」
 ニ至リ「メルウ」ヨリ希拉的ニ至ルノ路ト爲シ其一チ「ケルキ」ヨリ「アン
 ドクイ」ニ至ル者ト爲シ其一チ「コ」ジヤサレイ」チ經テ婆革ニ至ルノ道
 路ト爲ス而シテ三道皆或ハ沙漠ノ之ヲ隔ツルアリ往還太タ便ナラス
 故ニ魯國蓋シ其道ヲ轉スルナリ
 是ヨリ先キ印度政府未タ亞富汗斯坦ノ其幼子「アブドラジヤン」チ立テ
 ハ太子ト爲シ又公子「ヤクブ」汗チ囚テ之ヲ獄ニ繫クノ事ヲ知ラス是ニ
 至テ之ヲ知リ千八百七十四年一月印度太守「ロルドノルブル」書チ
 客布爾ノ朝ニ送り其立太子不順且ツ其公子チ囚フルノ無情ヲ譴ム然
 ルニ「シルアリー」王ハ酋ニ之ヲ聽カサルノミナラス又大ニ其無用ノ干

涉ヲ憤レリ

是年二月印度政府又魯國ト亞富汗斯坦中立ノ事ヲ約シ魯相公子「コル
 チヤコ」ハ魯國ノ爾後必ス亞國ノ事ヲ謀ラサルヲ誓言シ七月又在魯
 英公使ニ同事ヲ記スルノ書ヲ致セリ
 千八百七十五年印度太守「ロルドノルブル」去リ「ロルドリットン」來
 テ之ニ代リ首トシテ必チ魯亞ノ事ニ注ケリ時ニ魯國漸ク其兵ヲ南進
 シ且ツ頻リニ裏海近傍ノ兵備ヲ嚴ニスルヲ以テ「リットン」又千八百六
 十九年ノ約ヲ申子必ス魯兵ノ其南境ヲ超ユヘカラサルヲ約セリ而シ
 テ魯國輒ク之ヲ肯シ且ツ是年四月五日ヲ以テ魯公子「コルチヤコ」書
 チ英國外務卿「ロルドデルビ」ニ送リテ曰ク我魯國ハ中央亞細亞ノ國
 境ヲ超エテ布加拉ニ向ヒ或ハ「クランス」ノ「ス」若クハ「アトレック」河
 ニ向ヒ廣封ヲ謀ルノ意曾テ有ルコトヲシ其頃口兵若干ヲ裏海ノ濱ニ出
 ス者ハ唯我通商ヲ保護シ或ハ兇暴強奪ノ事ヲ戒メ以テ國境ノ安ヲ謀

ルノミト而シテ其實常ニ竊ニ亞國ト親ミ之ヲシテ已レノ用ニ供セシメ以テ英國ト抗セシメント欲シ百方其事ヲ計畫セリ
 是年八月二十五日英國外務卿「ロルドテルビ」又在魯英國臨時代理公使ニ移書シテ再ヒ中央亞細亞境界條約ノ鞏固ナランヲ謀ラシメ且ツ爾後亞富汗斯坦ハ英國ト親ミ布加拉ハ魯ニ屬シ之ヲ要スルニ魯英二國ノ事必ス互ニ荷薩河ヲ超ユルヲ得ヘカラスナルヲ約セシム十二月十五日魯相「ギルス」誓之ヲ肯シ且ツ答テ曰ク爾後魯國ハ必ス亞富汗斯坦國ノ事ニ在テハ敢テ之ヲ謀ルコアルコナカラント
 是年「シルアリー」王其將ヲシテ兵一萬八千砲二十門ヲ以テ往テ「マイメ子」ヲ討セシム未タ幾クナラスシテ諸兵皆首府「マイメ子」ニ集リ直ニ之ヲ圍ム而シテ守兵能ク拒キ遂ニ相抗抵スル六月ノ久シキニ彌ル既ニシテ兵食竭盡シ終ニ圍兵ノ陷ル所ト爲リ守兵ノ死スル者八千人是ノ役「アンドクイ」ノ首汗與テカアリ王乃チ大ニ其功ヲ賞シ其下ヲ專

制スルコトヲ許ス

千八百七十六年一月印度太守「リットン」其書記官「ソルハッイスベルリ」ヲシテ亞富汗斯坦宰相ニ白沙瓦爾ニ會シ亞英二國ノ交際ヲ協議セシメ且ツ英國辨務官吏ヲ容布爾府中ニ置クコトヲ議セシム然レモ亞國ハ英國ノ是ヨリ先キ亞國ノ内憂外患ヲ防クコト能ハスト云ヒシ事アリシニ因リ以テ終ニ恃ムヘカラスト爲シ是月二十三日英使ニ答テ曰ク夫レ魯國ハ其強大ヲ恃ミ專ラ其權謀ヲ行ヒ擅ニ其約ニ背クノ慣アリ故ニ魯英ノ親睦固ヨリ恃ムヘカラス然レモ若シ一旦事アラハ英政府直ニ我亞富汗斯坦ヲ助ケ以テ魯國ト戰ハント欲スルカ果シテ然ラハ今日ノ會盟我又何ノ依違スル所アラシキ然リト雖モ英國若シ專ラ平和ヲ主トシ我カ爲メニ兵ヲ出スノ意ナクンハ我乃チ寧ロ魯國ニ服從セサルヘカラス然ラスンハ他日不測ノ危難アルコト期シテ待ツヘキナリ則チ今日ノ會盟ハ我カ亞國ノ甚々喜ハサル所ナリト終ニ之ヲ辭シ其辨

務官吏ヲ置クノ事モ亦之ヲ謝絶セリ是ニ於テ論議六週日ノ久シキニ
 彌ルモ事終ニ成ラス其後チ英官タラスフオールシ「蔣ニ噶斯俄爾日
 其印度ニ還ラントシ途チ亞國ノ東邊ニ取ラントス亞富汗斯坦之ヲ聽
 サス又英國武官某事ヲ以テ將ニ亞國ノ境ニ入ラントス亦之ヲ聽サス
 是レ皆以テ「シルアリー」ノ志ヲ見ルヘキナリ
 是年二月魯領土耳其機斯坦總督陸軍中將考甫曼一使チ客布爾ニ遣シ書
 チ亞密爾ニ致ス人其意ヲ知ル者ナシ然レモ事印度政府ニ聞フ印度政
 府乃チ急ニ之ヲ龍動ノ英國印度事務省長官サリスボリーニ報ス七月
 二日英國外務卿「ロルドデルビー」在魯英國公使「ロルドエーロートス」ニ
 移書シテ之ヲ魯國政府ニ糺サシメ且ツ再ヒ亞國ハ爾後必ス魯國ノ其
 政ヲ謀ルノ外ニ在ルノ約ヲ尋カシメ又爾後英王ノ許諾アラサレハ魯
 國必ス亞國ト一ノ結約商議ヲ爲スヘカラサルノ誓約ヲ爲サシメタリ
 「ロルドエーロートス」是ノ報ヲ得テ之ヲ魯國政府ニ致ス是月十二日魯

國宰相公子「コルチヤコ」在英魯國公使「シユエーワロウ」ニ報シ總督中將
 考甫曼ノ使チ客布爾ニ遣スノ事蓋シ謬傳ニ出ル者ニシテ其實アルコ
 ナキヲ辨明セシム

八月二十一日印度太守龍動ニ移報シテ曰ク土耳其機斯坦總督ノ使チ客
 布爾ニ遣シ書ヲ亞密爾ニ致スコト必ス謬傳ナラス魯ノ理事官現ニ客布
 爾ニ在リ其事蓋シ通商及ヒ同盟條約ノ爲メナリト云フト
 英國外務卿「ロルドテルビー」又在魯英公使「ロートス」チシテ之ヲ魯國政
 府ニ問ハシム魯相「コルチヤコ」乃チ土耳其機斯坦ニ移書シ之ヲ總督中
 將考甫曼ニ問ヒ且ツ其外務卿兼議官「キルス」チシテ英公使「ロートス」ニ
 面晤シテ謂ハシノテ曰ク曩ニ考甫曼ノ使チ客布爾ニ遣セシコト未ダ嘗
 テ聞カサル所又之ヲ我陸軍省ニ問フモ亦之ヲ知ラス事蓋シ錯誤スル
 所アラン嚮ニ中將考甫曼ニ移書セリ日ナラスシテ必ス答スル所アラ
 シ乃チ之ヲ詳悉スルヲ得ント

十一月九日中將考甫曼書ヲ「キルス」ニ致シ答テ曰ク
 外務卿「キルス」公閣下嚮ニ十月八日ノ貴翰ヲ辱フシ併セテ在魯英國
 大使ソルロトス「氏」ノ公書ノ譯文ヲ示サル曰ク不肖考甫曼曩ニ專
 斷ヲ以テ理事官ヲ客布爾ニ遣シ通商及ヒ同盟條約ヲ謀ラシムト是
 レ蓋シ謬傳ニ出ツ不肖ノ曾テ知ラサル所ナリ然リト雖凡既ニ尋問
 アリ乃チ一言以テ閣下ノ疑ヒヲ解カサルヲ得ス夫レ不肖乏チ土耳
 機斯坦總督ニ承ケ四隣諸國ト存問往復スルハ是レ禮節ノ固ヨリ缺
 クハカラザル者ナリ况ヤ不肖ノ新ニ赴任スルニ於テチヤ必ス通報
 セスンハアルヘカラス閣下亦以テ必ス當ニ然ルヘシトセン嚮ノ人
 言ヲ來ス者是レ蓋シ不肖ノ赴任ヲ報セシテ誤認スルナラン不肖ノ
 書ヲ亞國ニ致ス獨リ是レノミ而シテ其之ヲ客布爾ニ致スヤ先ツ布
 加拉亞密爾ニ致ス布加拉亞密爾之ヲ亞富汗斯坦ノ婆革總督ニ送リ
 總督之ヲ客布爾ニ致セリ密ニ使節若クハ理事官ヲ發セサルノミナ

ラス一駛卒亦曾テ之ヲ客布爾ニ遣ラサルナリ
 夫レ不肖ノ是地ニ在ルヤ敢テ一モ我カ皇帝陛下ノ訓條ニ違フナ
 ク一モ我カ外務省ノ告示ニ戾ルナク又四隣諸國ト交通ノ事ニ在
 テハ一モ敢テ外務省ニ對シ之ヲ包藏スルナカハヘキハ不肖ノ務
 當ニ然ルヘキ者ナリ是レ不肖ノ日夜念レサル所ニ客布爾ニ致ス
 ノ書ノ如キモ既ニ其副書ヲ閣下ノ閱覽ニ供セリ必ス藏シテ貴廳ノ
 秘篋ニ在ラン况ヤ奉務施政ノ際欺詐權謀ヲ用ヒサルハ不肖ノ持論
 ニシテ既往ノ蹟閣下亦之ヲ知ラン故ニ曰ク英國大使ノ言必スシモ
 謬傳ニ出スンバアラスト閣下冀ハクハ深ク諒察ヲ垂レ大ニ之ヲ英
 大使ニ論辨アラントチ千八百七十六年十一月九日陸軍中將考甫曼
 謹白

十一月十五日書至ル宰相コルチヤ「ヨ」乃チ之ヲ英公使ニ示シ其信ナ
 ルヲ保證シ且ツ曰ク余ノ考フル所ヲ以テスルモ理事官ヲ遣スノ事ハ

必ス謬傳ナラン考甫曼カ書ヲ亞密爾ニ致シテ新任ヲ報シ且ツ亞密爾
 ノ安否ヲ問フハ豈ニ禮節ヲ缺クヘカラサル者ニ非スヤト其後十二月
 月三日外務卿キルス亦書ヲ英公使ニ致ス公使乃チ之ヲ龍動ニ報セリ
 然レモ是レ皆魯國政府ノ之カ辭ヲ爲セシ者ニシテ魯國使節ハ見ニ客
 布爾ニ駐在セリ唯其果シテ政府ノ遣ス所ナルカ或ハ考甫曼ノ令スル
 所ナルカヲ知ラサルノミ印度太守亦明年五月三日書ヲ英國外務卿ニ
 致シテ曰ク將軍考甫曼ノ言未タ必スシモ信スヘカラス魯使現ニ客布
 爾ニ在リト然レモ事遂ニ大ナラス暫ク之ヲ不問ニ付セリ
 是ノ時ニ當テ魯國既ニ機法ヲ取レリ蓋シ尙ホ其兵ヲ南進スルニ當リ
 以テ其根據ト爲サント欲スルナリ然ルニ道路ノ或ハ不便ナル者アル
 カ遂ニ其方向ヲ轉シタリ是ヨリ先キ魯國既ニ波斯ノ與シ易キヲ知リ
 其兵ヲ裏海ノ極南濱ニ出シ波斯ノ北境ニ沿テ東進シ且ツヨモツトゴ
 クランノニ部落ヲ取レリニ部落ハ「ラツケ」部落ト共ニ皆土耳其曼人

ニシテ人口合シテ百萬人許ナリ千八百七十七年六月魯軍「ラツケ」部
 落ヲ取リ然ル後チ遂ニ「メルウ」ニ達ス是月十三日英國外務卿「ロルドデ
 ルビ」魯國ニ移書シテ其南進ノ旨趣ヲ問ヒ且ツ曰ク英國亦其事ニ倣
 ヒ將ニ其兵ヲ出シ北進セントスト魯國外務卿キルス之ニ答テ曰ク我
 兵ノ「メルウ」ニ至ルハ是レ徒ニ土耳其曼人ノ兇暴ヲ鎮スルナリ敢テ他
 アルニ非サルナリト
 是ヨリ先キ魯國ノ言固ヨリ信スルニ足ラス亞國亦將ニ之ト親マシト
 スルノ色アリ且ツ其向背實ニ中央亞細亞中英魯ノ權衡ノ軒輊ニ關ス
 ルヲ以テ是年英政府又印度太守ヲシテ英亞二國同盟ノ條約ヲ尋カシ
 ム
 千八百七十八年一月印度太守「リットン」亞富汗斯坦ト又白沙瓦爾ニ會
 セン「」ヲ約ス亞富汗斯坦其重臣「ナワルゴ」ラウ「」センカン「」チシテ答
 ヘシメテ曰ク余固ヨリ會見ヲ辭セント欲スルニ非サルモ今日魯國ノ

其意ヲ英亞二國ノ事ニ注クヤ實ニ甚シ蓋亦印度政府モ能ク知ル所ナ
 リ魯國若シ二國大使ノ會見スルヲ偵知セハ則チ亞國ノ直ニ不測ノ危
 難ニ陷ルハ是レ知者ヲ待テ後ニ知ルニ非ス彼レ亦必ス國事ヲ協議ス
 ルヲ以テ名ト爲シ使ヲ客布爾ニ遣スヤ必セリ而シテ其使者一タヒ客布
 爾ニ入ルヤ必ス肯テ退カス夫レ魯使ノ客布爾ニ在テ去ラサルハ獨リ
 亞國ノ喜ハサル所ナルノミナラス蓋亦英國ノ不利トスル所ナラント
 英國印度事務省長官サリスボリ「之ヲ聞キ又リットン」ヲシテ更ニ亞英
 二國同盟ノ事ヲ謀ラシメ且ツ「ワルルウー」スベルリ「ヲシテ新盟書ヲ亞
 富汗斯坦ノ使者ニ致サシム其盟約書ノ意ニ曰ク
 一爾後英國必ス亞國王ノ封地ニ觸ルヘカラス
 一英國必ス兵士兵器ヲ借シ亞國王ヲ助ケ以テ其外患ヲ防クヘシ
 一王ノ自ラ選テ後嗣ト爲セシ者ハ其誰タルヲ問ハス英政府ハ皆之ヲ
 聽承シ且ツ之ニ抗議アル者ハ則チ英國之ヲ討スヘシ

一英國ハ必ス亞國ノ内政ニ干涉スヘカラス
 一亞國王ハ英國ノ其公使ヲ布拉的其他兩國々事協議ニ便ナルノ地ニ
 駐節セシムルヲ承諾スヘシト

然レモ三月二十六日使臣疾テ白沙瓦爾ニ死シ事乃チ成ラス
 七月魯國其撒馬兒罕州知事少將「セト」フストア「アラモ」ヲ亞富汗斯坦
 ニ遣ス在魯英國代理公使直ニ之ヲ龍動ニ報シ且ツ曰ク余魯國外務卿
 「キルス」ヲ見之ヲ推問セリ而シテ「キルス」皆知ラスト答フ然レモ魯使現
 ニ今日客布爾中ニ在リ事決シテ謬傳ニ非スト
 八月八日印度政府書ヲ英國外務省ニ送テ曰ク夫レ是ヨリ先キ亞國ノ
 依違シ又其魯使ヲ留ムルヤ皆是レ亞密爾ノ罪ニ非ス又土耳其機斯坦總
 督ノ意ニ出ツルノミニ非ス是レ皆魯國政府ノ命ムル所ナリ敢テ之ヲ
 報スト是月十三日又報シテ曰ク魯國大ニ兵ヲ土耳其機斯坦ニ集ムト
 在魯英國代理公使「ミストル」フ「ランケット」亦魯軍ノ舉動ヲ聞キ是月十

四日魯國外務卿ニ面シ之ニ問ヒ且ツ再ヒ使者ノ客布爾ニ在ルノ事ヲ
 糺セリ外務卿答テ曰ク敢テ兵ヲ土耳其斯坦ニ集ムルニ非ス是レダス
 ケン及ヒ「クランス」ノ「フズク」駐在ニ軍團ノ操練ノミ又其使者ノ如キハ
 或ハ中將考甫曼ノ使ムル所ナラン政府知ラサル所ナリト
 八月十七日太子「アブドラジヤン」疫ヲ病テ死セリ人乃チ以爲ラク王必
 ス「ヤクブ」汗ヲ起シ太子ト爲シ以テ曩ノ復業ノ功ニ酬フルナラント而
 シテ王之ヲ欲セス將ニ故長子「ウキトスマホメツトアリ」汗ノ子「アメ
 ツトアリ」汗ヲ立テントス「アリ」汗時ニ年甫メテ十八「ヤクブ」汗之ヲ
 聞キ大ニ怒リ夜ニ乘シ走り逃ル蓋シ將ニ爲ス所アラントスルナリ是
 月亞國ノ重臣日拉刺巴德州知事「シヤカドヤン」死セリ「シヤカドヤ
 ン」ハ王ノ愛臣ナリ王其死ヲ聞テ愛惜已マス既ニ愛子ヲ亡シ今又愛臣
 ヲ失フ其惆悵悲歎知ル可キナリ
 九月九日魯國外務卿「キルス」書テ英國印度事務省長官「マルキーズサリ

スポリ」ニ送テ曰ク少將「アブモ」ノ亞國ニ入ルヤ器々然之カ説ヲ
 爲スモノアルモ是レ一ニ土耳其斯坦總督中將考甫曼カ存問ノ爲メニ
 遣セル者ニ過キス故ニ凡ソ中央亞細亞英魯境上ノ事ニ在テハ決シテ
 貴國代理公使ノ疑フカ如キ者非サルナリト
 十月王頓カニ令シテ國內ヲ警戒セシメ兵ヲ千達哈爾ニ徵シ「アメツト
 アリ」汗ヲ拜シテ大將ト爲シ之ヲ督セシメ又「ヤクブ」汗ノ危ヲ解キ客
 布爾州知事ト爲シ且ツ「キーベル」峽「アリムスデツト」ノ指揮官長ト爲セ
 リ蓋シ將ニ大ニ爲スコアラントスルカ如シ
 初メ魯使ノ客布爾ニ入ルヤ護兵千人之ニ從ヘリ亞國王「シルアリ」帝
 ニ之ヲ拒マサルノミナラス亦之ヲ待ツヤ甚タ厚ク動モスレハ輒チ魯
 亞二國連合同盟ノ景况アリ是ノ報英國ニ至ル英國乃チ印度太守「リッ
 トン」チシテ亦修好使テ亞國ニ遣ハサシム「リットン」乃チ少將「チヤンベ
 レイン」ニ護衛兵千五百人ヲ附シ之ヲ亞國ニ遣シ書テ亞密爾ニ送リ曩